

地方史情報 137

2018年10月

「建久四年曾我事件」と初期鎌倉幕府 伊藤 邦彦

『曾我物語』は、①事件後まもなく、②曾我兄弟の「御霊」を鎮魂するために、③遊行巫女らによる女語り＝「語り物」として発生し、④やがて箱根山（現箱根神社）を中心とする唱導僧の手によって「物語」化されていったとする理解である。現在の、特に国文学の分野における研究の深化にもかかわらず、管見の範囲で、右骨子部分に関する限り、ニュアンスの違いはあるにせよ、大筋において異論を窺うことはできない。従って、これはまず、ベーシックな不動の「定説」ということになるのか。

しかしながら、かかる「定説」①－④は、本当に確かな根拠に基づいた理解と判断してよいのであろうか。（中略）私は、「建久四年曾我事件」の原点に立ち返り、史実及びその歴史的意義を明らかにするために、歴史学の立場から、その「定説」の再検討を試みていきたいと考えている。（中略）

以上の考察から、本書の課題は、自ずと次の三点に整理できる。

第一に、まず「建久四年曾我事件」に関する史実を掘り下げ、それを踏まえて「事件」の歴史的意義を闡明する作業であって、これが本書の最も基本的な課題となる。本書が、鎌倉幕府論を意識して、書名を『「建久四年曾我事件」と初期鎌倉幕府』とした所以である。

第二は、『曾我物語』成立に関する如上の「定説」を再検討する試みであり、第一の課題への取り組みを、『曾我物語』（特に真名本）を史料として用い、史料批判を徹底する過程を通して考察しようとするものであった。それは、取りも直さず「曾我物語は何を伝えようとしたか」（本書副題）を明らかにする作業であって、そこから、第三の課題として、軍記物語としての同書の特色を、『曾我物語』の原点に立ち帰って捉え直す必要が生じる。従って、本書は、これまでほとんど発言の見られなかった、歴史学の立場からの『曾我物語』成立論に対する提言ということになるのか。（中略）本書は、室町から江戸前期にかけて、『曾我物語』・「曾我語り」、及びそれから派生した「曾我物」の隆盛という、《忘れられた日本文化》の伝統を、鎌倉時代の入口に立ち帰って、歴史学の立場から、再検討しようとする試みである。

（伊藤邦彦 『「建久四年曾我事件」と初期鎌倉幕府』、2018.7、小社刊、「緒言」より）

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道・東北

◆アイヌ語地名研究会会報

〒001-0017札幌市北区北十七条西1丁目
1-1 コーポ望 TEL011-299-6834 年5000円
◇68 2018.5 B5 12p

安政5年、松浦武四郎の「十勝越え」…全ルート踏査達成!!—「松浦武四郎の十勝越えを歩く会2018」実行委員会—快挙のご紹介
高橋 基
イタンキ浜の鳴砂 山下 栄光

◆浦幌町立博物館紀要

〒089-5614北海道十勝郡浦幌町桜町16-1
TEL015-576-2009 2000年創刊
www.urahoro-kyouiku.jp/education/
◇18 2018.3 A4 54p
資料紹介 大正十五年・昭和元年
教育雑件 浦幌村役場(3) 三浦直春・解説

◆浦幌町立博物館年報

〒089-5614北海道十勝郡浦幌町桜町16-1
TEL015-576-2009 2000年創刊
www.urahoro-kyouiku.jp/education/
◇18 2018.3 A4 106p *事業報告のみ
《2016(平成28)年度事業報告》

◆屯田 北海道屯田倶楽部

〒001-0905札幌市北区新琴似五条5-3-11
TEL011-761-8014 年3000円 1985年創刊
www.2ocn.ne.jp/~history/
◇63 2018.4 B5 80p 1000円

巻頭言 屯田兵子孫の眩き 後藤 良二
ルーツ探しの旅のエッセイに

篠路屯田兵五世 見延典子さん 記・梶田博昭
琴似屯田兵村とその解体について 長沼 修

一節抜粋 北国諒星著『北前船、されど北前船』 浪漫・豪商・密貿易をキーワードに(K)、合田一道著『松浦武四郎 北の大地に立つ』 北海道の名付け親・武四郎の足跡を辿る(O)
開拓使本庁舎焼失顛末記—明治12年1月17日夜 屯田事務所から出火 池田 浩
二冊の屯田兵に関する本の紹介 西川沢興著『西川家 家事隋録』、野幌屯田兵『有木庄次郎・ハナと十二人の子供たち』 河野 民雄

「歴史探訪 北海道移民史を知る!」執筆ノート 北海道人とブラジル移民史の話 北国 諒星
古地図の散歩道 ユウベオツ兵村迅速測図(明治27年9月刊・北海道立文書館所蔵)
計算し尽くされた街区設計 梶田 博昭
特別旗章のデザイン判明 編集部
屯田兵のデザイン考 屯田薯(1903年北海道農事試験場報告) これぞ「自由の天地」の象徴?
屯田兵の事件簿から 屯田兵 vs 警察 仁義なき戦い—明治時代における軍対警察の攻防 有馬 尚経

表紙から 『近世紀聞』
明治20年刊 編者・桑野採菊
北海道農法と屯田兵(中)—屯田兵による馬耕と開拓農民への普及
江口 憲人

◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目
かでの2・7ビル9階 TEL011-271-4220
hokkaido-bunkazai.jp 1961年創刊

◇366 2018.3 A4 8p
2019年赤れんが庁舎耐震改修 角 幸博
担い手つくり4年目 道文化財遺産活用活性化実行委員会
松前神楽 国の重要無形民俗文化財に答申
JR廃線とまちづくり 舟山 廣治
早山清太郎 北海道にかけた生涯を辿る
「北海道の瓦」ことはじめ 蔵元小林酒造に遺る「瓦」 渡辺 一幸
パテルブルクにある樺太の図書館 旧蔵書 鈴木 仁
農業博物誌 暗渠排水のいろいろ 舟山 廣治

由仁町郷土史研究会 知ることは楽しみ 中野 良宣
皆さんの声 文化財講演会 身近になった荘内藩の功績
◇367 2018.5 A4 8p
生きている昭和南山 横山 光
重要文化財に答申 北海道八千代A遺跡出土品一括(帯広市)／北海道有形文化財に厳島神社本殿と絵馬(増毛町)
道史編さん室の開設 舟山 廣治
企画展 辻村もと子の生涯 杉浦章一郎
「火山観測」ことはじめ 三松正

夫と昭和南山 横山光／三松三朗
木古内町幸運5遺跡出土 人の顔が描かれた石製品
北海道埋蔵文化財センター博物館ひろば 名寄市北国博物館
冬の歴史・文化伝える 吉田 清人

◆北海道の文化 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目
かでの2・7ビル9階 TEL011-271-4220
1961年創刊 hokkaido-bunkazai.jp

◇90 2018.3 A5 124p
表紙写真解説 松前城内神楽の系譜 舟山 直治
文化財保護法の改正と文化財の保護と活用 舟山 廣治
北海道における民俗芸能の伝承とその特徴について 舟山 直治
丘珠獅子舞とその由来 遠藤紘之助
由仁町における松浦武四郎の足跡—由仁町郷土史研究会の研究成果 中野 良宣
コタンを訪ねて(10)—阿寒川・網走川・常呂川流域の人々 山本 融定
北前船が繋ぐ「北陸産古瓦」の北海道移入に関する足跡調査 渡辺 一幸
東洋一と呼ばれたマルキ号製パン その北海道農場、足寄、丸瀬布、小清水、千歳、紋別を辿る 山田 雅也
岩内東山遺跡「第一地点」の位置 西脇対名夫

忘れられた野外音楽堂 大正七年 札幌 奏楽堂 井尻 哲男
読売あをによし賞(2) 新川 寛

◆北方民族博物館だより

北海道立北方民族博物館
〒093-0042北海道網走市潮見309-1

TEL0152-45-3888 1991年創刊 hoppohm.org
 ◇108 2018.3 A4 6p
 講座 海外写真でたどる日本の近代捕鯨 講師：宇仁義和氏 笹倉いる美
 講座 場所請負人と白老 講師：野口泰弥 野口 泰弥
 ◇109 2018.6 A4 4p
 講座 アイヌ語地名の近現代史を考える アイヌ語地名はどう書きかえられたか 講師：山田伸一氏 笹倉いる美
 北海道立北方民族博物館資料目録 13 岡正雄・馬場脩 千島・樺太アルバムの発行について 笹倉いる美
 北海道150年記念展示 北海道庁 測量標石「網走天測点」 笹倉いる美
 第33回特別展「North to the Future 北方から未来へ日本人が出会ったアラスカ」
 ◆茂呂瀾 室蘭地方史研究 室蘭地方史研究会
 〒051-0015北海道室蘭市本町1-3-7 本野里志方 TEL0143-23-9864 年3000円
 ◇52 2018.3 A5 108p 1000円
 表紙解説 蕙山苑 巻頭言 平成三十年を迎えるにあたって 本野 里志
 あんぱんたんの木は五朔松と呼ぶが相応しい 成田 弘
 奇品なり砂茶碗 久末 進一
 光太夫の帝政ロシア漂流記 福田 隆三
 栗林家の歴史紹介 第一回 花田 敏行
 「苦難を共にした亡き主人を偲びて」 栗林五朔翁未亡人 栗林かず子 花田 敏行
 明治41年森蘭航路復活 前澤佐土史
 路傍の石標 其の一 成田 弘

添田家文書を読む 第六回 野尻 和朗
 山県有朋の生涯を探る 福田 隆三
 図書館に所蔵される郷土資料類の再整理について 松田 宏介
 電波標定機3型の掩体調査について 谷中 聖治
 ◆郷土史三沢 三沢郷土史研究会
 〒033-0022青森県三沢市字園沢219-211 小比類巻満方 TEL0176-54-2583
 2005年創刊
 ◇14 2018.3 B5 137p 1000円
 口絵 岡三沢神楽 山本 優
 掃部助物語 新堂 炳午
 基地の街・三沢の歩み 米田 清蔵
 モンマルトル墓地 皆川 勝信
 三沢を支えてきた村々 浜通り編 小比類巻みつる
 砂地が林になった『砂地に緑を』（青森県海岸防災林の回顧録）〔石橋健二著〕その他の資料により海岸砂防林造成の歴史を緋く(1) 石橋 達夫
 共同研究 三沢の方言（〔や行〕・〔ら〕・〔わ〕・〔ん〕にかかわる方言） 馬場操・地名方言研究会
 「三沢のむかしを語る会」(7) 一戦後の街の移り変わり
 記録「三沢の昔を語る会」〔戦後の街の移り変わり〕
 語る人：中里豊子・赤沼晃・馬場操・蝦名佳一／司会：小比類巻満／記録：及川光男／受付：中里豊子
 感想文「三沢の昔を語る会」に参加 加して 澤精一／沼田石／皆川勝信／藤田光彦／大久保邦彦／吉田伸一／種市嗣彦／坂本和子／川守田エン
 資料「海軍省三沢航空基地略図」

会報(第131号～第140号)
 ◆弘前大学国史研究 弘前大学国史研究会
 〒036-8560青森県弘前市文京町1 弘前大学人文学部日本史研究室内 1956年創刊
 ◇144 2018.3 B5 102p
 日本古代における駅家郷の編成原理とその実態(下) 原 京子
 弘前藩領における儒葬・神葬祭について一人を神として祀るあり方 篠村 正雄
 弘前藩領における木綿・古手類の移入および流通について 石山 晃子
 招魂祭にみる近代青森県の地域像 中園 美穂
 津軽・下北の近世海運関連石造物 関根 達人
 書評と紹介
 『青森県史 資料編 考古1 旧石器・縄文草創期～中期』 泉 拓良
 八戸の歴史双書『八戸藩遠山家日記』第一巻～第六巻 福井 敏隆
 ◆いわて文化財 岩手県文化財愛護協会
 〒020-0102盛岡市上田字松屋敷34 岩手県立博物館内 TEL019-661-9688
 1970年創刊
 ◇274 2018.3 A4 8p
 遺物が語る郷土の歴史 柳之御所遺跡 手づくねかわらけ(重要文化財) 鎌田 勉
 継承を支える 佐藤 公一
 日高火防祭の歴史と課題 及川 右
 どげ(道化、道迎) 小野寺俊彦
 一気仙地方の婚礼習俗から 小野寺俊彦
 地域の史料を読み解く 伊藤 博
 一江刺古文書の会の活動 伊藤 博
 国指定名勝 イーハトーブの風景

地(3)「釜淵の滝」 酒井 宗孝
 わが館の文化財(7) 八幡平市博物館 松尾釜石環状列石 小野 永喜
 被災地の発掘調査現場から(13) 千徳城遺跡群 野中 裕貴
 ◆史の杜 東北大学東北アジア研究センター
 上廣歴史資料学研究部門ニューズレター 〒980-8576仙台市青葉区川内41
 TEL022-795-3196 2013年創刊 uehiro-tohoku.net
 ◇6 2018.4 A4 8p
 古文書のひろば 研究者が伝えた地域の古文書 一長井政太郎収集資料から 荒武賢一朗
 伊藤東溟の史料とその生涯―北海道別町戸田家文書より 友田 昌宏
 松島古文書散歩 高橋 陽一
 講演会余話 仙台藩にゆかりのある坤輿万国全図 仙台郷土研究会 理事・黒須潔 友田 昌宏
 地域とのあゆみのなかで 仙台市の市民参加型事業に参加して 高橋 陽一
 地元学と古文書 原 康夫
 ◆歴史 東北史学会 〒980-0862 仙台市青葉区川内 東北大学大学院文学研究科 日本史研究室
 TEL022-217-6064 年4000円 1949年創刊 www.saltohoku.ac.jp/nihonshi/t-shigakukai/
 ◇130 2018.4 A5 77+53p 2100円
 鎮西相良氏の惣領制と一揆 小川 弘和
 検閲と幕府儒者 一天保改革の文教政策 中村 安宏
 医療宣教師 T.A.palm の医療活動 小林 敏志

書評 遠藤みどり著『日本古代の
女帝と讓位』 鈴木 琢郎
2017年度 東北史学会大会
公開講演要旨
相馬氏研究と歴史資料論 岡田 清一
南北朝の貴族制 川合 安

◆秋田近代史研究会会報
〒010-1414秋田市御所野元町6-13-1
柴田知彰方 TEL018-807-3290 1958年創刊
www.geocities.jp/akitakindai01/kaiho.htm
◇179 2018.4 A4 2p
2018／春季研究会のお知らせ 報
告 小松和彦「秋田県の遊里に
おける公娼と私娼」、柴田知彰
「秋田県の郡役所制度一調査研
究にあたって」

◆秋田県公文書館研究紀要
〒010-0952秋田市山王新町14-31
TEL018-866-8301 1995年創刊
www.pref.akita.ig.jp/koubunsyo/
◇24 2018.3 B5 102p
講演録「古文書の力を見直すー新
史料協編『古文書保存・整理の
手引き【改訂版】』の紹介と解
説」 長谷川 伸
平成29年度企画展「明治150年ー
秋田県の誕生」の開催 佐々木康久
秋田県公文書館における普及活動
の課題と今後に向けての展望 村山 純一
明治維新による藩政から知藩事の
時代へ 高山 昭弘
浦城三浦氏についてー当館所蔵系
図史料を中心に 煙山 英俊
史料紹介 湊九二「郡方見回役加
勢勤中日記」 文政十年丁亥閏
六月同十二月 国季

◆秋田県公文書館だより
〒010-0952秋田市山王新町14-31
TEL018-866-8301 1995年創刊
www.pref.akita.ig.jp/koubunsyo/
◇332 2018.3 A4 8p
貴重文書書庫の史料紹介 落穂文
庫／当館所蔵忍家文書について
平成29年度公文書館講座／刊行物
紹介 「岡本元朝日記」第四卷
平成29年度企画展報告 「明治百
五十年ー秋田県の誕生ー」
県政映画上映会ー秋田昭和の時代

◆秋田民俗通信 秋田県民俗学会
〒010-0951秋田市川尻大川町2-8 秋田文
化出版内 TEL018-864-3322 1974年創刊
◇121 2018.3 B5 4p
賽子(サイコロ)の話 石郷岡千鶴子

◆秋田歴研協会誌
秋田県歴史研究者・研究団体協議会
〒010-0951秋田市川尻大川町2-8
秋田文化出版内 (担当:渡辺)
TEL018-864-3322 1996年創刊
akita-nct.ac.jp/~wakino/rekiken.html
◇67 2018.5 B5 24p
特集 秋田歴研協第24回大会
鉾山の町・小坂、その光と影 亀沢 修
用語解説 京銭 半田 和彦
大仙市「明治150年」の取組につ
いて 高橋 一倫
自著を語る
『秋田藩の用語解説』 半田 和彦
『秋田県の力士像 力士さん見て
歩き』 渡辺 修
シリーズ加入団体紹介(1) あき
た郷土芸能推進協議会 「あき
た郷土芸能推進協議会」ーその

軌跡と今後の方向 麻生 正秋

◆古文書倶楽部 秋田県公文書館
〒010-0952秋田市山王新町14-31
TEL018-866-8301
www.pref.akita.ig.jp/koubunsyo/
◇82 2018.3 A4 2p
戦国武将の「それから」…三浦氏
郷士として名を残した氏族 煙山 英俊
古文書こばればなし 「北家御日
記」から 御姫様のスピード離
婚 藤田 誠治

◆山形県地域史研究
山形県地域史研究協議会
〒991-8501山形県寒河江市大字西根字石川
西355 村山総合支庁西村山地域振興局
山形県総務部学事文書課分室 県史資料室
内 TEL0237-83-1215 年2000円
◇43 2018.2 A5 99p 1000円
東北史のなかの鳥海山信仰 菅田 慶信
小山崎遺跡からみえる縄文のくら
し・風景 渋谷 咲智
鳥海山大物忌神の創祀と神名 神宮 滋
由利地域における土佐林禅棟の外
交 菅原 義勝
近世後期遊佐郷の農村状況 本間 勝喜
戊辰戦争における新徴組・新整組
今野 章
明治期における酒田山王祭山鉾の
変遷 相原 久生
文化財調査報告書の活用から考え
る 須藤 英之
『新編 庄内史年表』を刊行して 阿部 博行
北目菅原家文書の資料調査とその
課題 田中 大輔
軍事郵便を巡る近代アーカイブ製
作事例 阿部 宇洋

◆郡山地方史研究 郡山地方史研究会
〒963-8876福島県郡山市麓山1-8-3
郡山市歴史資料館内 TEL024-932-5306
1965年創刊
◇48 2018.3 A5 95p
奥羽仕置検地の斗代設定ー田畠指
出之事・七尺杖尺ニテ 加藤 義久
愛姫の生涯 高橋 明
富久山町の地名に関する一考察(2)
ー富久山町「大字福原」地域の
地名の由来 高橋 康彦
「安積開拓神話」の形成 垣内 和孝
連合国軍総司令部(GHQ)による
保土ヶ谷化学郡山工場視察につ
いて 佐藤 和司
宇津峰合戦を歩く 佐藤 新一
平成29年度 史跡めぐり 紅葉の
会津街道(太閤の道)と戊辰戦争
の戦跡を訪ねる 小池 一郎

◆フークトープ通信 フークトープ通信社
〒960-8021福島市霞町9-38 メゾン吉川12
号室 山田英明方 2015年創刊
◇21 2018.5 A4 2p
館岡春波書誌・追記 菅野 俊之
フークトープ紀行(24)
ソースカツ丼(会津若松市) 赤井 武史

◆福島県史料情報 福島県文化振興事業団
〒960-8116福島市春日町5-54
TEL024-534-9193 2002年創刊
www.history.fcp.or.jp
◇50 2018.2 A4 4p
初瀬川健増の『漆樹栽培書』 製
蠟器具図解説 (『漆樹栽培書』、
個人蔵) 渡邊 智裕
坂上田村麻呂ゆかりの謡曲「田村」
渡邊 智裕

近世後期における弘法碑の栽培法 小野孝太郎

村人たちの戊辰戦争(5) 山田 英明

戊辰戦争と石母田村の軍事拠点 小野孝太郎

簿冊と配架 山田 英明

◆福島の民俗 福島県民俗学会

〒965-0807福島県会津若松市城東町1-25

福島県立博物館内 TEL0242-28-6000

1973年創刊 fukushimafolklore.jimdo.com

◇46 2018.3 A5 102p

2017年度公開講演会 日本の民家

からみた福島県の民家 津山 正幹

『会津農書』にみるソバの栽培と

民俗 佐々木長生

檜枝岐村の癩瘡神縁起一癩瘡神を

めぐる物語と災厄への適応策 金子 祥之

白河のオガミヤについて 橋本 千裕

美濃祭の「ミチユキ」は二本松祭

の「トヨバヤシ」 福島県内の

祭礼囃子の源流(13) 相原 達郎

民俗短信

伝承調査を試みた話

一喜多方中学と八尾中学 菅野 拓

DVD紹介 南相馬市鹿島区の

「鶏足神社の浜下り」 二本松文雄

書評・書誌紹介

歴史春秋社編『喜多方一人々の

心に響くまち』 山口 拓

中原正男『白河踊り 奥州白河

からふるさとへ伝えた盆踊り』

内山 大介

鈴木節子『どごんわらしえ 故

郷福島県「正直」の言葉』 大里 正樹

齋藤茂樹『写真集 ふるさとの

姿 三島町』 佐々木長生

相馬市史編さん委員会編『相馬

市史 第九巻 民俗』 岩崎 真幸

訃報 相馬胤道氏を悼む 野沢 謙治

関 東

◆茨城県近現代史研究

茨城県近現代史研究会

〒310-8686茨城県水戸市笠原町978-25

茨城県開発公社ビル 茨城新聞編集局内

TEL029-239-3024 2017年創刊

◇2 2018.4 A5 128p 926円

知る権利と報道と営み 井坂 幸雄

水戸の芸妓たち—自由を獲得する

までの道のり 額賀せつ子

明治20年代初頭における民権派と

衆議院議員選挙—茨城県第4区

選出・森隆介の選挙前後の動向

を中心にして 飯塚 彬

常北電気鉄道と日立電気鉄道、そ

して日立電鉄 折笠 修平

鹿行地域の農業と常東農民運動 先崎 千尋

茨城県における有線放送電話の展

開 岩佐 淳一

茨城県近現代史文献等目録

平成29年度1月～平成30年3月 石井 裕

茨城新聞にみる2017年度年表 小沼 平

◆現代民俗学研究 現代民俗学会

〒305-8571茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学大学院大学院人文社会科学研究科

歴史・人類学系専攻内 2008年創刊

◇10 2018.3 B5 60p

地域社会の災害復興と「復興儀

礼」—津波被災地のある「失敗」

事例から 木村周平／辻本侑生

芸態からみる民俗芸能の「真正性」

と「正統性」—奈良県の篠原踊

を事例に 荒木 真歩

批 評

後藤論文へのコメント（後藤知

美「女将の誕生—新聞・雑誌

記事にみる旅館の女性像—」

『現代民俗学研究』8掲載) 山本 志乃

民俗芸能の担い手をめぐる現代

民俗学の課題 松岡 薫

2017年度年次大会

趣意書 「民俗学」×「はたらく」

—職業生活と〈民俗学〉的知

辻本 侑生

第1報告 苦しみながら地域で

働く—民俗学系自治体職員の

場合 岩館 岳

第2報告 「学ぶこと」と「働く

こと」—門外漢からの一報告 樽田 俊祐

第3報告 経済学的方法論から

民俗学的方法へ—農業法人経

営における民俗学の可能性 野口 憲一

コーディネーター報告 実務

に活きる「民俗学的マインド」

の探究に向けて 辻本 侑生

第35回研究会

趣意書 民族文化映像研究所と

姫田忠義の世界—歴史実践の

なかのヴィジュアルティー 菅 豊

コーディネーター報告 パブリ

ック・ヒストリーと映像—歴

史を紡ぎ出す主体としての民

族文化映像研究所 菅 豊

第36回研究会

趣意書 人から描く民俗誌—あ

らたなフィールドワーク技法

にむけて 内藤 順子

コーディネーター報告 川田 牧人

第37回研究会

趣意書 今だからこそ議論する

「被災地で民俗学が考えるべ

きこと」 政岡 伸洋

コーディネーター報告 政岡 伸洋

第38回研究会

趣意書 東アフリカ・ウガンダ

のフォークロアと文化遺産—

文化遺産として承認されるフ

ォークロア／承認されないフ

ォークロア 梅屋潔／島村恭則

議論の概要 梅屋潔／島村恭則

第39回研究会

趣意書 戦う身体民俗学 鈴木 洋平

第1報告 たたかう祭礼—非日

常における身体と正しい振る

舞い 中里 亮平

第2報告 どこで、誰と、どこ

まで戦うか?—「戦う身体」

の日中比較 池本 淳一

第3報告 兵士の身体解放と

統御—戦前期土浦の盛り場に

おける暴力に着目して 清水 亮

コーディネーター報告 鈴木 洋平

◆常総中世史研究 茨城大学中世史研究会

〒310-8512茨城県水戸市文京2-1-1

茨城大学人文学部 高橋修研究室

TEL029-228-8120 2013年創刊

◇6 2018.3 A5 201p 500円

鎌倉後期における佐竹一族—元応

元年佐竹彦四郎宛沙弥某奉書を

めぐって 笹岡 明

常陸太田市での集中曝涼の取組み

西野 保

座談会 高橋修編『佐竹一族の中

世』の成果と課題—執筆者らに

よる相互批評 茨城大学中世史研究会

千葉県東金市願成就寺出土の中世

瓦について 比毛 君男

調査報告

ひたちなか市の鎌倉街道 飛田 英世

那珂市中世城郭遺跡分布・縄張

調査報告(4)―門部・戸崎・
戸多地区 茨城大学中世史研究会
常陸太田市来迎院所蔵大般若經
調査報告(4) 茨城史料ネット
史料紹介 常陸太田市域の新出中
世棟札・巡礼札 高村 恵美
書評 高橋修編『佐竹一族の中世』
関 周一

◆長塚節の文学 長塚節研究会
〒300-2707茨城県常総市本石下4639
TEL0297-42-2003 年3000円 1994年創刊
◇23 2018.4 A5 37p 1000円
節の足尾鉍毒の歌 橋本 俊明
創作における人の環―節・子規・
漱石 成井 恵子
有名作家が見た長塚節文学の魅力
―特に『土』を中心として 桐原 光明
長塚節研究会会報第6号(昭和45
年6月)収録 節の『土』と私 大内卯之吉
長塚節と大日本史と弘文天皇 飯島 雅行
長塚節研究会会報第3号(昭和44
年8月)収録 足尾銅山鉍毒事件
と長塚節 高橋 正孝
長塚節の釣り短歌とタラソテラビ
―の関係について 岩渕 憲弥
長塚節研究会会報第1号(昭和43
年12月)収録 長塚節研究会発
起人会 平輪光三会長あいさつ
提案・長塚節研究会の研究課題 山形 洋一
長塚節研究会会報第1号(昭和43
年12月)収録 研究会発足のあ
いさつ 山口 正

◆栃木県考古学会誌
〒320-0865栃木県宇都宮市睦町2-2
栃木県立博物館内 TEL028-634-1313
1966年創刊

◇36 2017.3 B5 183p
《創立50周年記念号》
栃木県考古学会創立50周年に寄せ
て 埴 静夫
「栃木県考古学会」設立前後の埋
蔵文化財保護と発掘調査体制に
ついて 竹澤 謙
昭和・平成 栃木大会 クリアラ
ンス 海老原郁雄
県文化財保護課・7年間の思い出。
(昭和44年～51年) 常川 秀夫
講演会抄録 東国古墳時代におけ
る渡来文化の探求 日高 慎
資料紹介
遺跡探訪 収蔵遺物ポテンシャ
ルⅡ 海老原郁雄／鈴木勝
佐野市蕨川二通遺跡・蕨川二通
遺跡採集須恵器・瓦について
竹澤 渉
新出の室町後期の梅竹文透鈐燈
籠について―四基目の鈐燈籠
(守山八幡宮所蔵)の資料紹介
青村 光夫
初期群集墳形成過程と首長墳の動
向―宇都宮市東谷・中島遺跡群
の調査成果から 小森 哲也
“芳賀の歩けオロジスト”佐藤行哉
の業績とその生涯(2)―鶏塚古
墳を再考する(1) 黒崎 淳
胎土分析から見た栃木の埴輪(2)
―栃木県南部における大型古墳
の埴輪 秋元 陽光
再考・下古館遺跡 大澤 伸啓
モースと男体山山頂遺跡―エドワ
ード・S・モースの日光旅行 渡辺 邦夫
丸山瓦全の終戦前後の生活 竹澤 謙
追悼
哀悼の辞 橋本 澄朗

田熊清彦さんを偲んで 梁木 誠
田代隆さんの思い出 芹澤 清八
田代隆さんを偲んで 上野 修一
高橋静司さんの逝去を悼む 木下 実

◆歴史だより 栃木県歴史文化研究会会報
〒320-0865栃木県宇都宮市睦町2-2
栃木県立博物館内 TEL028-634-1313
年4000円 1991年創刊
◇107 2018.4 A4 4p
《特集 続・明治百五十年》
近代初期の初等教育 岩下 祥子
没後百五十年 黒羽藩主大関増裕
新井 敦史
青木義雄と内村鑑三 小竹 弘則
今が旬! 館・展示・講座情報
栃木県埋蔵文化財センター「ち
いさな前方後円墳がおもしろ
い」 進藤 敏雄
足利市立美術館「明治維新から
一五〇年 浮世絵にみる子ど
もたちの文明開化」 山本 訓志

◆ぐんま地域文化 群馬地域文化振興会
〒371-0801群馬県前橋市文京町3-27-26
群馬県立文書館内 TEL027-221-2346
1993年創刊 www.asahi-p.co.jp
◇50 2018.4 A4 36p
《高山村地域特集》
歴史を掘る 群馬県指定重要文化
財 福島味噌袋遺跡の螺旋状鉄
釧 石守 晃
地方創生と地域文化 村山 元展
第25回 石川薫記念地域文化賞
功労賞 梅澤重昭／研究賞 松
田猛／奨励賞 飯塚聡 唐澤 至朗
発掘情報 富岡市で発見された終
末期古墳(T007遺跡) 小原 俊行

図禄ぐんまの文化財
高山村の文化財 割田 信一
ぐんまの歴史入門講座
第189講
中山敷石住居跡について 鈴木佑太郎
第190講 後北城氏が到達した中
山城の姿 飯森 康広
第191講 三国街道の往来と中山
宿の役割 岡田 昭二
第192講 高山村の石造文化財
石造文化財の見方(39) 秋池 武
古文書解読入門講座(37)―古文書
から歴史を読む 三国通り中山
宿 本陣焼失文書を読む―高山
村 平形家文書より 樫沢 恭子
地域づくりと文化遺産
未来へつなぐ文化施設 割田 良次
ぐんまの地方豪族 高山の尻高氏
荒木 毅
ぐんまの川と生活 上越新幹線の
トンネル工事と農業用水 鈴木 啓三
ぐんまの人物誌 西形平七郎
―山美しく人貧しい村で 木村朝次郎
ぐんまの郷土芸能
尻高人形(人形浄瑠璃) 関 亜刀美
ぐんまの地名 高山村の地名 平形作太郎
ぐんまのくらしと民俗
高山村の歳時記 平形作太郎
研究・学習サークル活動紹介
高山村文化協会・文化財部 市村 征洋
出版情報 地域の刊行物紹介 割田 信一
事業紹介
郷土図書資料復刊頒布開始 唐澤 至朗
ぐんまの自然と風土
歴史を見てきた木 山口 廣

◆群馬地名だより
〒379-2144前橋市下川町6-16 井野修二方

TEL027-265-3859 1989年創刊
 ◇94 2018.5 B5 6p
 「館林」という地名 澤口 宏
 「隠れ里」とリュウ地名 高橋 治

◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会
 〒376-0011群馬県桐生市相生町2-995-2
 宮崎俊弥方 年4000円 1957年創刊
 blogs.yahoo.co.jp/gunmabunka/
 ◇333 2018.4 A5 60p
 戦国期山内上杉氏の家中形成
 一上州白旗一揆と上杉被官 久保田順一
 高崎五万石騒動における嘆願書の
 検討一明治二年十月高崎藩宛文
 書を中心に 和田 健一
 動向 片品絹遺産の会と地域文化
 遺産の再生 笠松 亮
 ぐんま絹遺産紹介(7)
 河合家住宅(みなかみ町) 田村 司
 下南室代々御神楽の養蚕の舞
 (渋川市) 中嶋 辰哉
 新刊紹介
 高木侃著『写真で読む三くだり
 半』 丑木 幸男
 田中修著『老農船津伝次平の農
 法変革論』『老農・船津伝次
 平の養蚕法』 関口 覺
 口絵 金箔押六十二間小星兜 憲
 国作一群馬県立歴史博物館蔵品
 資料(134) 森田 真一

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会
 〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1
 TEL027-223-2785 年4500円 1973年創刊
 www.l6.plala.or.jp/kuzira226/
 ◇253 2018.3 A5 57p
 県名「ぐんま」の誕生 湯沢 質幸
 徳川家康の戒名と関係寺社につい

て 井野 修二
 わが国最後の南画家 新井洞巖 一場 貞
 群馬の市街地地学ハイキング(4)
 桐生・笠懸の大地の生い立ちを
 訪ねて 藤井光男／中島啓治
 中村庄八／矢島祐介
 城崎温泉で足が治った上州人 井野 修二
 橋紀行 利根川(3)
 一長豊橋から銚子大橋 輿水 泉
 歴史散歩の報告(事務局企画)
 アプト式鉄道施設と坂本宿一確
 氷峠アプトの道を歩く 山崎 正
 江戸を歩く(21)
 一江戸近郊の柴又を歩く 山崎 正
 旅のトラブルも思い出に(4) シ
 ルクロード天山南路の旅(中国) (山崎)
 表紙写真 お滝様の泉(桐生桜木
 小学校西) 藤井 光男
 ◇254 2018.5 A5 57p
 崇福寺始原伝来記について 井野 修二
 前橋二十名勝について 井野 修二
 群馬の市街地地学ハイキング(5)
 大間々コース 大間々の大地の
 生い立ちを訪ねて 藤井光男／中島啓治
 中村庄八／矢島祐介
 高山彦九郎日記による歴史散歩
 (61)『北行日記』(20) 正田 喜久
 支部だより
 藤岡支部 水の郷・佐原と東国
 三社巡り 輿水 泉
 渋川子持支部 松本城・高山市
 内・日本大正村 佐藤 義一
 歴史散歩の報告(事務局企画)
 肥前・玄海と松浦地方(佐賀県) 山崎 正
 中世彦部家屋敷と渡辺華山の足
 跡『毛武遊記』(桐生市) 山崎 正
 児玉丘陵の歴史 成身院(百済

観音)と盲目の国学者 塙保己
 一(埼玉県) 山崎 正
 表紙写真 風呂川(柳原土手附近) 井野 修二

◆群馬歴史民俗 群馬歴史民俗研究会
 〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1046-4
 板橋春夫方 1980年創刊
 ◇39 2018.3 A5 88p
 母子健康手帳から見る国家の意図
 と母親役割 深津 美希
 「上毛野」氏の多義性について 関口 功一
 上州山中領上山郷勝山村における
 村方騒動と年貢勘定一史料紹介
 を兼ねて 佐藤 孝之
 都市祭礼としての三匹獅子舞一近
 世初期の城下町を中心にして 矢嶋 正幸
 書評 災害の伝承、語り継ぐ方法
 を学ぶ一関俊明著『災害を語り
 継ぐ一複合的視点からみた天明
 三年浅間災害の記憶一』 板橋 春夫

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会
 〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1046-4
 板橋春夫方 1979年創刊
 ◇153 2018.3 B5 4p
 館林市大島町における明治四十三
 年大水の冠水値を示す墨書発見
 顛末記 板橋 春夫
 第109回例会記事 築瀬大輔氏「上
 杉謙信の雪中越山」(築瀬)、亀
 井好恵氏「地域文化の再発見に
 かかわる実践的活動一桐生市広
 沢町の事例」(亀井)

◆埼玉地方史 埼玉県地方史研究会
 〒330-0063さいたま市浦和区高砂4-3-18
 埼玉県立文書館内 TEL048-865-0112

年3000円 1975年創刊
 ◇73 2018.3 A5 40p
 天保期旗本家の知行所支配の変質
 と「在役」一五〇〇石牧野家を
 事例に 野本 禎司
 坂戸世直し世界における里方勢
 一武州世直し一揆の地域論(1) 角田 望
 新刊紹介
 川越市立博物館編『川越藩松平
 大和守家記録一』 大橋 毅顕
 北条氏研究会編『武蔵武士の諸
 相』 (A)
 埼玉県教育委員会編『埼玉県史
 料叢書20 埼玉県布達集四』 (S)

◆我孫子市史研究センター会報
 〒270-1132千葉県我孫子市湖北台5-15-17
 岡本方 TEL04-7149-6404
 www.geocities.jp/abikosisiken/
 ◇193 (通500) 2018.3 A4 12p
 平成29年度最終歴史探訪の感想文
 「茨城県の歴史と水戸藩の教育
 を学ぶ」に参加して 下平みどり
 近隣市町の歴史資料館見学記(5)
 柏市郷土資料展示室 田中 由紀
 我孫子の社寺を訪ねる(26) 中峠
 地区(6) 長光院／弥陀堂 中澤 雅夫
 ◇194 (通501) 2018.4 A4 18p
 当会会員も整理に参加した『旧・
 布佐町 井上家資料目録』(I)
 (II)(III)が公刊された 事務局
 青山台フェニックスクラブ
 学習会 東 日出夫
 我孫子の社寺を訪ねる(27) 中峠
 地区(7) 宝照院(法照院、法性
 院) 中澤 雅夫
 我孫子の社寺を訪ねる(28) 緑(2)
 大光寺 江澤由紀子

鎌ヶ谷市に見る我孫子市内
 寺院のおふだ(御札) 近江 礼子
 ◇195 (通502) 2018.5 A4 20p
 「古代史研究グループの発足」に
 ついて 星野 征郎
 竜ヶ崎を訪ねる 宮本 研三
 常陸国 河内郡 龍ヶ崎・初夏一
 城跡・社を訪ねる(午後の部) 吉田 忠義
 古文書日曜部会・5月の活動報告
 文書に記された「訴訟と内済」 山崎 章蔵
 我孫子の社寺を訪ねる(29)
 中峠地区(8) 照妙院不動尊 中澤 雅夫
 新四国相馬霊場の掛軸 近江 礼子
 近世小金原における鹿狩りに際し
 ての庶民動員について一享保期
 の鹿狩を中心に 竹森 真直
 ◇196 (通503) 2018.6 A4 14p
 投稿募集『体験記 私たちの戦中
 ・終戦直後史』 我孫子市史研
 究センター編・つくばね舎発行
 谷田部隆博
 『体験記 私たちの戦中・終戦直後
 史』発行に賛同します
 残しておかなければならない
 「記録」の最後のチャンス!! 関口 一郎
 期待致します!! 柴田 弘武
 参加致します!! 逆井 萬吉
 「新木ふれあい講演会一新木と日
 秀の将門伝説」参加記
 岡本和男／田中康弘
 歴史探訪部会 6月例会 水戸道
 中 中根・荒川沖の一里塚から
 荒川沖宿を歩く 中嶋 正義

◆神田外語大学日本研究所紀要
 〒261-0014千葉県美浜区若葉1-4-1
 TEL043-273-1389
 ◇10 2018.3 A5 122p

慶応元年中央政局における薩摩藩
 の動向ー將軍進発と条約勅許を
 中心に 町田 明広
 分類学者(タクソノミスト)：河野
 本道のアイヌ民族否定論(上)
 マーク・ウィンチェスター
 From Descartes and Hegel to
 Andō Shōeki and Nishida
 Hitarō: Philosophy in Japanese
 Textbooks for Civil Servants
 (Part2) Roman PAŞCA
 日本研究所主催講演会要旨 神田
 外語大学周辺の災害の歴史(2) 土田 宏成
 日本研究所研究プロジェクト報告
 安藤昌益を再読・再解釈するー
 『自然真営道』からみえる現
 代社会の課題 ロマン・パシュカ
 慶応期中央政局における薩摩藩
 の動向ー王政復古を中心とし
 て 町田 明広
 アイヌ近・現代思想史の包括的
 研究 マーク・ウィンチェスター

◆佐倉市史研究
 佐倉市総務部行政管理課市史編さん担当
 〒285-0038千葉県佐倉市弥勒町78
 TEL043-486-3478 1983年創刊
 ◇31 2018.3 A5 102p
 幕末期カラフトを踏査した佐倉藩
 士たちー『北蝦夷画帖』『唐太紀
 行』から見えること 濱口 裕介
 佐倉市太田・大篠塚遺跡出土の旧
 石器時代遺物の再評価ー有樋尖
 頭器に関する一考察(下) 橋本 勝雄
 「下総佐倉堀田家文書」の来歴と
 堀田家家務所の組織・機能ー大
 名華族のアーカイブズ資源研究
 をめざして 宮間純／清水邦俊

資料紹介
 佐倉市岩富長福寺寛永四年石像
 について 小高 春雄
 尾藤二洲『称谓私言』写本 小関悠一郎
 佐倉に残る戸田家家臣の墓 松田富美子
 佐倉藩士の俸禄米代金渡勘定文
 書ー堀田家中木川家文書から
 土佐 博文
 市史編さん事務局から
 購入資料紹介 喜連川家臣二階
 堂主殿頭宛堀田正盛書状 土佐 博文
 資料調査報告 明治大学図書館
 所蔵 佐倉領之圖 土佐 博文

◆佐倉の地名 佐倉地名研究会会報
 〒285-0843千葉県佐倉市中志津6-21-13
 田中征志方 TEL043-489-7439 年2000円
 2012年創刊
 ◇19 2018.4 A4 12p
 志津の地名について(8) 田中 征志
 「根古屋」地名雑感 野村 忠男
 「佐倉牧」と地名 松永 茂
 佐倉惣五郎はどのように語られた
 か(2) 滝口 昭二
 「サクラ」の語源を考える 小川 眞資
 地名コーナー(千代田区) 三拾塚
 ・三十塚／金塚・笹塚 伊藤 清

◆紙魚之友 房総史料調査会
 〒113-0033東京都文京区本郷7-3-1 東京大
 学文学部日本史学研究室 1985年創刊
 ◇38 2018.3 B5 10p
 調査報告
 旭市入野宮穂和已家文書 小田 真裕
 旭市川口(旧川口村)新光寺文書
 菊地 智博

◆東京湾学会誌 東京湾の水士
 〒270-0198千葉県流山市駒木474 江戸川
 大学メディアコミュニケーション学部
 高橋克研究室 年5000円 1998年創刊
 ◇20 (4-2) 2016.3 B5 16p
 西上総における平田国学の展開
 ー八剱伊勢と平田篤胤・鏡胤 中川 和明
 ◇21・22 (4-3) 2018.3 B5 32p
 《東京湾学会シンポジウム
 「人ー海とのかかわり」特集》
 基調報告
 人ー海と陸のかかわりー東京湾
 の北限サンゴは何を語る? 大澤 雅彦
 水土論から東京湾学への道
 ー父高橋在久の東京湾から 高橋 克
 自然誌科学としての五感の生態
 学ー沼田眞先生の東京湾 中村 俊彦

◆成田市史研究 成田市教育委員会
 〒286-0017千葉県成田市赤坂1-1-3
 成田市立図書館管理係市史編さん担当
 TEL0476-27-2000 1972年創刊
 ◇42 2018.3 A5 72p
 水野葉舟の遠山村移住と地方文化
 活動ー回覧雑誌『さそり』を史
 料として 神尾 武則
 「紺」時代(昭和十年代)の東鷹女 川名 大
 明治二十年代前半の大沢庄之助の
 活動 矢嶋 毅之
 成田ニュータウンの遺跡(5) 中
 台六丁目は古墳時代のむらー石
 橋台遺跡 高木 博彦
 『成田の地名と歴史ー大字別地域
 の事典ー』編集余話(6)
 弘化三年の利根川の洪水をめぐ
 って 鏑木 行廣
 麻賀多神社の祭神と佐倉藩主 木村 修
 最古の磨製石斧 小川 和博

温石と焼石 高木 博彦
成田市史年表稿 2015(平成27)年
解説・中村政弘
成田市関係新聞記事目録
2015(平成27)年

◆西上総文化会報

〒292-0833千葉県木更津市貝渕1-11-4
TEL0438-25-2003
◇78 2018.3 B5 141p
藤浪弘美会長の訃報を悼む
藤浪氏を偲んで 鬼形むつ子
岡田真澄の『上総日記』を読む(2)
西上総文化会・古文書研究会
飯野藩史余録(3) 八田 英之
改めて「幕末遊撃隊 隊長 人見
勝太郎の書状」を読む 諏方 貞夫
富津の文人 織本泰 藤平 俊雄
戊辰戦争期から日清戦争期にお
ける戦争関係碑と招魂碑 野崎 竜太
『重城保日記』に見る多田元吉 村田 峯生
笠森お仙の水茶屋を訪ねる 西村 京一
別天津神ー日本的心性の基層 上杉 義隆
茨木常総地区を訪ねて
移動研修Ⅰ 今井 裕
栃木県真岡、益子、茂木を訪ねて
移動研修Ⅱ 浜名 儀一
幕末の飯野藩
一四人の人物を中心に 八田 英之
パネルディスカッション 岡田真
澄の『上総日記』を読む
八田英之／藤平俊雄／上杉義隆
第640回例会 研究発表Ⅰ 幕末
の飯野藩一四人の人物を中心に
第641回例会 移動研修Ⅱ
茨木常総地区を訪ねて
第642回例会 移動研修Ⅲ
真岡・益子・茂木を訪ねて

第643回例会
第69回西上総文化展
第645回例会 研究発表Ⅱ
岡田真澄の『上総日記』を読む
書評 至徳堂を知る会編著『至徳
堂物語』 藤平 俊雄
歴史ミニ情報・アラカルト
飯野藩ゆかりの「更科そば」 上杉 義隆
土産は二宮金次郎 川俣 公男
真岡市大崎神社の芭蕉句碑 藤平 俊雄
間宮林蔵体験 川俣 公男
笑い閻魔とホスピス 川俣 公男
「いき」(粋)の構造について 上杉 義隆
悼の言葉
参与・八田英夫様を悼む 川俣 公男
追悼 橘田昭雄先生 八田 英之
弔辞 藤浪弘美会長 八田 英之

◆房総石造文化財研究会会報

〒275-0001千葉県習志野市東習志野5-30-4-
404 木原律子方 TEL047-473-3540
年3000円 1980年創刊
◇137 2018.4 B5 6p
29年度 バス研修旅行報告
つくば市
3月 石仏見学会の報告 佐倉市

◆房総の石仏 房総石造文化財研究会

〒275-0001千葉県習志野市東習志野5-30-4-
404 木原律子方 TEL047-473-3540
年3000円 1982年創刊
◇27 2018.3 B5 48p
木更津の石造物(2) 稲木 章宏
北総の女人講関連の石造物にみる
女性名表記の変遷 蔵 由美
富津市の六十六部廻国塔 藤平 俊雄
墓地に関する明治前期の千葉県法
令 米谷 博

富津市旧勝隆寺跡内藤家墓所につ
いて 小高 春雄

◆松戸市立博物館紀要

〒270-2252千葉県松戸市千駄堀671
TEL047-384-8181 1994年創刊
www.city.matsudo.chiba.jp/m_muse/
◇25 2018.3 A4 33+9p
奥東京湾東岸湾口部の台地上集落
と縄文晩期の製塩活動ー松戸市
上本郷遺跡の検討から 須賀博子／河西学
資料紹介
松戸市立博物館所蔵の下総史料
館旧蔵塩輪 田中 淳子
松戸市立博物館蔵「下駄職人道
具」について 山田 尚彦
新収蔵資料 私立松戸中学校交
友会誌『松籟』第一号につ
いて 柏木 一朗

◆アーカイブ通信

ネットワーク・市民アーカイブ
〒190-0022東京都立川市錦町3-1-28-301
TEL042-540-1663 年6000円 2014年創刊
www.c-archive.jp
◇12 2018.3 A4 8p
市民活動資料が放つ光 「1968年
ー無数の問いの噴出の時代」を
見学して 新井 勝紘
公開学習会 シリーズ“原点”か
ら考える(3) 報告 受け継いで
いく思いーハンセン氏病文庫か
ら国立の資料館へ 講師：黒尾
和久さん
第3期緑蔭トーク報告 第4回
「産婆と産院の歴史と現代の出
産」 大出春江さん 記録 中村・江頭
住民はどう未来を選択と、作り上

げていくのかー横浜新貨物反対
運動を通して 宮崎省吾さん 文責・町村
ミニコミ紹介
ゆきわたり 子供問題研究会 戸垣 香苗
ごみっと・SUN
ごみ・環境ビジョン21 江川美穂子
市民アーカイブ多摩の資料棚から
(8) 平和(2) 長島 祐基

◆明日を拓く 東日本部落解放研究所

〒111-0024東京都台東区今戸2-8-5
TEL03-5603-1861 1993年創刊
www.hblri.org
◇115 (42-5) 2018.3 A5 92p 1000円
《特集 「在日朝鮮人」という闘いのポジショ
ナリティーー日本の「戦後」責任を問い直す》
特集にあたって 井桁 碧
報告
鄭栄相さん 日本の降伏／朝鮮
の解放と在日朝鮮人 (1945-
52)：朝鮮独立への隘路
朴金優綺さん 朝鮮学校差別問
題を国際人権の視点から考え
るー2014年の人種差別撤廃委
員会における日本政府報告書
審査を中心に

◆足立区立郷土博物館だより

〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
TEL03-3620-9393 1996年創刊
www.city.adachi.tokyo.jp/hakubutsukan/
chiikibunka/hakubutsukan/
◇73 2018.3 A4 4p
特集 展覧会スケジュールのつく
り方
展覧会担当とたとえば今年度みど
ころ 展覧会には担当がいる！
／今年の展覧会は？ 記念イヤ

一の展示、美術史界も注目、展示室大変化、王道の歴史展示／平成30年 展示スケジュール
ただいま研究中
日本最高峰の文晁研究機関??

◆足立史談
足立区教育委員会足立史談編集局
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇601 2018.3 A4 4p
B29搭乗員の墜落死について 薊 照夫
千住の百万遍(前)
永野家資料から 萩原ちとせ
企画展 谷文晁と二人の文一展
谷文晁の印象と印譜 郷土博物館

◇602 2018.4 A4 4p
文化遺産調査企画展「谷文晁と二人の文一」二世文一と文中一
谷家の系譜をつないだ兄弟 小林 優
千住の百万遍(後)
永野家資料から 萩原ちとせ

◇603 2018.5 A4 4p
若田家資料(1) 千住掃部宿の名業
豊屋太右衛門葉 多田 文夫
戦後足立の芸術家
西新井の教員画家、豊千里 小林 優
道具の使用目的の変化・蠅帳 郷土博物館

◇604 2018.6 A4 4p
戊辰戦争の風刺画が表す世相 郷土博物館
お知らせ 出張博物館グラフィック展 写真と錦絵で見る江戸から東京 郷土博物館
看板の力 東京電力千住支社 屋
上看板／日本製靴株式会社 屋
上看板／イトーヨーカドー西新井店 屋上看板／看板の文化 萩原ちとせ
若田家資料(2) 千住掃部宿 豊

屋太右衛門家の屋敷図 多田 文夫

◆足立史談会だより
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇360 2018.3 A4 8p
終戦直後の日本の教育改革の原点
米国教育使節団の報告書(23)
続・編 堀川和夫
保存樹散歩 保存樹が見てきた町の歴史 スジダイ 二本
「史談会だより」第一号から
史談会会員の情報交流を
2月探訪 池袋西口界隈
文化財担当としての安藤義雄氏
「伊興遺跡発掘調査報告書」から
「伊興遺跡発掘調査の経緯について」 安藤 義雄
「一四歳少年の眼に映った千住我が町・千住」 府立三中三年
(現都立両国高校) 河合榮治郎
(明治三八年・一四歳)

◇361 2018.4 A4 8p
終戦直後の日本の教育改革の原点
米国教育使節団の報告書(24) 堀川 和夫
保木間 十三仏堂の仏たち
3月探訪 竹の塚西保木間を歩く 案内・矢沢
春まだ浅き奈良の旅 唐沢 邦子
自由に死す ファシズム批判をした河合榮治郎(「中央公論」第65年1月号別冊付録 昭和25年1月号)
「河合榮治郎裁判記録」末尾の文章 夫・河合榮治郎 河合 国子
ガイドブック(1) 千住宿歴史ウォーク 千住一丁目～千住五丁目 NPO法人千住文化普及会

◇362 2018.5 A4 8p
盛況だった五〇周年行事 区民教養講座 松井慎一郎先生講義
「千住生まれの経済学者 河合榮治郎」／合同祝賀会 中川美知子
終戦直後の日本の教育改革の原点
米国教育使節団の報告書(25) 堀川 和夫
保存樹散歩 保存樹が見てきた町の歴史 キリ(栗原五丁目民家)
4月22日・区民教養講座 河合榮治郎を育てた千住 松井慎一郎先生の講演から
足立の俳句先人追慕 やっちゃばの俳人・為成菖蒲園 資料・樸原文夫氏

◇363 2018.6 A4 8p
終戦直後の日本の教育改革の原点
米国教育使節団の報告書(26)
教師の養成教育についての概観(承前) 堀川 和夫
保存樹散歩 ダイオウショウ(六木三丁目民家)
5月探訪 描かれた地 水道橋駿河台／神田明神曙之景／昌平橋聖堂神田川／筋違内八ツ小路／東京都水道歴史館
芭蕉陶像を宿場の象徴に 今回は『おくのほそ道』と芭蕉／学芸員多田文夫先生の講義から(再掲) 句碑に見る芭蕉への追慕
足立史談会五〇周年・足立史談六〇〇号 千住の隅外碑建立一〇周年 学童疎開を語る会五周年 千住の芭蕉翁顕彰会誕生 合同祝賀会
足立の俳句先人追慕 やっちゃばの俳人・為成菖蒲園 資料・樸原文夫氏

◆あるむぜお 府中市郷土の森博物館
〒183-0026東京都府中市南町6-32
TEL042-368-7921 1987年創刊
www.fuchu-cpf.or.jp/museum/

◇123 2018.3 A4 8p
徳川御殿@府中 その肆
観光地化を図る 花木 知子
展示会案内 企画展 田村智久写真展 花の森八景 萌えさかる
花たちを謳う 本間 隆幸

NOTE
天正18年、六所宮兵火に遭う 深澤 靖幸
たまがわ野鳥セクション(8)
最後の大物 タカ・ワシ類参上 中村 武史

最近の発掘調査 鎌倉街道上道の支路を発掘 美好町三丁目 野田憲一郎
開館30周年を迎えての…あれこれ
(4) 今どきの地域博物館像 小野 一之

◆板橋史談 板橋史談会
〒174-0075東京都板橋区桜川2-27-3
大澤鷹邇方 TEL03-5398-2682 1966年創刊
www.sites.google.com/stite/itabashishidankai/

◇296 2018.5 B5 16p
表紙写真解説
「なかいたへそ祭り」 写真と文・井上富夫
昭和の思い出あれこれ 昭和後期の駅の思い出 鶯谷駅・巣鴨駅・高島平駅 泉 貞代
石神井川に旧石器時代遺跡を求めたところ 大澤 鷹邇
大谷道にバスが行き交った頃 石田 太郎
松浦勉会員 区史編さん・公文書館開設の回顧録『ふるさとの天・地・人』出版
地域図書紹介 越澤明著『東京都市計画物語』(ちくま学芸文庫)

◆大田区立郷土博物館紀要

〒143-0025東京都大田区南馬込5-11-13
TEL03-3777-1070 1991年創刊
www.city.ota.tokyo.jp/kyoudo-h/
◇22 2018.3 A4 98p
古墳時代後期における大田区内の
集落遺跡について—久ヶ原遺跡
古墳時代後期集落の周辺地域に
おける位置づけ 林 正之
熊谷恒子の書にみる平安古筆の影
響について 荻野 祐子
徳富蘇峰の日常についての一考察
—秘書たちの回顧録を中心に 乾 賢太郎
青龍社と籠子 研究ノート(2)
「春の青龍展についての考察」 木村 拓也
東京の双盤念仏(改訂版) 坂本 要
地域における博物館の役割—大森
海苔のふるさと館の活動を通し
て 舟越 寿尚
資料紹介
東京都大田区久ヶ原遺跡採集弥
生土器2例—3D計測による博
物館収蔵標識資料の再記載
野口淳／斎藤あや
館蔵絵葉書にみる大田区域内の
小学校—明治後期～昭和初期
における学校の分布状況と児
童数の推移に関する若干の考
察とともに 真坂オリエ

◆奥武蔵 奥武蔵研究会

〒175-0092東京都板橋区赤塚7-18-7
https://www.okumusashi.club
◇420 2018.3 B5 19p
受け継がれるべきもの 小泉 重光
二件の遭難事例を考える 成川 茂雄
奥武蔵・秩父の獅子舞(73)
—飯能市・石原の舞 関口 洋介

2017年 奥武蔵・秩父地域に於け
る山岳遭難 町田 尚夫
◇421 2018.5 B5 24p
愛しきもの、それは奥武蔵そして
秩父 小泉 重光
蟬指(せみざす・せんざす)地名考
—地形図から消えた焼畑集落 藤本 一美
奥武蔵・秩父の獅子舞(74)
—用土・諏訪神社の舞 関口 洋介
小瀬田峠と山の神、2つの峠越え
の道 吉田美知子

◆北区史を考える会会報

〒115-0052東京都北区赤羽北1-3-10
大澤栄美方 TEL03-3907-0040 1986年創刊
◇129 2018.5 B5 12p
第424回 月例見学会 滝野川四本
木稲荷の奉納品について 八木 司郎
第422回 月例研究会 関東酸曹(株)
が製造した鍔瓦とその現況 領塚 正浩
第423回 月例研究会
「赤羽工兵隊の足跡」概説 上野 基次

◆儀礼文化ニュース 儀礼文化学会

〒160-0012東京都新宿区南元町13-7
TEL03-3355-4188
◇209 2018.3 A4 8p
催事スケッチ 流しびな
鳥取県鳥取市用瀬町
春季大会は四月開催 〈三曲〉～糸
の調べ 春季大会次第／平成30
年度地方大会 谷地八幡宮の林
家舞楽
催しものレポート 第27回関西支
部 秋季学術大会 飯塚 好
レポート
儀礼文化講座(平成29年度第5
回) 諸宗教「キリスト教が

やってきた。日本を仏教国に
したヨーロッパのキリスト
教」講師:松尾恒一
儀礼文化講座(平成29年度第6
回) 神道「松尾の葵祭」講
師:南美宜
儀礼文化セミナー(平成29年度
第3回) 歌舞伎「歌舞伎見
学」 佐々木幸子

◆記録管理学会ニュースレター

〒267-0066千葉市緑区あすみが丘5-54-8
船越幸夫方 http://www.rmsj.jp
◇82 2018.4 A4 24p
2018年記録管理学会研究大会のご
案内 大会テーマ:記録管理の
研究・教育に関する現状と課題
—大学における記録管理の動
向:教育、調査研究:近畿大学
を例として 荒 俊樹
記録管理学会 2018年度 通常総
会 開催のご案内 船越 幸夫
学会表彰活動について 君塚 仁彦
記録管理学会主催行事
第158回記録管理学会例会報告
テーマ:仁科財団に関する講
演と保管資料等の見学 講演
者:矢野安重
第158回記録管理学会参加記
アーカイブ整理4原則がとこ
とん生きている仁科記念室 小川千代子
第159回例会報告 テーマ: V
RM(Vital Records Manegi
ment)について考える! 報
告者:石井幸雄 石井 幸雄
アーカイブズ関係機関協議会
(第15回)報告 船越 幸夫
N Lが行く! 株式会社国際マイ

クロ写真工業社 森松義高代表
取締役インタビュー 石橋 映里
個人情報保護への取り組み(3) 石井 幸雄
「RM 気象台」(7)
ARMA の GARP 原則 小谷 允志
第11回資料保存シンポジウム報告
榎 満塁
デジタルアーカイブズ学会研究大
会報告 高野 明彦
2月18日 愛知県東栄町役場倉庫
で火災—現地調査報告 小川千代子

◆ケガレと銅鐸 通信 木村成生

〒197-0023東京都福生市志茂113-2
TEL042-551-2768 2017年創刊
◇1 2017.11 A4 4p
近況報告 萩原秀三郎氏の逝去／
『散歩の手帖』を語る会 木村 成生
新聞からラジオから
十五夜ください 木村 成生
『散歩の手帖』から
餅なし正月とは何か 木村 成生
◇2 2017.12 A4 4p
近況報告 1号の反応
「豆あげましたか〜」 木村 成生
新聞からラジオから 子供強飯式
木村 成生
『散歩の手帖』から
なぜ餅を焼くのか 木村 成生
◇3 2017.12 A4 4p
新聞からラジオから
ニッポン時空旅「もち」 木村 成生
新聞からラジオから
破魔弓、破魔矢 木村 成生
『散歩の手帖』から(『散歩の手帖』
25号第5章に関連して)寝正月
の起源と初夢 木村 成生
◇4 2017.12 A4 4p

新聞からラジオから ミンマ 木村 成生
 ミンマ(巳午)と神話 木村 成生
 ◇5 2018.1 A4 4p
 新聞からラジオから
 鏡餅の鏡って何 木村 成生
 なぜ五目飯、混ぜご飯なのか
 通信4号2ページの「五穀餅」
 をうけて 木村 成生
 ◇6 2018.2 A4 4p
 新聞からラジオから
 古事記を楽しむ(2) 木村 成生
 『散歩の手帖』から 25号第5章
 をうけて 昔の一日は日暮れか
 ら始まった、のか? 木村 成生
 ◇7 2018.3 A4 6p
 近況報告 九州のI氏からのハガ
 キと私の返信／私の返信 木村 成生
 新聞からラジオから
 「天声人語」で古事記 木村 成生
 新聞からラジオから 節分 木村 成生
 漢字「穢」(ワイ、エ)とは何か
 「穢」にみる意味の変遷 木村 成生
 ◇8 2018.5 A4 6p
 新聞からラジオから 「女性の方
 は土俵から降りてください」
 ケガレの起源に由来する日本文
 化の現在 木村 成生
 網野善彦『日本の歴史をよみなお
 す』を読み直す その1「河原
 や道のような開かれた場所では
 ケガレは伝染しないのです」 木村 成生
 ◇9 2018.6 A4 7p
 常識はくつがえるということ 実
 証=餅はかつて、ケガレの象徴
 だった 木村 成生

◆交通史研究

交通史学会(発売:吉川弘文館)

〒161-8539東京都新宿区中落合4-31-1
 目白大学社会学部地域社会学科 鈴木章生
 研究室気付 1976年創刊
 www.kotsushi.org
 ◇92 2018.3 A5 95p 2500円
 日清・日露戦争における外国人記
 者の処遇について—従軍に関す
 る諸規則を中心に 石本 理彩
 明治初期の園芸をめぐる異文化交
 流—プラントハンター、カー
 ル・クレマーを事例として 小風真理子
 史料紹介
 翻刻飛脚関係摺物史料(7) 藤村潤一郎
 戦前日本における自動車旅行の
 記録—三井高公と自動車仲間
 の旅行 下向井紀彦
 新刊紹介
 兼平賢治『馬と人の江戸時代』岩橋 清美
 鈴木靖民・荒木敏夫・川尻秋生
 編『日本古代の道路と景観—
 駅家・官衙・寺』 小鹿野 亮
 武田尚子『荷車と立ちん坊』 玉井 幹司
 谷内正往『戦前大阪の鉄道駅小
 売事業』 鈴木 章生
 2017年度交通史学会第二回例会
 常任委員会(文責・下向井紀彦)
 地方の飛脚—名古屋の飛脚問屋
 井野口屋(報告要旨) 巻島 隆
 物流博物館特別展「飛脚問屋・
 嶋屋佐右衛門日記の世界」を
 見学して 下向井紀彦
 2017年度交通史学会第三回例会
 常任委員会(文責・玉井幹司)
 幕末期における出羽国村山郡幕
 領の江戸廻米—弘化二年、江
 戸における郡中納惣代の活動
 野本 禎司
 文政十一年の三島宿・助郷出入

について

厚地 淳司

◆市史研究きよせ

〒204-8511東京都清瀬市中里5-842
 清瀬市企画部市史編さん室市史係
 TEL042-497-1813 2016年創刊
 ◇3 2018.3 A5 89p
 平成27年・28年度の古文書調査報告
 古代・中部会
 古文書原文確認 栃木県矢板市
 長沢進氏所蔵北条氏照判物—
 「正木武膳家譜」所収氏照文
 書写の原本
 史料紹介 茨城県水戸市
 江口正紀氏所蔵北条文書
 研究ノート「上杉家文書」に
 おける北条氏照文書について
 重要有形民俗文化財「清瀬のうち
 おり」
 市民が語る清瀬の歴史 清瀬の農
 協と農業—齊藤靖夫さんに聞く
 高村聰史／黒川徳男
 講演会報告「中世の清瀬市域—
 ゆかりの人物と文書を追って」
 講師:浅倉直美
 石碑・石仏探訪(1)
 「ここに清瀬病院ありき」の碑 小西 一午
 野塩の庚申塔 岡田 耕輔
 行政資料から見る清瀬の鉄道—武
 蔵野鉄道清瀬・秋津駅と幻の東
 京青梅電気鉄道清瀬駅 中野 光将

◆石神井公園ふるさと文化館ニュース

練馬区立石神井公園ふるさと文化館
 〒177-0041東京都練馬区石神井町5-12-16
 TEL03-3996-4060
 www.neribun.or.jp/furusato.html

◇28 2018.3 A4 4p

企画展「むかしのがっこう」／分
 室特別展「宮沢賢治—友情のか
 たち」

◆自由民権 町田市立自由民権資料館紀要

〒195-0063東京都町田市野津田町897
 TEL042-734-4508 1987年創刊
 ◇31 2018.3 A5 97p
 1945年11月英字紙『ニッポンタイ
 ムズ』に掲載された鈴木安蔵の
 憲法制定論 田村 貞雄
 一村びとからみる江戸と周辺地域
 —武蔵国多摩郡下小山田村啓助
 を事例に 小林 風
 書評 友田昌宏編著『東北の近代
 と自由民権—「白河以北」を越
 えて』 山田 英明
 新刊紹介 小川原正道『西南戦争
 と自由民権』 落合 弘樹
 民権ネットワーク
 北海道 國岡 健
 東北 友田 昌宏
 福島県 鈴木 吉重
 茨城県 飯塚 彰
 埼玉県 鈴木 義治
 千葉県 矢嶋 毅之
 東京都 福井 淳
 多摩地区 松崎 稔
 神奈川県 野崎 昭雄
 新潟県 横山 真一
 静岡県 加藤 善夫
 愛知県 中元 崇智
 高知県 筒井 修一
 鹿児島県 久米 雅章
 旧幕臣 樋口 雄彦
 田中正造 赤上 剛
 文学 松原 真
 自由民権運動関係文献情報(31)

◆城郭史研究

日本城郭史学会（発売：東京堂出版）
〒174-8691東京都板橋区 板橋北郵便局私
書箱50号 TEL03-3967-1948 年6000円
1968年創刊

◇37 2018.3 B5 140p 2700円
最古の「大坂冬の陣配陣図」補論
—廣田氏蔵配陣図と江戸東京博
物館蔵配陣図をめぐって 中村 博司
安芸郡山城の構造—史料と遺構か
らみる戦国期毛利氏の本拠城 秋本 哲治
戦国期関東の城郭石積み・石垣
—北武蔵とその周辺を中心に 石川 安司
相州玉縄城実測調査報告 大竹 正芳
鹿垣で陣地をめぐらす仏木の地 高井 勝己
復興大同古城と大境門・紫荊関長
城を巡る旅—第六回中国の城郭
・長城旅行会に参加して 小田 正雄
宮城、表宮殿の天井画に関する集
成と一考察—宮内庁宮内公文書
館所蔵資料から 野中 和夫
相模玉縄城
—宗瑞が築いた異形の城郭 坂井 尚登
城郭史関係文献目録 阿部 和彦

◆城郭だより 日本城郭史学会会報

〒174-8691東京都板橋区 板橋北郵便局私
書箱50号 TEL03-3967-1948 年6000円
1993年創刊

◇101 2018.4 A4 6p
常陸・小田城址—整備・公開され
た「歴史ひろば」

小島陣屋—石垣がみごとな近世陣
屋、移築書院も残存
最近の城郭ニュースから

最近の注目される城郭図書から
北野天満宮編著『北野天満宮御
土居・史跡等整備事業報告書』、

黒田基樹著『北条氏政』、島崎
晋・東京地図研究社著『凸凹地
図で読み解く城』、皆木和義著
『名君の門・戦国武将 森忠政
東北の歴史』通史編1

◆常民文化 成城大学常民文化研究会

〒157-0066東京都世田谷区成城6-1-20
TEL03-3482-1181 1977年創刊

◇41 2018.3 A5 90p
遊郭・飯盛旅籠の客
—田舎衆と百姓 高木まどか
かぐや姫はキャラかキャラクター
か 木下 聖三
彼岸花にみる生活世界
—命名と名称分布から 川名 瑞希
山間地集落の暮らし
—居住者と他出者の現状 鈴木 彩子
千葉県館山市神余における「農」
の成り立ち—農業日誌の分析を
もとに 玉井 里奈

◆杉並郷土史会史報

〒167-0022東京都杉並区下井草3-12-9
新村康敏方 1973年創刊
www.sugi-chiiki.com/rekishikai/

◇268 2018.3 A4 10p 400円
胴村といわれた荻窪(2) 荻窪周
辺に軍人が住んだのは何故か 寺田 格郎
“軽井沢に近衛別荘跡を訪ねて”
—“すぎなみ文化協会・歴史部会”
主催 日帰りバス見学会参加の
記 大場 良枝

軽井沢に近衛別荘跡を訪ねる 新村 康敏
◇269 2018.5 A4 10p 400円
和泉村(町)の雨乞について 小川 春夫

石井桃子—幸運の人 真板 道夫
平成29年11月5日 東京文化財ウ

ーク2017 杉並区境を歩く～
久我山から烏山寺町に行く 服部 建人
第8回新春七福神巡りを終えて 伊東 勝
新刊図書『杉並の近世交通野史』
紹介 木村輝郎著 一粒書房

◆すみだ川 隅田川市民交流実行委員会

〒111-0042東京都台東区寿2-9-9
北村国男方 TEL03-3844-2008 年3000円

1987年創刊 ce.it-chiba.ac.jp/shinoda/
◇63 2018.4 A4 16p

隅田川サミット『四万十川の現
状と未来について』講師：中
井智之
交流コーナー 紫川を愛する会
「武良前 むらさき通信」第129
号、2018年1月号「近況報告
第26回全国川サミット in 四万
十に参加して」(崎野) 衛藤 修一
隅田川サミット記念講演 追記
『山内容堂と家祖愛子 船場・
綾瀬草堂の暮らしを偲ぶ』 川越 敏生

隅田川大学実践俳句講座『隅田
川大学実践講座「俳句を創ろ
う」』 鐘ヶ淵界隈を歩く—多聞
寺～木母・梅若塚～隅田川神社
講師：岡部恒雄
第26回・神田川サミット2017・文
京『江戸の水。東京の水』—今、
わたくしちたちが考えるべきこ
と 報告：岡部恒雄

副会長 沼尻重男氏を悼む
—沼尻さんとの30年 猪狩 達夫
故大松騏一氏を偲んで 藤原 隆

◆すみだ郷土文化資料館年報・研究紀要

〒131-0033東京都墨田区向島2-3-5
TEL03-5619-7034 2015年創刊

www.city.sumida.lg.jp/sisetu_info/siryoku/kyoudobunka/

◇4 2018.3 A4 20+70p
江戸の行楽地と天海僧正 中川 仁喜
平山煙火製造所と横浜
—近代を演出する西洋花火 上田 由美
墨田区のヤミ市について 石橋 星志
花火に関する資料調査報告—『花
火秘伝集』・浮世絵と打ち上げ
筒・武士の花火 福澤 徹三
史料翻刻「弘前藩庁日記(江戸日
記・宝永元年十月)」 福澤 徹三
文化財紹介 墨田区指定有形文化
財(歴史資料)「石造墨堤永代常
夜燈」 中山 学

◆西郊民俗 西郊民俗談話会

〒160-0016東京都新宿区信濃町17-1
大島方 年2000円 1957年創刊
seikouminzoku.sakura.ne.jp

◇242 2018.3 B5 31p
十和田湖のトワダ信仰の「迷信」
化—近代の和井内貞行顕彰を例
に 村中 健大
高野の大杉様 大島 建彦
富山県魚津市古鹿熊における民俗
補遺 森 俊
青森県域の生業を支える女性の
“稼ぎ”(2)—山村地域 長谷川方子
青森県下北郡東通村の文化財施設
とその活用 小池 淳一

◆全日本郷土芸能協会会報

〒106-0032東京都港区六本木4-3-6
三河台ハイッ206 TEL03-6434-9434
年2000円 1995年創刊 www.jfpaa.jp

◇91 2018.4 A4 20p
さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座
北海道札幌市 矢吹 英孝

ぼくたちのニッポンの祭り2018～
 全国の子どもたちが未来に繋
 ぐ、ふるさとの芸能大集合！
 「真家のみたま踊」「白峰のかんこ
 踊」調査報告書完成
 「ポロトコタン」から2020年「民
 族共生象徴空間」へ 八幡 巴絵
 人形特集
 人形芝居体験記「大人のための
 乙女文楽体験ワークショップ」北河 直子
 第四回公演 古典を楽しむ春
 八王子車人形の感想 澤 雪絵
 民俗楽器(67)
 騎楼と庇—台湾の保存会 山本 宏子
 伊勢大神楽と現代日本を歩く(4)
 風の暮らし、土の暮らし 神野 知恵
 かながわ伝統芸能祭 地芝居2018
 17回目を迎えた、かながわ伝統
 芸能祭 地芝居2018 (芦野)
 平成29年度地域資源発掘型実証プ
 ログラム事業 菅生歌舞伎公演 (西田)
 地芝居あれこれ(29) 「みなさん
 の芝居愛を伝えたい」 蒲池 卓巳
 BOOK良書紹介『暴れ牛と神さび
 る熊—供養と霊送りの民俗誌』
 星野紘著 (笹生)
 ◆総合女性史研究 総合女性史研究会
 〒154-8533東京都世田谷区太子堂1-7-57
 昭和女子大学総合教育センター
 友野清文気付 年3500円
 https://sites.google.com/a/sogojoseishi.
 com/zong-he-nue-xing-shi-xue-hui/
 ◇35 2018.3 A5 113p 1300円
 中世村落寺院における尼僧の存在
 意義—加賀国長福寺の事例より 小西 洋子
 中村正直の西洋思想受容と女性論

—「善良ナル母ヲ造ル説」とS・
 スマイル著『西洋品行論』 金子 幸子
 資料展望 近世農民の日記を読む
 一家内女性の労働と休日へのア
 プローチ 青木美智子
 女性史と私
 日本女性史研究の五〇年 伊藤 康子
 書評 伊集院葉子著『日本古代女
 官の研究』 春名 宏昭
 新刊紹介
 義江明子著『日本古代女帝論』伊集院葉子
 服藤早苗編『平安期の女性と政
 治文化』 西野悠紀子
 野村育世著『ジェンダーの中世
 社会史』 酒井 紀美
 早川紀代・江刺昭子編『原爆と
 原発、その先—女性たちの非
 核の実践と思想』 中嶋みさき
 地域女性史
 地域における女性史研究の成果
 —現状と課題(2017) 瀬上 ゆき
 文献紹介『第一二回 全国女性
 史研究交流のつどい in 岩手
 次代に受け流す女性史を 遠
 野・大槌・宮古 報告集』 宮崎 黎子
 文献紹介『女たちが立ち上がつ
 た 関東大震災と東京連合婦
 人会』 山辺恵巳子
 文献紹介『奈良女性史研究会
 Vol.12 20周年記念号』 石月 静恵
 地域女性史グループ紹介(6)
 静岡発—女の足跡紡いで 静
 岡女性史研究会 大塚佐枝美
 ひろば
 現地組織委員の視点から見た第
 17回パークシャー学会大会 寺澤 由紀
 日中韓女性史国際シンポジウム
 に参加して 長島 淳子

小和田美智子さんの死を悼む
 宇佐美ミサ子
 大会の記録
 大会趣旨 「働く女性はどうえ
 がかれてきたか」 長島 淳子
 2016年度大会報告
 考古資料からさぐる働く女性
 の姿—人物埴輪を中心に 菱田 淳子
 中世・描かれた働く女性たち
 斉藤 研一
 近世後期・名主家の日記にみ
 る農村女性の労働と休日 青木美智子
 《大東亜戦皇国婦女皆働之図》
 にみる戦時下の働く女性 吉良 智子
 質疑・討論 辻浩和／石月静恵

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会
 〒157-0061東京都世田谷区北鳥山2-3-9-101
 光田憲雄 TEL03-3307-2146
 www.k5.dion.ne.jp/~daidogei/
 ◇315 2018.4 A4 2p 100円
 わいわい天王・牛頭天王
 お喋りのお知らせ 明治政府から
 抹殺された神—牛頭天王とは何
 ぞや
 ◇316 2018.5 A4 2p 100円
 「にほんの大道芸と物売り」盛況
 裡に終える！
 わいわい天王・牛頭天王(2)
 ◇317 2018.6 A4 2p 100円
 江戸の物売りと大道芸 甘酒売り
 ／荒神松売り／紙屑買い／古傘
 買い／針売り／灰買い／赤蛙売
 り／願入坊主／考え物／御日和
 御祈願
 わいわい天王・牛頭天王(3)

◆多摩地域史研究会会報
 〒207-0033東京都東大和市芋窪4-1735-1-
 103 梶原方 1991年創刊
 tamatiken.web.fc2.com
 ◇130 2018.5 B5 6p
 第99回例会報告 多摩の中世城館
 を歩く 八王子城 西股 総生
 地域史情報室 青梅郷土博物館
 企画展「明治時代の青梅—近代
 化と人々の生活」／東村山ふる
 さと歴史館 下宅部遺跡展「縄
 文の湊Ⅱ」 (K)
 ◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団
 〒186-8686東京都国立市中1-9-52
 TEL042-574-1360 年600円 1975年創刊
 www.tamashin.or.jp
 ◇170 2018.5 A5 98p
 《特集 “武蔵野” 研究一〇〇年》
 “武蔵野” 研究一〇〇年
 坂詰秀一／樋渡達也／加藤功／
 岸本昌良／三橋広延／高麗正／
 伊藤博司／松原典明／根岸茂夫
 ／藤森梨衣／伊佐九三四郎
 洋風建築への誘い(59)
 昭和のかほり 東中神界限 伊藤 龍也
 建物雑想記(54)
 西平山、一五〇年の古民家 酒井 哲
 古文書は語る(48) 八王子千人隊
 の長州出兵時の戦闘—丸山家文
 書「御進発御供中諸事筆記」よ
 り 馬場 憲一
 多摩の金融史(5)
 市町村史誌からみた多摩の講 陳 玉雄
 多摩のみほとけ(33) 八王子市
 興慶寺 銅像地藏菩薩立像 齊藤 経生
 本の紹介
 東村山昔話保存会編『昔ことば

で語る 東村山昔話百話』 大藪 裕子
府中市郷土の森博物館編『徳川
御殿@府中』 柳沢 誠
武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史
館編『TARGET No.357～攻
撃目標となった町、武蔵野』 牛田 守彦

◆調布市郷土博物館だより

〒182-0026東京都調布市小島町3-26-2
TEL042-481-7656 1978年創刊

◇79 2018.3 A4 6p

一九六四年オリンピック東京大会
六十九人がつないだ聖火リレー
聖火はアジアの都市をまわって東
京へ 金井 安子

◆調布の文化財 調布市郷土博物館

〒182-0026東京都調布市小島町3-26-2
TEL042-481-7656 1986年創刊

◇56 2018.3 A4 8p

「第64回文化財防火デー」に伴う
深大寺での防火訓練 赤城 高志
市内の指定・登録文化財 深大寺
所蔵の指定文化財 山門(市有
形文化財)／木造阿弥陀如来坐
像(市有形文化財)／河鍋暁斎の
天井画(龍図)(市有形文化財)／
深大寺元三大師参詣の道標(市
有形民俗文化財)／銅造釈迦如
来倚像(国宝)／深大寺釈迦如来
倚像厨子(市有形文化財)／梵鐘
(国重要文化財)／木造毘沙門天
立像(市有形文化財)／深沙大王
堂内宮殿(市有形文化財)／銅磬
市指定無形民俗文化財 第60回を
迎えた祭ばやし保存大会 赤城 高志
新指定の文化財 市有形文化財
「近藤勇養子縁組状」 芝崎由利子

◆東京産業考古学会 NEWSLETTER

〒174-0046東京都板橋区蓮根2-29-10 新蓮
根団地105 多田統一方 FAX03-3964-8548
／〒352-0011埼玉県新座市野火止4-8-43
袖須紘一方 FAX048-479-7490 年2000円
tias3.web.fc2.com

◇129 2018.3 A4 6p

報告 講演会「湯たんぽの話」 奥原 一三

報告 2018年度 東京産業考古学

会総会

新刊紹介 『TOKYO WATER
TOWER』 発行：地球丸 著
者：オオタマサオ 写真：太田
準也 文・写真 奥原一三

報告 2018年度研究大会 文・写真 吉田修
文献紹介 『ものづくり 日本の

源流』 酒井陽太著 多田 統一

新刊紹介 『愛蔵版 茶箱と茶籠

の図鑑 99』 堀内明美著 多田 統一

産業遺産を訪ねて(14) 二の丸観

光案内所—小田原城内の木造洋

館 文・平井東幸

茨城県石岡市の赤煉瓦建築物(10)

「館野亭太郎邸(川崎銀行石岡支
店)」 文・イラスト 八木司郎

◇130 2018.5 A4 6p

報告 講演会「免震技術と免震レ

トロフィット工法の開発—歴史

的建造物の地震対策として—」

講師：浦川卓也 文・写真 奥原一三

報告 講演会「足尾銅山、写真で

見る30年」 講師：奥原一三

文・写真 奥原一三

産業遺産を訪ねて(15) 島津製作

所の創業記念資料館—創業地・

京都の企業博物館 文・写真 平井東幸

計報 中島大悟氏 吉田 修

茨城県石岡市の赤煉瓦建築物(11)

「地磁気観測所実験室」

文・イラスト 八木司郎

◆東京の文化財

東京都教育庁地域教育支援部管理課

〒160-0023東京都新宿区西新宿2-8-1

TEL03-5320-6862 1979年創刊

◇124 2018.3 A4 8p

東京都指定文化財の新指定 新た

に指定するもの 有形文化財

(建造物) 旧粕谷家住宅、有形

民俗文化財 熊川の南稲荷講膳

椀及び膳椀倉、史跡 狐塚古墳

(下布田6号墳)

国指定重要文化財(建造物)「自

由学園明日館」講堂の修理工事

について

文化財を生かす

大田区 新田神社とその周辺

小平市 小川家文書

「葛飾柴又の文化的景観」

一新選定 国の重要文化的景観

◆練馬郷土史研究会会報

〒179-0072東京都練馬区光が丘5-2-3-806

鎌田茂男方 TEL03-3977-3091

1956年創刊

◇368 2018.4 A4 2p

豊島氏関係史料を読む(21) 丁丑

(天正五年)七月十三日付け北条

家印判状を読む(3) 伊藤 一美

昭和史雑感 昭和天皇と將軍達

(28) 東条英機(2) 鎌田 茂男

4月例会 新緑の秩父札所巡り(1)

四萬部寺／真福寺／常泉寺／金

昌寺／長圓寺／ト雲寺／法長寺

／西善寺

◆練馬区地名研究会会報

〒176-0014東京都練馬区豊玉南3-24-4

飯塚芳男方 TEL03-3992-0264

年2500円 1987年創刊

◇121 2018.3 B5 4p

第122回例会 石神井城下の村々

—石神井用水を中心に 下島 邦夫

◆ねりまの文化財

練馬区地域文化部文化・生涯学習課伝統文

化係 〒176-0012東京都練馬区豊玉北6-12-

1 TEL03-5984-2442 1988年創刊

◇102 2018.4 A4 6p

平成29年度新規の登録文化財

五十嵐家文書(登録有形文化

財)、千川堤植櫻楓碑(登録有形

文化財)／五十嵐家文書の修補

練馬区指定文化財一覧(No.1～28)

／練馬区登録文化財一覧 有形

文化財(No.1～118)、無形文化財

(No.1～5)、有形民俗文化財(No.1

～46)、無形民俗文化財(No.1～

28)、史跡(No.1～14)、名勝(No.1)、

天然記念物(No.1～11)

三年に一度の神輿渡御行列、鶴の

舞が行われます

◆府中市郷土の森博物館紀要

〒183-0026東京都府中市南町6-32

TEL042-368-7921 1988年創刊

www.fuchu-cpf.or.jp/museum/

◇31 2018.3 A4 31+35p

東京都武蔵台遺跡出土の石棒の石

材について—縄文時代中期終末

の大型石棒の製作と流通に向け

ての基礎的研究 山本典幸／柴田徹

府中御殿覚書

—発掘成果の再検討を中心に 深澤 靖幸

武蔵国分寺の近世縁起を読む 小野 一之
くらやみ祭「太太鼓の饗宴」の発
祥と発展 下村 盛章

◆府中市史編さんだより

府中市文化スポーツ部ふるさと文化財課市
史編さん担当 〒183-0023東京都府中市宮
町3-1 ふるさと歴史館 TEL042-335-4376
2016年創刊
www.city.fuchu.tokyo.jp/bunka/bunka/shishihensan/

◇5 2018.3 A4 8p

ふちゅう温故知新(4)

人見(ひとみ)

部会長インタビュー(4) 「市民の
歴史意識を育む市史を目指して」
近・現代専門部会長・元専修大
学文学部教授 新井勝紘先生
第2回府中市史講演会「史料でみ
る近世府中宿の歴史」開催報告
第3回府中市史講演会「中世都市
「府中」の力」講演録 海老澤
衷部会長「中世都市と戦時ハザ
ード」、清水克行副部会長「戦
国の世を生き抜く「府中」
はっけん！ふちゅうのひと(4)
菊地幹雄さん

◆民具研究 日本民具学会

〒221-8686横浜市神奈川区六角橋3-27-1
神奈川大学日本常民文化研究所内
TEL045-481-5661 年5000円
mingu-gakkai.com

◇157 2018.3 B5 104p

津軽の和人によるアイヌの築漁技
術ウライの利用事例―「伏築」
とはなにか 上田 哲司
文様からみるアイヌ衣服の製作地
と製作年代―土佐林コレクショ

ンを中心に 五関 美里
江戸時代の紀年銘唐箕〈東日本〉 桂 眞幸
国立民族学博物館「日本の文化展
示場」の展示資料をデータベース
化する試み 日高 真吾
ひろば 第150回日本民具学会研
究会「民具とナラティヴ―東日
本大震災の被災地での実践から
―」に参加して 佐藤 麻南
書籍紹介
下野敏見著『南日本の民俗文化
写真集4 屋久島・口永良部
島』 福岡 直子
東京農工大学科学博物館DVD
シリーズ No2『糸繰りの技・
真綿作りの技』 松本 美紅
展示批評 千葉県立関宿城博物館
企画展「鯛は弱いが役に立つ―
肥料に王様 干鯛」 内山 大介
展示紹介
横浜市歴史博物館・神奈川大学
日本常民文化研究所主催展覧
会「和船と海運」 昆 政明
入間市博物館特別展「石川組製
糸ものがたり」 三浦久美子
追悼 沖縄の民具と向き合って
―上江洲均先生追悼 栗国 恭子

◆民衆史研究 民衆史研究会

〒162-8644東京都新宿区戸山1-24-1
早稲田大学文学学術院 大日方研究室内
1962年創刊

◇94 2018.3 B5 72p 1500円

《特集 中世文化のダイナミズム
伝播・交流・変容》
特集にあたって 民衆史研究会委員会
大島忠泰の文事と『平家物語』・
お伽草子・幸若舞曲―『古今戦』

にみる薩摩の文化環境 鈴木 彰
宇治茶師の土地集積と売券
―『宇治堀家文書』を中心に 野村 朋弘
応仁・文明の乱以前の土倉の存在
形態について 酒匂由紀子
書評
荘園・村落史研究会編『中世村
落と地域社会 荘園制と在地
の論理』 貴田 潔
松沢裕著作『自由民権運動
〈デモクラシー〉の夢と挫折』
安在 邦夫
星名宏修著『殖民地を読む
「賈」日本人たちの肖像』 和泉 司
新刊紹介 岩瀬彰著『「月給100円
サラリーマン」の時代 戦前日
本の〈普通〉の生活』 秦 文憲

◆昔話伝説研究 昔話伝説研究会

〒150-0011東京都渋谷区東4-10-28
国学院大学文学部 花部英雄研究室
TEL03-5466-0224 1971年創刊
mukaden.tiyogami.com

◇37 2018.3 A5 204p

「走れメロス」の説話世界―『ピュ
タゴラス伝』から『千夜一夜物
語』まで 花部 英雄
芭蕉句碑と西行伝承 小堀 光夫
オシンメイサマを祀る民間巫女
―福島県旧田村郡 高塚さより
「牛方山姥」の牛と馬 関根 綾子
昔話「天人女房」に関するいくつ
かの考察 中村とも子
ザシキワラシの足音
―妖怪と身体感覚 伊藤 龍平
昔話「孝行坂」と「鬼面仮」につ
いて 西座 理恵
瞽女サの語る『蛇女房』における

「失明」の意味づけ 廣瀬千香子
文部省及び朝鮮総督府教科書に収
録された昔話・神話教材の比較
研究 金 広 植
温泉焼失伝説 永島 大輝
説経説きの身体
―図像資料からの検討 内藤 久義
アジアの難題―女房援助型 瀬戸口真規
資料「聞いてみた」学校の怪談・
俗信―三年目 永島 大輝

◆無形文化遺産研究報告 東京文化財研究所
〒110-8713東京都台東区上野公園13-43

東京文化財研究所無形文化遺産部
TEL03-3823-2241 2007年創刊

◇12 2018.3 A4 158p

無形文化遺産の保護に関する第12
回政府間委員会の概要と課題 二神 葉子
友禅染と青花紙の関わりに関する
一試論 菊池 理子
楽器を中心とした文化財保存技術
の調査報告1 前原恵美／橋本かおる
小豆島の民俗と伊勢大神楽 神野 知恵
インド更紗の伝承―技術・伝承地
・用途を中心に 松山 直子
資料紹介 斎藤たまの調査カード 狩野 萌

北海道地方における古典芸能の稽
古と指導―長唄師匠の聞き取り
を中心に 半戸 文
資料紹介 東京文化財研究所所蔵
フランス・パテ社製SPレコー
ド長唄『綱館』を中心に 星野 厚子

◆明治維新史研究 明治維新史学会

〒101-8301東京都千代田区神田駿河台1-1
明治大学文学部史学地理学科
落合弘樹研究室 2004年創刊

www.ishinshi.jp
◇15 2018.3 B5 87p
嘉永期における徳川斉昭「参与」
の実態と影響 篠崎 佑太
幕末維新期における蒸気船運用
一長州毛利家を事例に 坂本 卓也
公開講演記録 明治維新と「鎖
国・開国」言説—近世日本が
「鎖国」と考えられるようにな
った歴史的経緯とその意味 荒野 泰典
書 評
佐野真由子著『幕末外交儀礼の
研究—欧米外交官たちの将軍
拝謁』 川崎 華菜
湯川文彦著『立法と事務の明治
維新一官民共治の構想と展開』
小幡 圭祐
新刊紹介
大阪大学会沢正志斎書簡研究会
編『会沢正志斎書簡集』 桐原 健真
監修：伊達文化保存会 編纂：
近藤俊文・水野浩一『伊達宗
城公卿日記（宇和島伊達家叢
書③～⑤）』 友田 昌宏
刑部芳則著『三条実美—孤独の
宰相とその一族』 中川 壽之
2017年度第47回明治維新史学会
討論要旨
ティネッロ・マルコ氏「マルチ・
アーカイブズからみた幕末—
日米和親条約と琉球所属みん
だい徳川斉昭「参与」の実態」
渡辺 美季
工藤健一郎氏「維新期の政治社
会における「藩屏」概念をめ
ぐる認識について」 大庭 裕介
柏原洋太氏「『職員令』体制下
における行政組織の運用—留

守官を事例に」 宮間 純一
三村昌司氏「柏崎県における郡
中議事者」 白石 烈
◆郵便史研究 郵便史研究会
〒112-0011東京都文京区千石2-42-7 田中
寛方 TEL03-3945-2497 年3500円
1995年創刊 www.yuubinshi.sakura.ne.jp
◇45 2018.3 B5 50p 2000円
肥後・山崎局について 立山 一郎
戦中戦後に描かれた普通切手等の
原画 星名 定雄
明治期における郵便局長の兼職・
兼業について—祖父の履歴書か
ら 繪鳩 昌之
旧刊紹介(19)『通信論叢』 鈴木 克彦
『郵便切手・通信日附印図案作成要
領』 山川 一郎
データシート
郵便局の増設と特別郵便 近辻 喜一
近刊紹介
加藤秀夫 小包送票と小包郵便
田中 寛
鴻爪痕 前島密伝(復刻版) 星名 定雄
◆洋学史研究 洋学史研究会
〒116-0014東京都荒川区東日暮里3-12-17
松本英治方 TEL03-3891-6482
年5000円 1984年創刊
◇35 2018.4 A5 170p 3500円
巻頭言「洋学史研究」第35号記
念号によせて 片桐 一男
将軍の注文した「ダイケルス・ク
ロック」の輸入 片桐 一男
蘭学者勝海舟の幕末政界への登場
江本 嘉敏
大槻玄沢と華岡青洲 松本 英治
史料紹介

翻刻『開坂見改元帳 二』 三好 彰
書 評
片桐一男著『シーボルト事件で
罰せられた三通詞』 沓澤 宣賢
片桐一男著『杉田玄白評論集』 土井 康弘
別所興一校注『渡辺崋山書簡集』
岩下 哲典
岩下哲典著『病とむきあう江戸
時代—外患・酒と肉食・うつ
と心中・出産・災害・テロ』小田倉仁志
研究大会発表要旨
杉田玄白評論集 片桐 一男
15分トーク要旨
勝海舟の蘭学史料について 片桐 一男
北の大地で阿部家文書を閲る 片桐 一男
『洋学史研究』総目次(創刊号より
第35号まで)
◆厚木市史たより
〒243-0018神奈川県厚木市中町3-17-17
厚木市教育委員会文化財保護課
TEL046-225-2060 2010年創刊
◇18 2018.3 A4 4p
墓を建てられなかった「英霊」た
ち—戦争末期の軍の指示をめぐ
って 樋口 雄一
ヤマトタケル伝承と古代東海道 永井 肇
新刊『語り継ぐふるさと 厚木
の口承文芸』
◆小田原史談 小田原史談会
〒250-0013神奈川県小田原市南町4-1-24
松島俊樹方 年3000円 1961年創刊
odawara-shidan.hustle.ne.jp
◇253 2018.4 A4 32p
マックマナスがやってきた—戦後
の学制改革の頃 話し手：宇佐
美ミサ子 聞き手 松島俊樹・青木良一

小田原の郷土史再発見 居神社
の「勝って兜」碑と北城氏綱 石井 啓文
はなどり(鼻取り)地蔵の伝説を生
んだお地蔵さん 本多 純二
井細田八幡宮の別当寺だった正蓮
寺 山田泰彦上人の話
生誕四百五十年・よみがえる珠玉
の禅画 風外慧薫の足跡を訪ね
て(上) 野地 芳男
こゆるぎの現代詩人たち(1)
花のある人—詩人・木村孝 村山 精二
富士フィルム草創期(3) 小田原工
場編 小田原は「母なる工場」 荒河 純
足柄地方の大森氏の城郭めぐり 山口 隆夫
小田原史談会 初詣の旅 富士山
本宮浅間大社、久能山東照宮の
旅 平倉 正
北村透谷・生誕百五十年 (文責・荒河)
◆開国史研究 横須賀開国史研究会
〒238-8550神奈川県横須賀市小川町11
横須賀市政推進部文化振興課内
TEL046-822-9478 年1000円 2001年創刊
◇18 2018.3 A5 196p 800円
口絵解説 ポーハタン号船図(大
槻磐溪編「金海奇観」乾巻より)
岩下 哲典
『開国史研究』発刊にあたり 山本 詔一
総会記念講演 生き方雑誌帖
—ジョン万次郎調査行 山本 一力
開国史講演会 黒船来航絵巻「金
海奇観」とその時代—仙台藩儒
者・砲術家大崎磐溪とペリー来
日 岩下 哲典
開国史研究講座講演録
軍港都市の陸軍
—平時と戦時の重砲兵 高村 聰史
前島密と横須賀 辻井 善彌

日本遺産とその施設建設に携わ
った主な海軍技師たち 長浜つぐお
横浜からの手紙—松代藩絵師楯高
川文笠と「横浜応接場秘図」 齋藤 純
『横須賀繁昌記』を読む(7) 山本 詔一
浦賀奉行戸田伊豆守氏栄と大垣藩
城代家老小原鉄心 丸山 克彦
浦賀奉行所の与力と同心について
山本 慧

◆神奈川県立公文書館だより

〒241-0815横浜市旭区中尾1-6-1
TEL045-364-4456 1994年創刊
www.pref.kanagawa.jp/cnt/f1040/
◇38 2018.3 A4 4p
特別展示「神奈川の海外引揚—
『在外私有財産実態調査票』を
めぐって—」の紹介 木本 洋祐
神奈川県立公文書館における展示
の目的とその意義について 上田 良知

◆鎌倉 小田原史談会

〒250-0013神奈川県小田原市南町4-1-24
松島俊樹方 年3000円 1961年創刊
odawara-shidan.hustle.ne.jp
◇124 2018.3 A5 89p 1500円
鎌倉公方足利成氏の「御連枝」の
動向—特に長春院殿をめぐって
佐藤 博信
応安大火後円覚寺造営における室
町幕府と鎌倉府 駒見 敬祐
新出史料に見る鎌倉「犬懸坊」と
その文書 伊藤 一美
余録 鎌倉乃記(14)—与謝野晶子・
寛、そして鎌倉(9) 吉井勇(2)
坂本 俊雄
『亀谷山記録』(17) 鎌倉古文書研究会
『鹿山公私諸般留帳』(49) 三淵美恵子

神奈川の窓(41)
—「地方史研究」から 井上 隆男

◆かまくら女性史の会 Newsletter

〒248-0012神奈川県鎌倉市御成町18-10
NPOセンター鎌倉気付
メールボックス26 2013年創刊
◇53 2018.3 A4 2p
大寒波襲来の「かく子の家」で 前田 セツ
図書紹介 『女の機嫌の直し方』
黒川伊保子著 インターナシヨ
ナル新書008 (高階)
文書館がほし〜い(15) 文化財レ
スキューにおける「文化財等」
とは (多和田)
家族の助け合いは 義務? (郡司)

◇54 2018.4 A4 2p
鎌倉大根—鎌倉の歴史と風土の中
で生き続ける 渡邊 公子
文書館がほし〜い(16)
地域資料を「収獲する」 (多和田)
文書館は地域のアイデンティティ
形成拠点 飯澤 文夫

◆郷土誌葉山 葉山郷土史研究会

〒240-0112神奈川県三浦郡葉山町堀内1874
葉山まちづくり協会内 TEL046-876-0421
2004年創刊
◇12 2018.3 B5 134p 1000円
『葉山町の歴史とくらし』拾遺その2
グラビア
谷文晁画「公余探勝図巻」 編集部
国登録有形文化財(建造物)「旧
加地邸」について 山口 正憲
下山川水系と沢と橋 (大正十五
年六月調査資料を基に再調査)
今井 俊夫

明治時代の洋事情

—「外国人渡航人名簿」から 松元 岑生
コラム 七桶碑建立の除幕式報道
(S51.5.15 神奈川新聞) 編集部
田中富田稿
明治十年の徴兵免役に関わる届け
藤波勝次郎
コラム 明治以降の氏名に関する
主な法律 編集部
台湾・西南の役に葉山から出兵し
た人がいた 藤波勝次郎
徳富蘇峰「相模洋の月色」に見る
御用邸造立前年の葉山 鈴木 雅子
「検地」での和算による土地の測
り方 加藤 芳信
明治十三年の暴風雨激浪後の漁業
中島百合子
隠れ文士村・葉山の作家たち 寺山ルリ子
葉山家ルーツ探索 曾祖父・虎吉
をめぐって 葉山 眞理
名主再考
一領主による呼称の違いなど 内藤 範子
明治期三浦半島の行政機構と葉山
町保有古文書の整理 小形 克宏
明治14年の一色村の生業と「八店」
界隈の賑わい 藤波勝次郎
一色海岸で観察されたアカウミガ
メの産卵 倉持 卓司
コラム 森山神社と境内の一色飼
会館追補 鈴木 雅子
明治十二年に堀内村に滞在した外
国人 加畑千鶴子
江川太郎左衛門の系譜と葉山 池田 京子
遍歴した木古庭伊東家文書 伊東 一美
江戸時代後期に賑わいをみせた旅
「東海道中膝栗毛」「東路日記」
「伊勢参宮覚帳」
鈴木雅子／画・史料 吉田八千代
大正地震の直前に身延山参詣

内野義三記録
採録・池田京子／画・吉田八千代
古文書にみる下山口村の年貢 濱岡 辰紀
コラム 江戸時代のさまざまな単
位と呼称 採録・岩間満美子
江戸から明治へ古文書に見る黎明
期の出来事 ロシア海軍軍人殺
人事件／「洋銀吹増通達」幕末
の通貨問題 滝本 誠一
幕末の下山口村の縁組 鳥居 信吉

◆京浜歴科研年報 京浜歴史科学研究会

〒233-0006横浜市港南区芹が谷5-59-12
大湖賢一方 TEL045-825-3736 1987年創
刊 www.rekikaken.org/rekika/
◇30 2018.2 B5 19p
巻頭言 佐久間権蔵日記に見る第
一次世界大戦の終結 伊東 富昭
土佐藩の蝦夷地開拓・警衛とロシ
ア認識 塚越 俊志
鶴見・川崎周辺の工業進出と地域
社会 大湖 賢一

◆コロス 常民文化研究会

〒254-0016神奈川県平塚市東八幡4-15-6
西海賢二方 年1000円 1979年創刊
◇153 2018.5 B5 6p
三遠信美流れの結節点—限界の山
村暮らしから(1) 自分史として
の山村暮らし 西海 賢二

◆寒川文書館だより

〒253-0106神奈川県高座郡寒川町宮山135-
1 TEL0467-75-3691 2007年創刊
www.lib-arc.samukawa.kanagawa.jp
◇23 2018.3 A4 8p
資料紹介 西寒川駅舎平面図(寒
川町公文書「西寒川驛関係書類

綴」より) 高木 秀彰
資料保存ワークショップを開催／
絵はがきシリーズ8・9 宮山の
風景を発行
寒川文書館第26回企画展 昭和の
マッチラベルー寒川の商店と旅
先の記憶
文書館活用講座を開講／ミニ展示
戊年のできごとー公文書が語る
現代史(8)

◆市史通信 横浜市史編集室
〒220-0032横浜市西区老松町1 横浜市中
央図書館地下1階 TEL045-251-3260
2008年創刊

www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/housei/sisi/
◇31 2018.3 A4 12p
一九三〇年代後半の横浜 羽田 博昭
都市古謡「お茶場唄(節)」につい
て 平野 正裕
一九五三年のヨコハマを巡る
ー又木誠八郎資料の写真から 百瀬 敏夫
平成29年度展示会・関連講演会よ
り「昭和横浜の構想図・完成
予想図」／展示関連講演会 川原 照美
複製資料紹介
飛鳥田一雄「市長日録」 羽田 博昭

◆湘南考古学同好会々報
〒251-0044神奈川県藤沢市辻堂太平台2-3-
19-104 寺田兼方 1980年復刊
shounankouko.jimbo.com
◇151 2018.4 B5 20p
東京都北区飛鳥山博物館を訪ねて
伊藤 郭
心の考古学まで(14-1) 山ノ上碑
と古墳一記紀との接点を求めて
古要 祐慶

特別講座『イラクの遺跡の現状ー
メソポタミヤ文明を訪ねてー』
を聴講して 米 諄
境川中流右岸踏査報告 成澤 亮
「鎌倉歴史文化交流館」の見学記 水野 博美
「第35回 藤沢市遺跡調査発表会」
を見学して 金馬 義郎
藤沢が舞台の図書の紹介
『川のむこうの図書館』 野村 和子
第12回若手研究者を囲む勉強会
発表要旨『小田原北条時代にお
ける井戸の集成ー小田原城三の
丸を中心にー』 高橋 桃子

◆戦争と民衆
戦時下の小田原地方を記録する会
〒250-0011神奈川県小田原市栄町3-13-21
井上弘方 1980年創刊
◇80 2018.3 A5 20p
聞き取り 志願して海軍へ
話し手：佐久間興一
夏に出版する証言集の紹介 『未
来へつなぐ小田原の戦争体験』
戦時下の小田原地方を記録する
会企画・編集
手記
小田原空襲で我が家が焼失 石田 明
書籍紹介 東海林次男著『日本の
戦争と動物たち1 戦場に連れ
ていかれた動物たち』
交流報告
戦災・空襲記録づくり第33回東
海交流会参加記 矢野 暁
全国連絡会議第47回千葉大会参
加記(米軍資料の調査・活用
に関する研究会) 矢野 慎一
沖縄研修旅行報告 矢野 暁
続・地域で戦争を伝えるものを調

べて(8) 久野の潮音寺にある平
和観音像 井上 弘
手記 父母のこと、横浜市港南区
遺族会のこと 池本 俊昭
資料館紹介 戦争に関する二つの
資料館を訪ねてー埼玉ピースミ
ュージウム・原爆の図丸木美術
館 井上 弘
最近の『戦争と民衆』目次(第77
号〜第79号)

◆治水神・禹王研究 治水神・禹王研究会
〒258-0026神奈川県足柄上郡開成町延沢
110 大脇良夫方 年3000円 2014年創刊
◇5 2018.4 A4 82p 1389円
巻頭 会員の皆さん！災害文化遺
産「日本の禹王遺跡と治水神・
禹王信仰展」に行きましょう！
大脇 良夫
沖縄本島の禹王碑と琉球王国 植村 善博
禹王研究の現代的意義についての
一考察 露木 順一
報告 富士川サミット
中国「禹跡行」訪日団の「第6
回全国禹王サミット」参加記
邱志栄／呉鑑萍／竹内晶子
「第6回全国禹王サミット in 富
士川」大会を終えて 早川 莊次
「第6回全国禹王サミット in 富
士川」参加記 遠 志保
私の近年の採拓遍歴 河合 莊次
立命館大学 歴史都市防災研究所
におけるシンポジウムの報告 関口 康弘
栃木県芳賀町岡田宗山による唐桶
溜導水事業と禹王文字遺物 植村 善博
禹王遺跡レポート
東漸寺山門の棟札(荒川) 竹林 征三
小流寺縁起(江戸川) 竹林 征三

文命宮(西堤) 薮田拓司宮司作俳
句(酒匂川) 大脇 良夫
酒匂川左岸用水完成記念碑
(酒匂川) 関口 康弘
禹門(鴨川) 植村 善博

◆地名と風土 日本地名研究所
〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10 川
崎市生活文化会館4階 TEL044-812-1106
1984年創刊 chimeipeople.co.jp
◇12(復5) 2018.3 B5 183p 1500円
表紙写真 『出雲国風土記』神門
郡条・大国主神が「滑稽石なる
かも」と感激した滑石／口絵
出雲に坐す神々と地名 石神さ
ん、荒神さん、塩孫島
写真・板垣宏／文・関和彦
巻頭言 地名研究の聖典、風土記
の世界 関 和彦
古代のふる里に足跡を残した異郷
の人々を探る 太宰 幸子
古代武蔵野の風土と出雲の神々 荒竹 清光
「佐渡地名解」新考 長谷川 勲
特集1 地名と地域ー地理学・地
理教育の立場から
特集企画にあたって
ー編集担当からひとこと 小林 汎
地名と地域ー地理学・地理教育
の立場から アイヌ語地名の
併記を求めて二〇年 小野 有五
インドシナ半島 外来語地名と
民族語地名 蟻川 明男
地図と地名ー鳥瞰図の魅力から
わかること 藤本 一美
流山市の歴史的地名改変ー社会
人講座「千葉県東葛飾地域の
歴史と地理」実践から 相原 正義
特集2 山陰、山の陰の地名と風

土	
特集企画にあたって	
一編集担当からひとこと	関 和彦
『出雲国風土記』の野代海一社 (もり)から社(やしろ)への試論	
	内田 律雄
伯耆国の製鉄とそれに関わる神	
々と地名	黒田 一正
古代、隠岐島前の風土と地名	関 和彦
石見相聞歌における「浦」と「潟」 の考察—『万葉集』『出雲国風 土記』『播磨国風土記』を中 心に	川島芙美子
古代山陰道と地名	穴道 年弘
地名研究の先達(5)	都丸十九一
と群馬県地名研究会	高橋 治
アイヌ語と地名(5)	
カムイが付く地名	児島 恭子
地名学習のすすめ(5)	
歴史学習における地名(上)	小田 富英
地名談話室	
地名の発掘と復活	大平 哲也
子どもたちに地名に関心を	菊地 恒雄
神揃山と崇り	久保田 宏
「クスリ」から「釧路」一五〇年	
	佐藤 壽子
「宮前歴史ガイド」作成から学ぶ	
	渋谷とめ子
広島土砂災害地域に残る地名と	
伝承	竹本 伸
第26回国際名称科学会議に参加 して—ハンガリー・デブレツ ェン大会	中葉 博文
加須と大桑 なぜ「かぞ」と「お おが」なのか	野本 誠一
「全国地名研究者出雲大会」開催 のご縁	吉山 治
わが町の消えゆく地名	若林 春次

コラム	
『おもしろ半島ちば』の紹介	関 信夫
沖縄の地名と文化	松永 和子
地名から名字の由来をさぐる	犬丸慎一郎
◆日本地名研究所通信	
〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10	
川崎市生活文化会館4階 Tel044-812-1106	
1993年創刊 chimeipeople.co.jp	
◇90 2018.4 B5 8p	
私は方向音痴、方角地名の混乱	関 和彦
創立三〇周年記念展の開催 語頭 ・語尾に「佐・さ」の付く地名 の考察	井藤 一樹
足尾銅山街道の話	茂木 晃
猿辺川と十和田火山	嶋脇 芳勝
こうじだに(耕雲寺谷)	長谷川 勲
漢字では解けぬ 瀬沢—おそぞわ	
	太宰 幸子
◆日本の石仏	
日本石仏協会(発売:青娥書房)	
〒224-0037横浜市都筑区茅ヶ崎南1-3-10-	
409 Tel0452-943-4409 年8000円	
1977年創刊 ur0.work/su9s/	
◇164 2018.4 A5 64p 2000円	
日本石仏協会の活動	
羅漢たちのくつろぐ寺(表紙の写 真) 埼玉県東松山市上唐子	
浄空禅院 写真と文 門間勇	
巻頭随想「日本の石仏」誌を育 てていくために	坂口 和子
《特集 アジア獅子像の展開 —中国の石獅を中心に—》	
第39回石仏公開講座より アジア 獅子像の展開—中国の石獅を中 心に	川野 明正
肥前狛犬の世界	中野 高通

「生祠」そのごの探訪	岡村 知彦
動物供養碑から現代が見える	
一石のいきもの語り	大丸 秀士
石仏随想 石仏と風景	久野 秀晴
あ・ら・か・る・と—私の石仏案内	
野仏の代表のような地藏石仏	
群馬県中之条町・永林寺	岡田 均
上之保村西国三十三観音塔めぐ り 岐阜県関市上之保村	中森 勝之
石仏入門(18) 庚申塔・I	門間 勇
名号塔の知識(29) 変わり名号塔	
	岡村 庄造
修那羅と霊浄山石仏を訪ねて	小川 洋子
石仏スケッチ(長野県駒ヶ根 安 楽寺如意輪観音)	坂田 澄男
縄文からの贈り物?	岡田 均
日本石仏協会—泊見学会報告 新 潟県津南町中津川両岸大地の石 仏等と中世山城見学会	吉田 信吉
第116回石仏見学会報告	
埼玉県和光市	
追 悼	
井戸寛氏	坂口 和子
井戸先生との思い出	川口 春代
日本石仏協会主催「石仏写真展20 18」報告	中森 勝之
◆扣之帳 扣之帳刊行会	
〒250-0021神奈川県小田原市早川60	
青木良一方 Tel0465-22-8852 年2500円	
2003年創刊	
hikaenochou.world.coocan.jp/mysite1/	
◇59 2018.3 A5 128p 500円	
小田原の『岩槻雛』とその雛まつ り	田代 道彌
島津家の亀寿姫	今川 徳子
小田原藩領曾比村の報徳仕法	尾上 武
続・ボクの映画館(13)	

黒澤明の傑作『蜘蛛巣城』	平倉 正
橋本樸々『諸佛画集』(4)	橋本 樸々
中学時代の恩師たち	石川 和彦
国府津今昔(明治から昭和まで) (7) 雑誌『平凡』創始者 前川 出身の岩堀喜之助〜美空ひばり を「ひばりちゃん」にした男	武井 秀夫
関東十八檀林記(4)	
とにもかくにも檀林巡り	青木 良一
小説 川崎長太郎日誌(4)	
題名のない抹香町	芳賀喜久雄
真言の人・空海(4)	茂木 光春
◆三浦一族研究 三浦一族研究会	
〒238-8550神奈川県横須賀市小川町11	
横須賀市政推進部文化振興課内	
Tel046-822-8116 年1000円 1997年創刊	
www.city.yokosuka.kanagawa.jp/0130/culture_ info/miura_ichizoku/	
◇22 2018.3 A5 147p 800円	
口絵資料紹介・解説	
「三浦道寸筆『続草庵和歌集』」	小川 剛生
「伝三浦道寸筆断簡(二点)」	
『続古今和歌集』断簡、『千五 百番歌合』断簡	真鍋 淳哉
総会記念講演	
平姓秩父氏と三浦氏	菊池 紳一
在地領主長江氏存在形態	伊藤 一美
講演会	
鎌倉・三浦半島の歴史地震	浪川 幹夫
基礎講座「史料で読む三浦一族の 姿」第1回 史料に追う南北 朝動乱と三浦氏 その1/第2回 史料に追う南北朝動乱と三浦氏 その2/第3回 史料からみた 相模守護三浦氏/第4回 史料 からみた三浦一族の全国展開/ 第5回 史料からみた鎌倉府と	

三浦氏 真鍋 淳哉
 学習講座 鎌倉幕府最後の執権・
 北条守時を語る 守時 光暉
 史跡めぐり 三浦一族の歴史と文
 化を訪ねて 平成28年度 第3
 回「考古学からみる東浦賀・鴨
 居の古代・中世」／平成29年度
 第1回「和田氏家臣のふるさと
 名越・久木を巡る」、第2回「走
 水・馬堀 古代から近代までを
 見る」 剣持輝久・編
 吾妻鏡を読む会
 莊園制に風穴 崩壊の序曲 森 敏晴
 平成29年度会津若松市訪問交流研
 修に参加して 芳賀 久雄
 巴御前の墓 坪 三次
 三崎要害と引橋について アダチ・クリスティ
 浄楽寺紹介 ご本尊は運慶仏／浄
 楽寺の由来／前島密墓 仲野 正美
 平成29年度史跡めぐりに参加して
 佐々木 成
 秋山哲雄著『鎌倉を読み解く一中
 世都市の内と外』 伊藤 一美
 三浦一族関係文献目録(22) 中里行雄・編

◆民具マンスリー

神奈川大学日本常民文化研究所
 〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1
 TEL045-481-5661 年3500円 1968年創刊
 ◇600 (50-12) 2018.3 A5 24p 350円
 桶と樽のあるくらしー愛媛県・宇
 和民具館の取り組み 仙波香葉子
 民具短信 あわら市の石造狛犬
 一越前狛犬を中心に 九千房英之
 書籍紹介 『浦安の烏賊網漁』 浦
 安市郷土博物館調査報告第10集
 櫻村 賢二
 第50巻総目次

◇601 (51-1) 2018.4 A5 24p 350円
 鹿児島県の草履の民具学
 ー各種草履を比較しながら 下野 敏見
 民具短信 消滅の危機に瀕してい
 る桶作り 川田 順造
 書籍紹介 『吉ヶ平の民具一収
 集・調査・整理の記録』 三条市
 市民部生涯学習課編集 佐野 賢治
 ◇602 (51-2) 2018.5 A5 24p 350円
 他地域への出漁漁民による奉納絵
 馬ー徳島県の事例 磯本 宏紀
 絵馬に描かれた村一宗像市・桑田
 神社の村鳥瞰図絵馬 須永 敬
 中予地方の石打ち習俗 遠部 慎
 ◇603 (51-3) 2018.6 A5 24p 350円
 落下量調整板墨書の本体適用一紀
 年銘唐箕「除外」の問題点 織野 英史
 五十嵐稔の民具研究
 ーシリーズ民具と出会う(4) 池田 哲夫
 民具短信 救出した民具の行方ー
 白馬・小谷村文化財レスキュー
 活動での経験 細井雄次郎

◆歴研よこはま 横浜歴史研究会

〒245-0053横浜市戸塚区上矢部町1624-21
 加藤導男方 1984年創刊
 ◇76 2018.5 B5 68p
 平成三十年度を迎えて 加藤 導男
 平成三十年度定期総会開催 (編・記)
 創立三十五周年記念「特別記念講
 演会と伝統芸能の集い」および
 御祝儀一覧 (編・記)
 追悼の辞
 八城東郷さんを偲んで 加藤 導男
 美濃の有力武士団土岐一族の興亡
 録 竹村 紘一
 平清盛が目指したのは重商主義国
 家? 齊木 敏夫

「古事記」にはなぜ崩年干支があ
 るか 蛭田 喬樹
 横浜開港発展小史 植木 静山
 華やかな若狭武田家の全盛時代 高野 賢彦
 古歌をたずねて(6)
 古歌と音楽ー「春の夜」 丹下 重明
 郷土の人物その人気度(雑感) 堀江 洋之
 古事記と「ほうれんそう」 西沢 昭
 武士道を考える 瀬谷俊二郎
 太田南畝の石碑に残された仇討ち
 秘話 高尾 隆
 鎌倉戦乱シリーズ(9) 宝治合戦
 (三浦の乱ー三浦一族の滅亡)
 (後) 山崎 宣晴
 奈良西大寺(称徳天皇編) 栗 光行
 初代・紋十郎の東京・横浜乗り込
 み(前編) 近藤 政次
 いまなぜ、古代史を志すのか 村島 秀次
 強訴の神輿ー京都では語れぬ話 高橋 正一
 第二の故郷 ドイツ・パッサウと
 エアランゲン 大瀬 克博
 車窓雑記 佐藤 猛夫

中 部

◆観 賞 新潟文化財観賞会
 〒950-0852新潟市東区石山3-12-19
 斎藤寿一郎方 TEL025-286-1740 年4000円
 ◇39 2018.2 A5 104p
 中世の佐渡航路ー寺泊と出雲崎 田中 聡
 黒川藩一藩の成立、家臣団と領知 富井 秀正
 史料紹介 安政四年今井孫兵衛あ
 て金子借用証文 中村 義隆
 日中戦争出征兵士の手紙の紹介ー
 新崎区有文書及び土田寅三郎家
 文書より 山上 卓夫
 会津八一の短歌「川開き」につい
 て 湯浅健太郎

佐渡金山の世界遺産登録を目指し
 て 余湖 明彦
 越佐地方史談話会第10回記念大会
 の報告 野上 正栄
 平成29年度文化財観賞研修旅行に
 ついて
 春季研修旅行 西上州、東信濃
 の文化財を訪ねて 野本 健一
 秋季研修旅行 村上市山北地区
 の文化財を訪ねて 藤井 保男

◆郷土史燕

燕市教育委員会・燕郷土史研究会連合会
 〒959-1262新潟県燕市水道町1-3-28
 燕市教育委員会社会教育課文化振興係
 TEL0256-63-7002 2008年創刊
 ◇11 2018.3 A5 213p
 こうちゃんの古文書「ななめ読み」
 ー太田村(西太田)宝暦元年「年
 貢割付状」 亀井 功
 中組遺跡で出土した墨書土器の字
 形について 本間 敏則
 質地証文について 塚本 智弘
 良寛の友 阿部定珍の『西国の記
 行』口語訳の試み 阿部 玲子
 良寛の東北行脚は六十代ではなか
 った 本間 明
 乱世に生きた先祖たちⅡー燕市五
 千石平澤氏の新田開発 平沢 陽一
 橘崑崙の軌跡を探る 竹内 登
 吉田地区の狛犬を尋ねて(その6)
 (吉田北地区のまとめ) 大江 登
 史料紹介 村上藩領「寛政十一年
 地藏堂組田畑反別御案内帳」 西海土寿郎

◆郷土史編さん誌みなみうおぬま

南魚沼市教育委員会
 〒949-6680新潟県南魚沼市六日町456-1 社

会教育課郷土史編さん係 TEL025-773-2197
◇15 2018.3 A5 82p ＊終刊
口絵写真 学校の風景（昭和20年代末～昭和30年代末）
はじめに 今成 卓而
ふるさと通信
資料紹介 明治二十年代の上越
鉄道敷設運動 本山 幸一
山間農業と「マブ」 岡村 勝
田邊忠太郎と日清・日露戦争 藤原 圭
南魚沼地域における青年会の創設
と展開 芳井 研一
南魚沼市郷土史編さん日誌（抄）
平成29年度 資料収集／古文書
解説講座
『みなみうおぬま』 発刊終了のご
挨拶 南雲 権治

◆郷土新潟 新潟郷土史研究会
〒950-2021新潟市西区小針藤山15-15
伊藤善允方 TEL025-266-3076
年4000円 1963年創刊

◇58 2018.3 A5 106p
新発田領の村役人と往来物―蒲原
郡茗荷谷新田「田村家文書」か
ら 杉山 節子
新潟のアメリカ領事代理 小林 敏志
居留外国人による新潟での借地を
たどる（終） 青柳 正俊
古代新潟の道 鰐渕 好輝
「三国屋」齊藤喜十郎家と齊藤喜
八家―その系譜関係を探る 杉山 巖
「異国人之図」についての考察 齋藤 倫示
資料紹介 伊藤家『諸日記帳』（5）
伊藤 雅一
平成29年度春の史跡探訪旅行「糸
魚川ひすいの里を訪ねて」 高橋 優太
平成29年度秋の史跡探訪旅行「諸

橋轍次記念館・長善館資料館・
五十嵐神社・弥彦神社を訪ねて」
井上 昇
第31回越後と会津を語る会 湯川
大会「仏都会津の源流を訪ね
る」参加記 杉山 節子

◆高志路 新潟県民俗学会
〒950-2022新潟市西区小針6-29-1
鶴巻武則方 TEL025-231-6100 1935年創刊
www.geocities.jp/niigata_minzokugaku/
◇407 2018.3 A5 72p
《衣の生活特集 その1》
奥州会津・出羽最上芋、白縮（原
料芋）はもっばら会津、影芋極
品なり 池田 亨
木綿の仕事着 金田 文男
亀田郷農村部の近代の木綿織につ
いて 森 行人
衣に関わって思い出すこと 佐藤 和彦
明治大正昭和初期の着物―冠婚葬
祭外出着物を中心として（1） 岩野 笙子
越後「ぼろ（檻樓）」方言考―「ブ
イター」「ボータク」をめぐっ
て 柄澤 衛
衣服の民俗 広井 忠男
入院記・カタカナ使用の略漢字 鶴巻 武則

◇408 2018.4 A5 68p
《衣の生活特集 その2》
質に入れた衣服―質屋台帳断片か
ら見た鉾山町の暮らし 柳平 則子
明治大正昭和初期の着物―冠婚葬
祭外出着物を中心として（2） 岩野 笙子
明治中ころの特別な日の衣服
―天皇ご巡幸関連の衣など 丸山 久子
「柏崎日記」にみる衣生活
―下級武士の妻の仕事 早川美奈子
『耽奇漫録』収録の「佐渡のさき

おり」 鶴巻 武則
蓑という着るもの（抄） 五十嵐 稔
和紙の衣 高橋 実
『日本山海名産図会』「越後織布」
について 鶴巻 武則

◆長岡郷土史 長岡郷土史研究会
〒940-0065新潟県長岡市坂之上町3-1-20
長岡市立中央図書館文書資料室内
TEL0258-36-7832 年3500円 1960年創刊

◇55 2018.5 B5 293p
《長岡開府400年・北越戊辰戦争150年記念号》
物見の松と近藤勘太郎
越後長岡・火焰土器の話（4） 小熊 博史
弥生～古墳時代初期の日本海域に
ついて―安麻背・九嶋・八掬脛・
阿彦の胎児譚を読む 鷲尾 謙治
古志郡の式内社（3）完 祭る神 鰐渕 好輝
御館の乱と妙徳院（2）―妙徳院に
秘されたミステリーと長岡藩創
設を中心に 石田 哲彌
牧野家の『家譜』（写本）を読む―
家譜成立、牧野家創業、長岡藩
創設を中心に 福田 則男
越後長岡藩足輕組の職務 武藤 真由
長岡藩の腑分（人体解剖）図―双子
の絵巻物（清書図と下書図）をめ
ぐって 遠山 景子
長岡藩のパン 小泉 秀也
上山藩の越後分領について 林 昇
宮本宿駅（2） 長谷川清司
良寛の印可の偈について 本間 明
二宮金次郎と上前島（1） 堀井 實
長岡藩士伊丹家「家系の巻」 伊丹 耿一
河井継之助と農民騒動 小片 莊平
『河井継之助傳』と曾祖父「肥田
野畏三郎」（10）―大野石仲が語
る河井継之助 吉崎こずえ

長岡開府四百年・戊辰一五〇年の
想い 広井 忠男
北越戊辰戦争勃発試論 稲川 明雄
山本帯刀と飯寺の戦い 小熊よしみ
曹洞宗円福寺墓地で確認した庄内
藩士の墓 鳴海 忠夫
戊辰戦争から百五十年 大田 修
米百俵の故事について 内山 弘
「三間正弘は軽薄なる男子にあら
ず」―明治警察史の一齣 小林 宏
魚沼の近代初等教育拡充の先駆者
―旧長岡藩士族井上幹二郎につ
いて（1） 古田島吉輝
明治・大正・昭和初期の越後にお
ける神社等の奉納花火の実態 長谷川健一
木村松二郎の足跡と活動（1） 松本 和明
明治の実業家山口権三郎の欧米紀
行 高橋 実
長岡開府三百年祭における二人の
民間飛行家（1）―帝国飛行協会
の尾崎行輝と佐藤要蔵 前田 英丈
熱海での荒川次郎吉 湯本 泰隆
富島の水との戦い（2） 山岸 利光
ふるさと豊田「櫟の木」 櫻井 修
写真で見える・昭和長岡の街（3）
長岡新産業センター地区 長谷川浩一
『郷土史長岡を語る「ながおか学」』
補説―長生橋を調べる 米山 忠彦
地域探訪報告
国漢学校ゆかりの地めぐり 樋口 玲子
巡検バス旅行報告 大河ドラマ
「おんな城主 直虎」の史跡を歩
いて 小林多加志
開催報告
平成29年度 古文書解説講座 岡田佐輝子
長岡市委託事業報告 近代資料の
調査―「北越新報」記事にみる
互尊文庫（5） 西 和美

今井雄介先生を偲んで 内山 弘
追悼 田所仁さん 稲川 明雄

◆まきの木 巻郷土資料館友の会
〒953-0041新潟市西蒲区巻甲3069-1
TEL025-672-6757 年1500円 1978年創刊

◇108 2018.4 B5 14p
観音在します角田山そして旧巻町 江端 完治

炭やき中興の祖
郷土の偉人田中長嶺 近 武郎
角田・弥彦山麓の古墳時代須恵器
について 細井 佳浩
平成29年 秋季視察研修旅行 巻
郷土資料館友の会・巻史学会共
催 五泉・村松地域の歴史文化
を訪ねる研修旅行 山賀 誠

◆良寛日より 全国良寛会会報
〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文
化博物館新潟分館内 TEL025-222-2262
1978年創刊

◇160 2018.4 A4 20p
「百草戯」(人見少華・画) ひと
みしょうか(明治26年～昭和43
年)(出雲崎町・良寛記念館蔵)
リレーエッセイ 良寛つれづれ(9)
夜の詩人 良寛 渡邊 憲
良寛遺墨鑑賞(8)
扇面 和歌 ひさかたの 小島 正芳
折々の良寛(49)
良寛の菩薩行の実践について 長谷川義明
パリで評判の良寛の書
全国良寛会佐渡大会でご披露 柳本 雄司
良寛さま190年記念 第43回全国
良寛会玉島大会をお受けして
備中玉島と良寛さん(1) 森石 武士
相馬御風の良寛(9)

ミワ、貞心尼 金子善八郎
備中良寛さん こころの寺めぐり
〔第五番〕清瀧山長仙寺 吉川 龍眞
西行と良寛―その世俗との差(4) 山上 健
各地良寛会日より
新潟良寛会の巻 柳本 雄司
良寛 行脚の歌 素描 吉田 福恵
「心月輪」は仏像の魂 藤田 正夫
江戸時代の良寛の本
一写本「良寛詩集」の二冊 岡田 守
永青文庫で、春季展「生誕260年
記念 心のふるさと良寛」 小島 正芳
新潟市で「良寛・貞心尼法要」と
講演会 柳本 雄司
新刊紹介
『良寛逸話館 絵本』 柳本 雄司
『まんが 良寛ものがたり』新
装版 坂上 義興
良寛を訪ねて(9)
西行を慕って 吉野山 吉井 清一

◆高岡市万葉歴史館紀要

〒933-0116富山県高岡市伏木一宮1-11-11
高岡市民文化振興事業団 TEL0766-44-5511
1991年創刊
www.city.takaoka.toyama.jp/manreki/
◇28 2018.3 A5 55p
新収蔵 高岡市万葉歴史館蔵 近
藤芳樹『萬葉集評林』翻刻(上) 鈴木 崇大
万葉集はいつばかり作れるぞ
―『萬葉集』享受史の一端 新谷 秀夫
大伴家持歌と生薬(2) 田中夏陽子
展示余滴 勅撰和歌集に採られた
越中万葉歌 関 隆司

◆砺波散村地域研究所研究紀要

〒939-1382富山県砺波市太郎丸80

TEL0763-34-7170 1984年創刊
◇35 2018.3 B5 91+19p
富山の方言―砺波市方言の引用標
識をめぐって 木部 暢子
人口動態から見る砺波と黒部の差
異 大西 宏治
加賀藩の田地割制度と砺波散村
―「田地割定書」からみたムラ
の諸相 佐伯安一／新藤正夫／今村郁子
「砺波の生活・生産用具」国重要
有形文化財指定記念
講演
「砺波の生活・生産用具」と富
山の民俗 石垣 悟
収蔵資料の活用報告―事業展
開と研究活動の両面から 渡邊 悠介
研究発表
砺波地方のスキ 安カ川恵子
砺波地方の馬鋏 般林 雅子
城端線開通120年記念 講演
人の輪で まちも線路もみんな
元気に一ひたちなか市の取り
組み 吉田 千秋
城端線の役割はどう変わってき
たのか 西野 真夫
報告
庄川上流地域見学会実施報告 事務局
散村地域見学会実施報告 事務局
砺波散村地域学習講座実施報告
小学生の部「4年生親子散村
めぐり講座」、中学生の部
「マチと散村のつながり―「出
町」の歴史と自然を学ぶ―」、
高校生の部「砺波平野の産業
と暮らし」 事務局

◆富山史壇 越中史談会

〒930-0115富山市茶屋町33-2 富山県公文

書館内 TEL076-434-4050 1954年創刊
◇185 2018.2 A5 80p 1300円
中世後期越中国般若野荘における
社会の枠組―郡・郷・村など 若林 陵一
越中神保氏歴代の概説と研究史―
慶宗期と長織・氏張・長住期、
付小島職鎮 久保 尚文
史料紹介
加賀藩末、越中国新川郡御郡奉
行所の留書足軽と郡民の交際
を示す史料 浦田 正吉
富山県関係の米騒動史料(1)
―「金山家文書」中の「越中
女一揆」(所謂「越中女一揆」
ト新聞トノ関係ニ就テ) 近藤 浩二
平成29年度特別講演会要旨
中世加賀菊酒の社会史 室山 孝
最近の地方史情報 中条 充子

◆加南地方史研究 加南地方史研究会
〒923-0903石川県小松市丸の内公園町
小松市立博物館内 TEL0761-22-0714
1955年創刊 kananchihoushi.com
◇65 2018.3 B5 101p
小林家の土蔵一文書調査を通して 山前 圭佑
下里家文書から視る大杉地区の林
業・農業・日常生活等について 橋本 正準
鶴ヶ島町「旧三カ村」之記録 岡田 孝
第3回「加賀の走り移民」を振り
返って 昭和52年北国出版 池端 大二
挺身隊に奪われた女学生の青春
―鈴鹿海軍工廠 正和 久佳
『古九谷』銘文研究(1) 多智 守
文献でみる小松市域の城堡館(2) 橋本 巖夫
新出の能順書簡について 綿拔 豊昭
史料紹介

加賀藩十村役と其の配下(肝煎
役)の記録 岡田 孝
小松市内昭和の棟札 室山 孝
青空教室に参加して 伊井 虎男
第二十三回「寺町サミット in 岐
阜」に参加しました 金子 久
「第二十三回 寺町サミット in 岐
阜」に参加して 坂山 宗嗣
蓮如上人北国退去の地を訪ねて 竹田外喜男
木場町 吉田彦右衛門氏を偲ぶ 藤田 勝男

◆北陸石仏の会会報

〒939-1315富山県砺波市太田1770
尾田武雄方 TEL0763-32-2772
年3000円 1993年創刊
◇54 2018.4 A4 4p
石造八幡神 滝本やすし
聖徳太子南無仏の石仏 尾田 武雄
富山市西萱霊園の徳本名号塔 平井 一雄

◆「北陸石仏の会」通信

〒939-1315富山県砺波市太田1770
尾田武雄方 TEL0763-32-2772
年3000円 2016年創刊
◇3 2018.4 A4 2p
「各地の半僧様紹介」(平井一雄)
(『日本の石仏』2017 No163)
／「寛明」「義賢」「光導」「徳住」
(平井一雄)(『日本の石仏』20
14 No150)

◆加能民俗 加能民俗の会

〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1
石川県立歴史博物館内 TEL076-262-3236
年4000円 1950年創刊
◇161 (12-19) 2018.3 A5 16p
身近な地藏祭りに思う 宮本 美子
ぐず話今昔 立花 玲子

戦前金沢の音風景

一名物行商人たちの姿と声 大門 哲
出版紹介
西山郷史著『妙好人千代尼』 由谷 裕哉

◆加能民俗研究 加能民俗の会

〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1
石川県立歴史博物館内 TEL076-262-3236
年4000円 1972年創刊
◇49 2018.3 A5 83p
金沢の食文化を考える
一都市民俗学再考 小林 忠雄
能登高浜近隣の葬送儀礼習俗の変
化雑考 天野 武
井上友一と柳田國男の神社合祀を
巡る交錯 由谷 裕哉
ごり話ぐず話今昔(1) 立花 玲子
婚礼時の「樽引き」とその音頭・
歌詞一白山麓白峰・大道谷の事
例 橋 礼吉
北陸の「釣瓶落しの怪」の位相 松本 孝三

◆若越郷土研究 福井県郷土誌懇談会

〒918-8113福井市下馬町51-11
福井県立図書館内 TEL0776-33-8860
年3500円 1956年創刊
◇305 (62-2) 2018.2 B5 68p
「南越雑話」(2)一翻刻と現代語訳
「南越雑話」輪読会
橋本左内は刑場で泣いたか
一「偉人像」を読み解く 長野 栄俊
大道寺繁郷『越城亀鑑』
一延享二年～寛延二年 田中 丈敏
多賀を追う芝木と藤江一河地文庫
「先君敵討之義につき書状等」 堀井 雅弘

◆MARUBI ふじさんミュージアムだより

〒403-0005山梨県富士吉田市上吉田2288-1

TEL0555-24-2411 www.fy-museum.jp

◇45 2018.3 A4 8p
博物館Report 向原の道祖神祭

◆飯島陣屋だより 飯島町歴史民俗資料館

〒399-3702長野県上伊那郡飯島町飯島
2309-1 TEL0265-86-4212 1993年創刊
◇18 2018.3 A4 4p
伊那県発足150年！
贋二分金の流入！
伊那県商社事件へ

◆飯田市美術博物館研究紀要

〒395-0034長野県飯田市追手町2-655-7
TEL0265-22-8118 1990年創刊
www.iida-museum.org
◇28 2018.3 A4 96p
鈴木芙蓉の新作作品を巡って(2) 横村 洋介
飯田下伊那在銘彫刻目録稿
一仏像・神像 織田 顕行
調査報告
飯田町に遺る土蔵について 中山 京子

◆飯田市歴史研ニュース 飯田市歴史研究所

〒395-0803長野県飯田市鼎下山538
TEL0265-53-4670
www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/201700601.html
◇93 2018.4 A4 4p
飯田市歴史研究所 平成30年度の
事業概要
平成29年度研究活動助成報告会が
開催されました 壬生 雅穂
飯田・下伊那で地域史研究に携わ
って 千葉 拓真
負の歴史に学んで 齊藤 俊江
リレーミニエッセイ(13) 間に合
った！「少年農兵隊」調査
原英章(歴史研究所調査研究員)

飯田・下伊那の歴史と景観(8)

鼎の二股路地 樋口 貴彦
◆伊 那 伊那史学会
〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048
TEL0265-22-6017 年5500円
◇1078 (66-3) 2018.3 A5 50p 550円
口絵 現在も旧暦を守る大河内の
「春の祭り」 橋都 正
鷺龍峡を跨ぐ「天龍橋」と地域の
人々の生活—第四代橋完成を機
に改めて見直す(1) 大原千和喜
さようなら南和田小学校 針間 道夫
満州分村を拒否した佐々木(元)村
長の話 村松 明
毛賀の「ぶどう棚」
一小さな地区の伝統花火 宮下 英美
天竜川右岸の御社宮司神(5)
一伊那谷南部の小字から(6) 今村 理則
下伊那日録
(2012年11月～2013年3月) 寺田 一雄
◇1079 (66-4) 2018.4 A5 50p 550円
口絵 大鹿村の中尾の金毘羅大権
現一石造物に見る集落の栄枯盛
衰 北村 尚幸
風越山のスズタケ全山で開花・一
二〇年に一度？ その他南信州
・全国の開花情報を俯瞰する 小林 正明
戦国期武田氏の普請役と下伊那地
域 早苗 寿雄
祖父の日露戦争参戦、北海道旭川
からの手紙 吉澤 健
『伊那青年』と下伊那の青年たち 清水 迪夫
思い出の昭和(1) 幼なじみ 原田 望
下伊那日録(2013年3月) 寺田 一雄
◇1080 (66-5) 2018.5 A5 50p 550円
口絵 真光寺に戻った三幅の掛軸
織田 顕行

第7回「文化財の保護保全を考える会」(報告)
吉澤健南信州文化財の会
会長挨拶
来賓祝辞(串原良彦下條村教育長)
開催趣旨
諸連絡(秦野高彦南信州広域連合事務局次長補佐)
事例発表
下條村の芸能文化発祥と活動の歴史 原 董
下條歌舞伎保存会の後継者育成事業について 齋藤 充
大鹿歌舞伎の保存伝承活動について 北村 尚幸
全体討議 第1グループ 北原 更一
全体討議 第2グループ 山内 尚巳
全体討議 第3グループ 鎌倉 貞男
閉会行事 まとめにかえて 岡田 正彦
南信州の十王信仰と十王堂(中の6) 岡田 正彦
宮下相次郎「事務日誌」(3) 坂田
亀吉(木曾亀)による和合熊野社再建の経緯 松澤 英男
天竜川右岸の御社宮司神(6)
一伊那谷南部の小字から七 今村 理則
思い出の昭和(2) 村のかじや 川手 重光
◇1081(66-6) 2018.6 A5 50p 550円
《考古学特集》
口絵 御猿堂古墳出土
人物・大刀形形象埴輪 春日 宇光
飯伊にみる神籬の実態 桐原 健
史跡飯田古墳群の意味すること
一馬生産と古墳築造の背景を考える 小林 正春
平成29年度 恒川官衙遺跡発掘調査概要 坂井 勇雄
平成29年下伊那考古学年報 小林 正春

◆伊那路 上伊那郷土研究会
〒399-4501長野県伊那市西箕輪3180
山口通之方 TEL0265-73-5538 年5000円
◇734(62-3) 2018.3 A5 40p 500円
《「上伊那郷土研究交流の集い」特集号》
「第18回上伊那郷土研究交流の集い」現地巡検概報 伊藤 一夫
注目してほしい地域「東伊那」 福澤 浩之
東伊那善福寺の西国三十三観音を訪ねて—第18回上伊那郷土研究交流の集いに寄せて 田中 清文
郷土研究と公民館 新井 幸徳
「東伊那の集い」に思う 桃澤 匡行
「誑三才孩兒」に一瞬、奇異のひらめき 唐木 達雄
『古今書院』創設者・西春近村出身の橋本福松(7)一教員から実業家へと歩んだその波乱の生涯に学ぶ 三上 徹也
伊那谷のカスミ網罟
一民俗の窓を通して(31) 吉田 保晴
文化短信 「春の高校伊那駅伝」をさらに誇れる文化に 矢島 信之
図説・上伊那の民俗(11)
数珠回し(辰野町横川飯沼沢) 三石 稔
◇735(62-4) 2018.4 A5 40p 500円
高遠藩主が描いた鳥の絵—高遠町歴史博物館収蔵品等から概観する 林 洋一
仲仙寺にあったとされる「十二坊」に関する考察 伊藤 和也
ふるさとの水と農業
一歩みと課題に思う 春日 州一
伊那市が取り組む古い地名調査(10) 竹松 亨
図説・上伊那の民俗(12)
庚申講(飯島町本郷第6) 三石 稔
◇736(62-5) 2018.5 A5 40p 500円

茅の輪くぐり—上伊那の事例から 中崎 隆生
天竜川の移動で流失した中州の村
「鍛冶ヶ島」の歴史 北原 昌弘
伊那谷のカモの仲間
一民俗の窓を通して(32) 吉田 保晴
第5回井月忌の集い・井月忌俳句大会報告
大野田井蛙／春日利比古／矢島信之
思い出の人・思い出の事(24)
『源氏三枕』の発見 桃澤 匡行
『古今書院』創設者・西春近村出身の橋本福松(8)一教員から実業家へと歩んだその波乱の生涯に学ぶ 三上 徹也
古文書の窓(132)
旅行中亡くなった人の始末 松澤英太郎
図説・上伊那の民俗(13)
やきもち踊り(伊那市山寺) 三石 稔
◇737(62-6) 2018.6 A5 40p 500円
伊那市の経塚について(1)
一遺跡・遺物を中心に 伊藤 和也
伊那電気鉄道の労働争議—大正末期の様子を写真で追う 小林 哲
「高遠石工」石造物フォトコンテストの開催—「日本で最も美しい村連合」加盟の事業として 山口 通之
石仏と対峙する静かな時間「高遠石工フォトコンテスト」の応募作品に寄せて 熊谷 友幸
伊那市が取り組む古い地名調査(11) 竹松 亨
伊那谷の高山の鳥
一民俗の窓を通して(33) 吉田 保晴
ふるさとの子育て(33)
アサガオの花 大槻 武治
古文書の窓(133) 水戸浪士の通行に関する旅人の話 下平すみ子

図説・上伊那の民俗(14)
雪形(駒ヶ根市赤穂) 三石 稔
◆伊那民俗
柳田国男記念伊那民俗学研究所
〒395-0034長野県飯田市追手町2-655
飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118
年3000円 1990年創刊
inaminkenhomes.blogspot.jp
◇112 2018.3 B5 8p
表紙 参道を登るお練り行列／売木村のお練り祭り 今井 啓
江戸時代の姿を残す盆行事
一上飯田と遠山の事例から 北原いずみ
部会報告(伊那近代思想研究会)
百十七銀行の株券盗難事件に苦しめられた森本州平 松上 清志
部会報告(柳田国男研究会)
『明治大正史世相篇』を読む 宮下 英美
探訪会報告
西浦田楽の「口拍子」に思う 今井 啓
◆伊那民俗研究
柳田国男記念伊那民俗学研究所
〒395-0034長野県飯田市追手町2-655-7
飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118
年3000円 1990年創刊
inaminkenhomes.blogspot.jp
◇25 2018.4 A5 120p
生きもの民俗再考—サワガニ・ヒキガエルを事例として 野本 寛一
柳田国男の研究構想と書斎 福田アジオ
心はいかに伝承されるのか—柳田国男の夢分析を手がかりに 岡安 裕介
民具と俗信
一吉凶をめぐる心意伝承 常光 徹
飯田下伊那における無尽 湯澤 直人
資料紹介 日の目を見なかった柳

田国男の講演筆記一昭和2年6月
11日 長野県南安曇郡倭小学校
での講演 宮坂 昌利

◆縁 集いの広場 縁フォーラム
〒399-8301長野県安曇野市穂高有明5944-
81 倉石美都方 2012年創刊

◇12 2018.3 A4 44p
アウトリサーチとしての「民俗学
巡検」のすすめ 吉村 風
長野県安曇野市域の道祖神祭祀対
象石造物の概要 倉石 忠彦
民俗語彙の現代的意義
一民俗学と翻訳を拒むもの 中里 亮平
核家族化の中の嫁と姑 倉石 美都
寄生虫疑惑顛末記 安井 万奈

◆市誌研究ながの 長野市公文書館
〒380-0801長野県長野市箱清水1-3-8
長野市城山分室内 総務部庶務課
TEL026-232-8050 1994年創刊
www.city.nagano.nagano.jp/naganoarchives/
◇25 2018.3 A4 195p 1400円
信濃における陶硯の変遷
一専用硯を中心にして 鳥羽 英継
善光寺地頭・長沼五郎宗政につい
て一北八幡川、長沼の地との関
連 草間 律
戊の満水に関する諸史料及び寛保
満水図と御領分荒地引替願につ
いての考察 宮下 秀樹
徳間村問屋「八木家文書」に見る
新町宿住民の苦勞 松橋 好文
佐久間象山の漢詩(9) 佐久間方三
善光寺納骨堂の建立をめぐる建築
史家と建築家 宮澤 政太
戦国時代の遺構「旗塚」の研究 町田ゆかり
PLAYBACK SUMAKO かるか

や山西光寺の玉垣と松井須磨子
一十七歳の花嫁説と二十歳結婚
説をめぐる 宮坂 勝彦
史料紹介 佐久間象山と女流画家
恩田緑蔭の接点 北澤 忠雄
長野市と周辺部の上水道水源に見
られた障害微小生物 落合 照雄
平成29年度開館10周年記念
長野市公文書館講演会骨子
口絵写真解説
河野通勢と佐久間象山像 高木 寛
松代天王祭絵巻 真田宝物館 米澤愛
信州善光寺納骨堂縁帖 宮澤 政太
上野家の農業日誌類 橋口 明里
長野市と周辺部の上水道水源に
見られた障害微小生物 落合 照雄
平成29年2月28日閉館した篠ノ
井市民会館の思い出 関 秀延

◆信 濃 信濃史学会
〒399-0036長野県松本市村井町南1-28-35
年10200円 TEL0263-58-1213
www.shinano-shigakukai.jp
◇818 (70-3) 2018.3 A5 80p 1150円
ポリエチレングリコールによる収
縮変形木製品の保存処理 水沢 教子
願い二九か村の千曲川瀬直し
一明治維新下の治水事業 山田 正子
旧小県郡県村出身の兵士たちのみ
た日露戦争一五五〇通の軍事郵
便の語るもの 桂木 恵
島津忠久の出生伝承を考える(下)
報告 第102回セミナー 石川 勝義
小野 和英
受贈図書紹介 高井地方史研究会
編『幕領中野陣屋の支配構造と
民政』
◇819 (70-4) 2018.4 A5 84p 1150円

《災害史特集》
研究の業績がもたらす災害像の更
新一寛保2年(1742)の大水害に
ついて 北原 糸子
近世後期松代藩領における地域社
会の再編と洪水 鈴木 直樹
善光寺地震における中野代官所村
村の被災状況 大滝 敦士
史料紹介
善光寺地震に関わる丸山多三也
「地震記録」 宮澤 崇士
松本城の地震被害史料 後藤 芳孝
◇820 (70-5) 2018.5 A5 78p 1150円
応永～永享期における信濃村上氏
の動向と室町幕府 花岡 康隆
真田信之の軍制改革一「小山田家
文書」新出分の紹介を兼ねて 丸島 和洋
高野武貞による『諏訪大明神絵詞』
書写の経緯一安政5・6年の日
記から 五味 夏希
中世後期における地下人の考察
一16世紀を中心に 宮島 義和
受贈図書紹介
『南相木村誌』歴史編二近世
南相木村誌編纂委員会編 入沢 昌基
『『伊那青年』とその時代』公益
社団法人南信濃地域資料セン
ター著
『武家奉公人と都市社会』
松本良太著 後藤 芳孝
◇821 (70-6) 2018.6 A5 82p 1150円
《隣県特集号 隣県地方史学界の動向
一平成29年(2017年)》
岐阜県地方史研究の動向 村瀬 泰啓
埼玉県地方史研究の動向
堀口智彦／根ヶ山泰史／榎本博
富山県地方史研究の動向
鹿島昌也／松山充宏／尾島志保／森俊

山梨県地方史研究の動向
上野桜／西川広平／高橋修
新潟県地方史研究の動向
石原正敏／浅井勝利／田嶋
悠佑／渡部浩二／田邊幹
群馬県地方史研究の動向 丑木 幸男
長野県地方史研究の動向
櫻井秀雄／福島正樹／畔上
不二男／田玉徳明／三石稔

◆千 曲 ふるさとに学ぶ 東信史学会
〒386-0024長野県上田市大手2-7-13
上小教育会館内 TEL0268-24-2182
年3000円 1974年創刊
◇165 2018.3 A5 63p
《特集号 地震や災害》
平安時代ハケ岳大崩壊と「仁和の
洪水」研究(1)一遺跡の調査成
果と地域史 川崎 保
古文書・言い伝え・痕跡から「戊
の満水」を考察する(1) 丸山 厚至
小氷期(寛保2)の洪水と温暖化の
もとでの洪水「戊の満水」とそ
れを超えるもの 樋口 和雄
上本郷 武高国神社の「要石」一先
人の願いが、今も息づいている
宮本 達郎
窓 「『小海』誕生の謎」から学ん
だこと 由井 正生
歴史随想 信州をめぐ(2) 小林 正明
連載講座
古文書解説講座 第156回 宮島 信明
扉写真と解説
城山史跡公園 荒砥城跡 平林 大樹

◆長 野 長野郷土史研究会
〒380-0905長野市七瀬南部14-7
TEL026-224-2673 年4000円 1964年創刊

www.janis.or.jp/users/kyodoshi/
 ◇309 2018.4 A5 72p 800円
 表紙解説「春の信州 絵解き・
 絵伝の特別公開」 小林 玲子
 名所案内図に描かれた善光寺四十
 九霊地 小林 一郎
 村上氏・栗田氏と山王信仰 草間 律
 長野市三才区で確認された芭蕉句
 碑とその建立者について 松橋 好文
 尾藤知宣について 志村 平治
 生きた町の歴史を知ろう(15) 長
 野市の温泉・銭湯年表—この20
 年を振り返って 小林竜太郎
 出版 長野郷土史研究会テキスト
 ブック『善光寺四十九霊地—善
 光寺と長野の七名所—』
 小林一郎／小林玲子

◆長野県民俗の会通信

〒399-3301長野県下伊那郡松川町上片桐
 2626-24 三石稔方 TEL0265-37-3017
 年5000円 www.k2.dion.ne.jp/~folklore/
 ◇264 2018.3 B5 12p
 例会での報告「徳本上人の信濃巡
 錫と念仏信仰」について 細井雄次郎
 第208回例会 参加報告 宮本 尚子
 「長野県民俗の会」の先達を訪ねる
 (2)—倉石忠彦先生(下) 三石 稔
 つぶやきコーナー
 松本中心市街地の三九郎の今 渡辺 宏
 ◇265 2018.5 B5 8p
 墓地の継承をめぐる(上) 福澤 昭司
 第209回例会報告
 樋口明里／宮本尚子／市東真一
 自然石道祖神探訪顚末記(下)—
 『長野県道祖神碑一覧』のため
 の写真撮影 小原 稔
 つぶやきコーナー

『苦海浄土』のこと 中崎 隆生

◆松本市史研究 松本市文書館紀要

松本市総務部行政管理課松本市文書館
 〒390-1242長野県松本市和田1058-2
 TEL026-347-0040 1991年創刊
 ◇28 2018.3 B5 117p
 生安寺の木造地藏菩薩半跏像—江
 戸祐天寺から松本光明院へ 後藤 芳孝
 昭和戦前期の村からの文書
 一里山辺村の記録から 三村 國光
 フランス式階段工の顕彰と牛伏川
 いこいの広場の保全・活用 加藤 輝和
 地域の礎を築いた人たち 小松 芳郎
 戦時下のくらし
 島立国民学校の生活 大久保将生
 昔の苦労話 宮下寿美男
 戦時下の満州で 栄 勇
 太平洋戦争体験 丸山 由雄

◆郷土研究岐阜 岐阜県郷土資料研究協議会

〒500-8368岐阜市宇佐4-2-1 岐阜県図書館
 内 TEL058-275-5111 年2800円
 1973年創刊 www.library.pref.gifu.lg.jp/
 dantai/kyosilen/k_index.htm
 ◇129 2018.3 B5 28p
 「石谷家文書」の発見と石谷氏に
 ついて 古田 憲司
 明治維新期における飛騨と隣国と
 の関係 横山 翔太
 神通川や庄川を遡上してきたサク
 ラマス 本永 義博
 青木富太郎(原三溪)の結婚に関す
 る史料について 入江 康太
 岐阜県への戦後引揚者たち—「引
 揚者在外事実調査票」から 根岸 秀行
 木曾川の四つの旧湊 土屋 一
 新刊紹介 後藤征夫著 ふるさと

・岐阜の歴史 一五〇年の歩み
 を未来に 黒田 隆志
 美濃中・近世移行期研究をめぐっ
 て 内堀 信雄
 美濃加茂地区方言集の刊行 可児 光生
 ふるさとの良さを伝えようⅡ～普
 賢寺の鐘楼門文化財指定に関わ
 る活動を通して 小嶋 司
 郷土関係新刊書目録(114)

◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会

民俗文化研究所
 〒438-0086静岡県磐田市見付3532
 TEL0538-32-3546 年2000円 2007年創刊
 www4.tokai.or.jp/child-c.j/
 ◇129 2018.2 A4 4p 300円
 災害鎮めの大井神 吉川 祐子
 ◇130 2018.3 A4 4p 300円
 四年毎に思い起こす災害伝承 吉川 祐子
 ◇131 2018.4 A4 4p 300円
 島田宿の元禄時代 吉川 祐子
 ◇132 2018.5 A4 4p 300円
 墓守がいない現代墓事情 吉川 祐子
 ◇133 2018.6 A4 4p 300円
 白山神社と“法多山の田遊び” 吉川 祐子

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8529静岡市駿河区大谷836
 静岡大学人文社会科学部 橋本誠一研究室
 年4000円
 ◇474 2018.3 B5 4p 100円
 3月例会レジュメ
 1972年から1979年の高島平団地
 自治会の公団家賃値上げ反対
 運動に対する姿勢の変化につ
 いての考察—公団自治協の運
 動への参加から独立した運動
 を行うようになるまで 村田 智紗

日本のインドシナ難民の受容と
 教育支援の変遷—神奈川県
 事例に着目して 生駒 知基
 2月幹事会の報告 小池善之・記
 父の軍歴(1) 野澤 和俊
 ◇475 2018.4 B5 4p 100円
 4月例会レジュメ 陸軍の国民統
 制政策—軍国主義の社会的基盤
 伊勢 弘志
 佐野俊夫さんを悼む 鈴木 雅子
 佐野俊夫さんを偲んで 平井 和子
 金原左門先生のこと 小池 善之
 ◇476 2018.5 B5 4p 100円
 5月例会レジュメ 戦前期におけ
 る日本茶輸出と静岡県の製茶業
 栗倉 大輔
 父の軍歴(2) 野澤 和俊
 新刊紹介 『井口省吾日記』 樋口 雄彦
 ◇477 2018.6 B5 4p 100円
 6月例会レジュメ 雑誌『第三帝
 国』の思想運動と静岡県下の青
 年読者 水谷 悟
 塚本雄作と鎌倉静枝
 —鎌倉文庫のこと 小池 善之
 呉地方総監部(旧呉鎮守府)訪問記
 森山 優

◆静岡県地域史研究会報

〒421-3103静岡市清水区由比750-306
 北村啓気付 年4000円 2011年創刊
 ◇218 2018.5 B5 4p
 小野但馬守は国衆か 森田 香司
 2月例会報告要旨
 「東野州消息」からみた東常縁
 から宗祇への古今伝授に至る
 背景 土屋比都司
 渡辺金璟の三島宿方改革—諸帳
 面雛形と「問屋会所取締主法

書上帳」の作成を中心に 厚地 淳司
4 月例会報告要旨
室町・戦国期の大給松平氏
一松平一族の制外の家 小林輝久彦

◆静岡平和資料センターだより

〒420-0858静岡市葵区伝馬町10-25
中央ビル90 2階 TEL054-271-9004

◇60 2018.2 A4 2p

当会はボランティアが運営している市民団体です。／ピースボランティア募集 さあ、わたしたちとともに始めましょう！

企画コーナー展示 静岡平和資料センター「戦時下の教育：東豊田国民学校の1年」／静岡平和資料センター所蔵資料展示「静岡の戦争と空襲2」

◆静岡県民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区渋川1-9-6-101
web.thn.jp/s-folklore/

◇167 2018.4 A4 4p

第2回例会報告 (大嶋記)
シリーズ食(35) 『駿州吉原宿絵図』に見る富士山南麓の名物食
柏原のウナギの蒲焼、川合橋(河合橋)のコイ・フナ、元市場村の白酒、芝川沿いの富士海苔(芝川海苔) 井上 卓哉
民俗語彙・方言短信
オヒナサン／ヒナの土産 松田香代子

◆静岡歴研会報 静岡県歴史研究会

〒422-8045静岡市駿河区西島363-55
篠原旭方 TEL054-286-8659

◇151 2018.2 B5 12p

第118回研究会 赤池隆義氏の「用

宗城の水軍について」の概要／森田幸雄氏の「金堀大工(鉦夫)の生涯」の概要／寺尾弘之氏の「小島陣屋について」の概要
第119回研究会 堀川幸美氏の「天狗の歴史」の概要／大川誠一氏の「井伊氏の背負う倫命」の概要／太田晴道氏の「日蓮門弟日法＝熊王丸説についての」の概要
追悼 松本検さんを偲んで 篠原 旭

◆駿河 駿河郷土史研究会

〒417-0061静岡県富士市伝法66-2
富士山かぐや姫ミュージアム内
TEL0545-35-6250 1965年創刊

◇72 2018.4 B5 169p

表紙解説 東泉院の宝蔵 加藤 昭夫
巻頭言 明治百五十年に思う 加藤 昭夫
絵図に見る江戸時代の東海道(4)
新吉原宿とその周辺 田辺 泰弘
本市場村 米之宮神社
一中世・近世の研究 高田 國義
民生児童委員制度の生みの親 笠
井信一翁の人物像と時代背景 笠井 信男
徳川家康の遠江侵攻 篠原巳津夫
江川文庫資料等からみるディアナ号の遭難と救助活動

加藤昭夫／伊藤勇次郎
日常生活の数学(5) 渡邊 照好
愛鷹山の野馬と牧(2) 矢崎 巖
富士山による新田開発 和田 嘉夫
富士山に残る江戸時代の旅日記を
読んで 福澤 清
『岩本神社考』 若竹 秀信

◆愛知県史研究

愛知県総務部法務文書課史編さん室

〒460-8501名古屋市中区三の丸3-1-2 愛知県自治センター8階 TEL052-972-9171
1996年創刊 www.pref.aichi.jp/kenshi/

◇22 2018.3 A4 146p

安政東海・南海地震の被害と尾張藩の救済—史科学的検討を踏まえて 石川 寛
明治初期の三河国内における管轄地再編について—三河県、静岡藩、重原藩の状況を中心に 加藤 規博
知多郡資産家の名古屋進出と近代名古屋経済界 中西 聡
『熱田大宮司千秋家譜』の構成について 青山 幹哉
三河国山中郷と室町幕府 松島 周一
尾張徳川家御用蒔絵師・吉村寸斎とその作品について 高尾 曜
愛知県農工銀行の日本勧業銀行への合併に関する資料—『愛知県農工銀行合併席上調査報告』(昭和19年6月)の紹介 早川 大介
西三河の山寺—真福寺旧境内と小馬寺跡の分布調査成果をもとに 岩原 剛

新出の古面二例 伊東 史朗
平成28年度愛知県史を語る会抄録
中世・織豊の尾張・三河

中世の尾張・三河
一東と西の境界地域 稲葉 伸道
京・鎌倉と熱田大宮司家 青山 幹哉
戦国・織豊期の尾張・三河
—『愛知県史 通史編3 中世2・織豊』発刊に寄せて 播磨 良紀
鷹狩りに見る豊臣政権と尾張・三河—吉良での鷹狩りと領国の境界をめぐって 谷口 央

近刊市町村史誌紹介 『新修豊田市史』(豊田市)、『新編西尾市

史研究』第三号(西尾市)、『田原・赤羽根史現代編』(田原市)

◆あつた 熱田神宮宮庁

〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1
TEL052-671-4151 www.atsutajingu.or.jp

◇158 2018.4 A5 36p

熱田雑集(14) 太田 正弘
創祀千九百年記念造営事業の回顧(15) 小久保雅広

◆安城歴史研究 安城市教育委員会

〒446-0026愛知県安城市安城町城堀30 安城市歴史博物館 安祥文化のさと地域運営共同体 TEL0566-77-6655 1975年創刊

◇43 2018.3 A5 56p

江戸時代後期の田畑の売買価格 中筋 孝
明治用水生みの親 岡本兵松一生
誕二百年を迎えるに当たり 田中 覚
都築三郎兵衛の銘酒「瀧泉」 早川 一雄
国、県、市指定文化財リスト／国登録(有形)文化財リスト(平成29年末現在)

◆郷土研究誌かりや 刈谷市郷土文化研究会

〒448-0852愛知県刈谷市住吉町4-1
刈谷市中央図書館内 TEL0566-25-6000
1980年創刊

◇39 2018.3 A5 143p

文化講演会 戦国・織豊期の西三河と水野氏 水野 智之
文化財から見る崇福寺 都築 武夫
八橋売茶と琉球楽器「長線」 清水 正明
探訪・刈谷藩江戸上屋敷(2)—刈谷藩土井家江戸上屋敷の絵図面より 三ツ松 悟
文礼館考 加藤 修
刈谷の戦没者から見た戦争の軌跡

刈谷市・知立町の合併問題 岡本 建国
 刈谷ホームニュースの見た刈谷 山田 孝
 1977年～2017年 兵藤吾津夫
 森銃三・森三郎兄弟と刈谷(2) 神谷磨利子
 一故郷の山車囃子 鈴木 哲
 森三郎が新美南吉と出会った日 宮原 英明
 碧南の土人形 加藤 幸一
 六十年ぶりの広島見聞録 矢田 直幸
 市内研修会 楞嚴寺と本刈谷神社
 ・本刈谷神社貝塚 長 嶋 秀雄
 県内研修会 抹茶街道と岩瀬文庫
 を訪ねる西尾市巡り一葵製茶・
 実相寺・西尾市歴史公園・岩瀬
 文庫

◆郷土文化 名古屋郷土文化会
 〒466-0064名古屋市昭和区鶴舞1-1-155
 名古屋市鶴舞中央図書館 TEL052-741-9822
 年3000円 1946年創刊

◇229 (72-2) 2018.2 A5 116p 1500円
 拗れる 桶狭間の戦い(4) 尾畑 太三
 今川から見た桶狭間合戦 太田 輝夫
 「ええじゃないか」直前の御鋳百
 年祭(1) 田村 貞雄
 春日井市と名古屋市守山区等の狂
 俳文芸(5) 大野 哲夫
 清須花火のなごり 半田 実
 回想 名古屋城と名古屋駅 小林 元
 庄内川の源流から下流まで 加藤 政雄
 名古屋郷土文化会 見学研究会
 「熱田のまちを歩く」に参加して 蓮尾 貴大

◆新編西尾市史研究
 〒445-0847愛知県西尾市亀沢町480
 西尾市岩瀬文庫内 西尾市教育委員会事務局文化振興課 西尾市史編さん担当

TEL0563-56-6660 2015年創刊
 ◇4 2018.3 A4 120p 700円
 『兵範記』・同紙背文書に見える西
 三河の荘園の基礎的研究―三河
 国幡豆郡吉良荘、碧海郡志貴荘
 ・碧海荘を中心に 田島 公
 資料紹介
 『吉良家日記』関連史料の翻刻
 と紹介(1) 水村民之／平井誠二
 加藤家文書『富好新田一件之写』
 一翻刻と解題 小林輝久彦
 海の古代寺院一寺部堂前遺跡(寺
 部廃寺)出土の型押簾状文軒平
 瓦を中心に 永井 邦仁
 巡りの世界を探し求めて一幡豆・
 吉良における三禪定と立山信仰
 の痕跡 伴野 義広
 作品研究 地藏菩薩立像(個人蔵)
 山岸公基／青木智史
 西尾市の地質―臨海部及び三河湾
 の島々 吉村暁夫／山本康孝／内田義和
 新編西尾市史中間報告展Ⅱ／特別
 講座「市史編さんの現場からⅡ」
 自然部会中間報告展・中間報告会

◆新編西尾市史だより
 〒445-0847愛知県西尾市亀沢町480
 西尾市岩瀬文庫内 西尾市教育委員会事務局文化振興課 西尾市史編さん担当
 TEL0563-56-6660

◇4 2018.2 A4 8p
 資料紹介 東幡豆町 妙善寺・大
 嶽家資料 「心秋妙善大禪定尼」
 位牌／「勸学善理信士」位牌
 こちら近世部会です。 池内 敏
 調査報告 自然部会中間報告会
 岩瀬文庫特別展 新発見。新知見。
 ～新編西尾市史中間報告展Ⅱ

／特別講座「市史編さんの現場
 からⅡ」

◆豊田市史研究
 〒471-0079愛知県豊田市陣中町1-19-1
 豊田市教育委員会文化財課市史編さん室
 TEL0565-36-0570 2010年創刊

◇9 2018.3 A4 140p
 豊田市における奈良・平安時代の
 堅穴建物跡について 永井 邦仁
 矢作川越戸発電所をめぐる地域問
 題 浅野 伸一
 村のなかの検地帳
 一豊田市行きの事例 鈴木えりも
 資料紹介
 豊田市大砂遺跡の後期旧石器時
 代から縄文時代草創期の石器
 について 川合 剛
 大砂遺跡における縄文時代の様
 相について 川添 和暁
 資料紹介『如意寺由緒書(嘉永
 二年)』 安藤 弥
 足助地区紙屋鈴木家資料内の正
 及新田関係資料について 中島 学
 市指定史跡「拳母藩内藤家墓所」
 について一近世大名家墓所の一
 事例 北村 和宏
 巴ヶ丘小学校設立にかかわる二・
 三の覚書き 水野 雅夫

◆まつり通信 まつり同好会
 〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25
 TEL0567-37-0441 年5000円

◇594 (58-2) 2018.3 B5 8p 600円
 表紙写真のことは 鶏足神社お浜
 降り遷宮祭 酉年三月下旬 福
 島県南相馬市鹿島区北海老 坂本 要
 東京・中神の獅子舞 石川 博司

古代舞躍面具の擬相性にみる宗教
 的要素―北海道フゴッペ洞窟の
 綫刻岩繪の解讀上の問題(9) 水原 渭江
 新刊紹介 東北民俗第50輯 第50
 輯記念特集 東北民俗の会発行
 宮城県丸森町の猫碑について 住田 真悠
 民俗芸能報告情報
 ◇595 (58-3) 2018.5 B5 8p 600円
 表紙写真のことは 赤玉神社神事
 六月第一日曜 新潟県佐渡市赤
 玉杉池 坂本 要
 東京・川井の獅子舞 石川 博司
 安城市桜井町西町における囃子・
 神楽の伝承と今後の展望 鈴木 悠里
 長崎県壱岐市壱岐情報 神社仏閣
 ／展示施設紹介／壱岐神楽
 新刊紹介 山県市の祭りと民俗芸
 能―山県市無形民俗文化財調査
 報告書 岐阜県山県市伝統文化
 地域活性化実行委員会

◆MIXED MUSES 愛知県立芸術大学音楽
 学部音楽学コース紀要
 〒480-1194愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-
 114 愛知県立芸術大学音楽学部内(増山
 研究室) TEL0561-62-1180

◇13 2018.3 A5 116p
 《増山賢治教授退職記念号》
 山葉寅楠と鈴木政吉一明治期の博
 覧会とのかかわりを中心に 井上さつき

◆皇學館史学 皇學館大学史学会
 〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704
 皇學館大学文学部国史学科研究室
 TEL0596-22-6456 1986年創刊
 kokushi.kogakkan-u.ac.jp

◇33 2018.3 A5 144p
 岡田芳幸教授のご退任にあたって

松浦 光修
岡田芳幸先生略歴及び研究業績 松浦 光修
北宋四川地方の流通から見る経済
的特異性 山口 功晟
宇垣一成の外交政策論 鈴木 玲名
誰でも学術展示へ ドイツ・キール大学とその展示施設の示す過去と未来 多田 伊織
新潟県下の大正十四年貴族院多額納税者議員選挙 伊藤 寛崇

◆皇學館大学研究開発推進センター紀要
〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704
TEL0596-22-6466 2015年創刊
www.kogakkan-u.ac.jp

◇4 2018.3 A4 209p
講演 殯・殯宮と王宮・葬地 西本 昌弘
平成28年度皇學館大学研究開発推進センター神道研究所公開学術シンポジウム 日本書紀の受容をめぐる
発題者 是澤範三・原克昭・遠藤慶太／企画・司会・コメント 大島信生
『日本書紀』の訓読史 是澤 範三
『日本書紀』註釈の現場と言説
一竟宴・進講・伝授 原 克昭
日本書紀写本と中世神道説一日
本書紀熱田本の調査から 遠藤 慶太
コメント・討論
資料
日本後紀史料(稿)
一延暦十二年 史料編纂所
神宮皇學館『第一回修学旅行日記』(明治27年)一神宮皇學館
修学旅行日記・満鮮旅行記(1)
皇學館大学 研究開発
推進センター館史編纂
伊勢路と紀伊路一熊野古道から昔

のことを考えよう 荊木 美行
桜町天皇の大嘗祭一『元文聖代大嘗会拝見私記 御調度品略図』
の考証 佐野 真人
史料紹介 岩井田家資料『年中行夏記草稿』(明治期) 濱千代早由美

◆三重県史研究
三重県環境生活部文化振興課県史編さん班
〒514-0006三重県津市広明町13
TEL059-224-2057 1985年創刊

◇33 2018.3 A5 76p
資料紹介
西村広休の貝類論と『介管校』 小玉 道明
村の創立と医事
一鈴鹿郡徳原村の事例 鈴木えりも
近代絵葉書でみる東紀州
一樋田清砂氏旧蔵資料 県史編さん班
書 評
『三重県史』「通史編 近世1」 深谷 克己
県・市町村史編さんの動向 『三重県史』資料編 中世3(上)、『三重県史』通史編 近世1 県史編さん班

◆三重の古文化 三重郷土会
〒514-2305三重県津市安濃町清水1008
浅生悦生方 TEL059-268-2671
年4000円 1947年創刊

◇103 (通144) 2018.3 A5 142p
度会町万野遺跡採集の百花台型類
似の台形石器 奥 義次
度会郡南伊勢町五ヶ所浦正泉寺の
前身(如意庵)開創年代から憶う
中世古祥道
東光寺の廻国供養塔と納経帳
一源蔵・かんの全国巡礼 森川 正美
天明期の郷土の俳人 三浦梶良に
ついて 湊 章治

本居宣長七十二歳像について 松村 勝順
西村広林年譜の補遺 小玉 道明
史料紹介
「御領下村々庄屋給米帳」 浅生 悦生
古銭研究者佐野英山翁
一続九 考古少年ノートから 岩野 見司
伊東富太郎の足跡(8)
一鑄物師中川祐次 石神 教親
追悼 茅原弘先生のご逝去を悼む 浅生 悦生
三井一族・桜井家に関する一考 杉本 喜一
松阪市の文化財保護の取り組みⅡ
一松阪城跡及び周辺の歴史遺産
の保護 下村登良男
史料復刻 「清水家」文書
三重郷土会古文書勉強会
新聞記事から一2017年 下村登良男
新刊紹介 『知られざる郷土史
津とその周辺』 浅生悦生著

近 畿

◆湖国と文化 びわ湖芸術文化財団
〒520-0806大津市打出浜15-1
TEL077-523-7146 年2520円 1977年創刊
www.biwako-arts.or.jp

◇163 (42-2) 2018.4 B5 96p 584円
《特集 花の新名所》
花と自然のある暮らし 館 寛
花を支える
海津大崎の桜 江端 英嗣
箱館山スキー場のユリ園 古谷 賢次
守山市第1なぎさ公園の菜の花
叶匠壽庵の山野草 丹澤 愛継
近江のシャクナゲを求めて 山本 武人
花2題1ハスの大群落
消滅した赤野井湾のハス
花2題2ムラサキ 万葉集の相聞
歌に歌われたムラサキ

インタビュー 湖と生きる 時代
小説作家としてデビューした今
村翔吾さん
聞き手・植田耕司／写真・長井泰彦
大津京、万葉をうたう(8)
天智天皇の山科御陵
文と曲・林博通／画・鈴木靖将
談話室(22)
近江の磐座に魅せられて 岡本 光夫
ぶらり近江はっけん伝(4) 歴史
の誇り、名品・名所の誇り、街
並みの誇り、人物の誇り…… 岸野 洋
おもしろ近江考古学(15) 風変わ
りな容器(大津市真野遺跡) 松浦 俊和
滋賀文化事情 八幡山山西山麓の
荒廃竹林を再生 幸村 和彦
音楽への誘い(2)
舞台スタッフの目指すもの 押谷 征仁
森が育む(11) 森は、先生も育む
丸橋 裕一
歴史の玉手箱(7)
第二代県令籠手田安定 大月 英雄
みちくさ近江(5) 千年のケヤキ
が語るもの(長浜市余呉町坂口
・菅山寺) 三宅 貴江
芸術研究家 待(まつ)文麻呂の芸
能話(4) 信楽やっくれ音頭
江州音頭の流れの中 テンポを
変えて踊る
近江の懐(ふところ)(6)
東海道水口宿 加藤賢治／石川亮
三角点の山と私(16)
隠れた存在の山
野瀬山 青柳 茂晴
長野東山 山本紀美子

◆彦根城博物館だより
〒522-0061滋賀県彦根市金亀町1-1

TEL0749-22-6100 1988年創刊
www.hikone-castle-museum.jp
◇120 2018.3 A4 6p
テーマ展 華麗なる能の装い—女神と鬼神 能装束 紫地牡丹菊と松皮菱繋ぎの雲文様舞衣 当館蔵
展示案内 テーマ展 柳桜をこきまぜて—柳と桜のデザイン、特別公開 国宝・彦根屏風、テーマ展 華麗なる能の装い—女神と鬼神、企画展 商家のうつわ—湖東の商家伝来のやきもの
特集 新収蔵資料クローズアップ 生花透鐔 銘江州記内 小笠原信夫氏寄贈、高崎家文書「大宝恵」 個人寄贈
絹屋窯の湖東焼 奥田 晶子

◆京都府立大学文学部歴史学科
フィールド調査集報
〒606-8522京都市左京区下鴨半木町1-5
井上直樹 TEL075-703-5491 2015年創刊
◇4 2018.3 A4 64p
〈第Ⅰ部
地域の歴史と文化遺産の調査(京都府域)〉
京都市山伏山町文書調査 正田 彩花
祇園祭金工品調査 山伏山町文書調査に至る経過と山鉾町文書の原本保存について 竹中友里代
三嶋神社資料調査報告 洛東渋谷越の世界—毛利家・鷹司家・大丸下村家がいた時代 水谷 友紀
京田辺市市史編さんに関する連携協力 東 昇
舞鶴市古文書調査・多門院地区調査報告会 廣瀬 友佳
京都文化博物館総合展示「保存と

修理の文化史」への企画協力 荒井 隆人
〈第Ⅱ部
地域の歴史と文化遺産の調査(京都府外)〉
関市小瀬地区調査 植松 紀子
兵庫県神崎郡市川町山王1号墳測量調査報告
京都府立大学文学部考古学研究室
神河町銀の馬車道及び石造物調査と報告会 岩田 聖也
奈良県十津川村の歴史資料調査と報告会 有賀 陽平
「日本一小さな村」の役場文書整理
一富山県中新川郡舟橋村 小林 啓治
沖縄現地調査2017 田淵巴奈子
〈第Ⅲ部 文化遺産デザイン研究報告〉
「2017文化遺産デザイン研修」の記録 岡田 大雄
「京都の歴史を歩こう！—五条界限編—」歴史足違報告 岩田 聖也
〈第Ⅳ部 文化遺産フィールド研修報告〉
兵庫県神崎郡神河町における文化遺産フィールド実習について 近藤 史昭
神河町杉区の大日祭・大日庵
田村友希／小泉朋大
神河町吉富区の春日神社と玉垣 酒向あやか

◆古代史の海 「古代史の海」の会
〒573-0084枚方市香里ヶ丘6-4-9
上遠野浩一方 年4000円 1995年創刊
www.7.ocn.ne.jp/~kodaishi/
◇91 2018.4 A5 64p 1500円
巻頭言 たとえ—%でも… 上遠野浩一
百済観音の飛鳥時代(14) 百済観音の制作時期を推定する(1) 山下 輝幸
「方〜里」表記をめぐる(5) 中村 修
会員ひろば(小休止)
アンデス通信(44) 宗教画修復技師ハイメ・ロサンさんとの

出会い 市木 尚利
前稿へのコメントと冬至の伊勢
神宮と尾張富士 尾関 章
図書紹介 小田康徳『川西の歴史今昔』—猪名川からみた人とくらし 西川 寿勝
新刊紹介 荊木美行『東アジア金石文と日本古代史』 上遠野浩一
奥野正男『邪馬台国はここだ』を読む 中村 修
古代楠葉と交通路 上遠野浩一

◆史迹と美術 史迹美術同致会
〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入西大路町146 中西ビル内
TEL075-462-4292 年8000円 1930年創刊
https://www.shibikail930.com
◇883 (88-3) 2018.3 A5 36p 916円
草原宝塔1の造立時期について(上) 佐藤 誠
桓武天皇柏原陵の所在について(下) 加藤 繁生
第1039回例会
東大寺周辺の文化財を訪ねる 吉村 龍二
第1040回例会 大阪八尾市の史跡と文化財—寺内町と旧街道を中心に 矢ヶ崎善太郎
第28回「石造美術勉強会」報告
桜井市長谷寺から旧都祁村へ 川西きみ子
◇884 (88-4) 2018.4 A5 32p 916円
草原宝塔1の造立時期について(中) 佐藤 誠
百萬塔関連の續日本紀の訓と異説について 岡 成寛
第1041回例会 六波羅と鳥辺野
—東山五条周辺の史跡と美術 加藤 繁生
第1042回例会 湘南に育まれた近

代別荘を巡る 吉村 龍二
第30回「石造美術勉強会」報告
東近江市(旧八日市市と蒲生町)の石燈籠や宝篋印塔 高橋 浩行
◇885 (88-5) 2018.6 A5 32p 916円
草原宝塔1の造立時期について(下) 佐藤 誠
近江安土町浄厳院の宝篋印塔について 篠原 良吉
第1043回例会 津市南部(旧久居市)の鎌倉期の石造文化財を訪ねる 木下 幹夫
第1044回例会 大和郡山市の城址と城下町を訪ねる 東 日章
第31回「石造美術勉強会」報告
般若寺から新薬師寺へ奈良公園を歩く 2017年2月26日 田中 康夫
口絵写真解説 般若寺の楼門 矢ヶ崎善太郎

◆都藝泥布 京都地名研究会通信
〒610-1126京都市西京区大原野上里男鹿町14-5 入江成治方 FAX075-331-3431
年3000円 2002年創刊
kyotochimei.wix.com/kyotochimei/
◇61 2018.3 A4 8p
第48回地名フォーラム報告 発表
宇治を歩く 梅山秀幸、『万葉集』の地名 志貴皇子の早蕨のうたの垂見は地名か 沖村由香 沖村 由香
第17回総会 講演会案内 テーマ
「地名から日本の古層をさぐる」
講師：伊東ひとみ氏(文筆家)
地名随想
北山の地名(10)最終回 小寺 慶昭
寺のつく地名(15) 福田寺町 清水 弘
式間弥町について 梅谷 繁樹
会員著作紹介 糸井通浩副会長の

著作『谷間の想像力』『古代文学言語の研究』『語り』言説の研究』／横山秀幸理事の訳業
朝鮮古典シリーズ第6弾『青邱野譚』

◆やましろ 城南郷土史研究会
〒619-0204京都市木津川市山城町上粕南野田芝29 中津川方 TEL0774-86-3262
1953年創刊

◇31 2018.3 B5 121p 1100円
城南郷土史研究会と国民的歴史学
運動一民科京都支部歴史部会との
関係を手がかりに 高田 雅士
享和二年木津川水害の新資料「所々洪水大變録」の紹介 田中淳一郎
南山城地域の第二次世界大戦に関
わるアメリカ国立公文書館所蔵
写真 福林 徹
昭和初期の長池演習場
一演習場の二枚の写真から 仁張 真人
田原村の日露戦争(2) 宇治田原
町今西義彦家文書にみる兵士召
集 橘 尚彦
木津川市上粕出身 不屈のジャー
ナリスト・柳沢恭雄とその人生
(下の1) 戦争に巻き込まれる
も職業魂は失わず 赤塚 康雄
追悼 南山城の「川と災害」研究
を地域に提起していただいた
堀井篤さん 中津川敬朗
山城文学誌のあわさい(9) 世に
も不思議な物語一田辺郷土史会
と交流のあったカニエ氏のこと
古川 章
酒井雨虹 南山城作品抄 古川 章
宇治 文学碑廻り(6) 小西 亘
子どもたちの地域史(シリーズ10)

木津川支流の天井川と生きもの
たち 親子川の学校の取り組み
から 福井 波恵
南山城水害誌(高麗村にみる記録)
(5) 大西 康允
南山城地域の仏像 参考文献集成
十三世紀の明王・天部像(上) 八田 達男

◆立命館大学国際平和ミュージアムだより
〒603-8577京都市北区等持院北町56-1
TEL075-465-8151 1993年創刊
www.ritsume.ac.jp/mng/er/wp-museum/
◇73 (25-3) 2018.3 A4 18p
スポット ミュージアムの収蔵品
(70) 弁当箱 兼清 順子
「ノーベル平和センター」との協
力を可能にしたもの 安斎 育郎
巻頭つれづれ 「時分の花」と「時
の驕り」一平和の意味と平和博
物館の意義 安斎 育郎
平和教育研究
公開シンポジウム「沖縄戦の後
を生きる」 加國 尚志
研究プロジェクト「平和博物館
における戦争体験継承のため
の展示モデル構築」 兼清 順子
平和のための博物館 市民ネッ
トワーク特別講演会 兼清 順子
運営委員リレー連載一植民地経験
の複層性への視点 澤野美智子

◆歴史民俗学研究 龍谷大学民俗学研究会
〒600-8268京都市下京区七条大宮東入大工
町125-1 龍谷大学(浦西勉研究室)
2016年創刊
◇2 2018.2 A5 120p
伊勢神宮祠官の信仰形態
一仏教禁忌の中の仏教信仰 数元 彬

近世京都における薬種仲間の研究
佐古田あい
隋末唐初の僧善慧について 桐原 孝見
夏王朝伝承の神話的実像 大島 啓輔
花の御所材木船と山門堅田関
一「年余」試論 矢野 義典
〈光明皇后湯施行物語〉の研究
一「東大寺縁起絵」に文殊菩薩
が描かれた背景 中島 里菜
写字台文庫成立の舞台裏 小林 健太
『江戸神仏 願懸重宝記』 清水 真好
2016年度彙報
『沙石集』(巻二) 輪読会

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報
〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425
井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円
www.eonet.ne.jp/~sanonokai/
◇363 2018.3 B5 12p
室町幕府中枢の動きと和泉(1) 井田 寿邦
岡本町歴史散策(7)
浄音寺の話(1) 立石 元
鳥取自動車旅行の思い出(2) 仲谷 栄一
たそがれの泉州弁(37) 中野 恒一
◇364 2018.4 B5 12p
史料で見る吉田松陰の泉南遊歴 下村 欣司
訃報 安藤精一氏
室町幕府中枢の動きと和泉(2) 井田 寿邦
鳥取自動車旅行の思い出(3) 仲谷 栄一
岡本町歴史散策(8)
浄音寺の話(2) 立石 元
新刊 連続講座報告集『今、明らかになる泉州・紀北の戦国時代』
泉佐野の歴史と今を知る会編
◇365 2018.5 B5 12p
日根荘と紀伊国池田荘一『七宝滝
寺縁起』の撰師「紀伊州池田庄
山田某」 廣田 浩治

室町幕府中枢の動きと和泉(3) 井田 寿邦
鳥取自動車旅行の思い出(4) 仲谷 栄一
岡本町歴史散策(9)
浄音寺の話(3) 立石 元
◇366 2018.6 B5 12p
滝畑報告(6) 水を奪う産廃処分場
を申請一未解決課題山積みの環
境影響調査 事務局
鳥取自動車旅行の思い出(5) 仲谷 栄一
岡本町歴史散策(10)
浄音寺の話(4) 立石 元
室町幕府中枢の動きと和泉(4) 井田 寿邦

◆大阪歴史懇談会会報
〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンテ
ィークショップ一兵内 TEL06-6931-1081
年5000円 1984年創刊
osakarekikon.cocolog-nifty.com
◇403 (35-3) 2018.3 B5 8p
巻頭言 神のおやしろのこと(28)
御霊神社(3) 和久 敦也
平成30年2月例会報告(第378回)
「漂流史話」一漂流から見た日本
人の知恵(古代編②) 片倉穰氏
(報告・寺井)
ブック・インフォメーション 会
員の書評 「八甲田山 消され
た真実」(伊藤薫著 山と溪谷
社) 加藤 照也
◇404 (35-4) 2018.4 B5 8p
巻頭言 神のおやしろのこと(29)
御霊神社(4) 和久 敦也
平成30年3月例会報告(第379回)
「南満州鉄道株式会社の研究」
一社会経済史の側面から見た
加藤照也氏 (報告・朝山)
ブック・インフォメーション 会
員の書評 「「維新革命」への道」

—「文明」を求めた十九世紀日本（苅部直 新潮選書） 加藤 照也
 ◇405 (35-5) 2018.5 B5 8p
 巻頭言 神のおやしらのこと (30)
 坐摩神社 和久 敦也
 平成30年4月例会報告 (第380回)
 「古文書・古書籍調査と屏風の
 下張剥がし」—打出親王寺を例
 として 寺井正文氏 (報告・寺井)
 会員講座・第27回 「地図で見る
 大阪Ⅱ」 和久敦也氏 (報告・井川)
 追悼 元会長 横山高治氏を悼む
 ブック・インフォメーション 会
 員の書評 「戦国武将を育てた
 禅僧たち」—「文明」を求めた
 十九世紀日本（小和田哲男著
 新潮選書） 加藤 照也
 ◇406 (35-5) 2018.6 B5 8p
 巻頭言 神のおやしらのこと (31)
 坐摩神社 (2) 和久 敦也
 会員の書評 「将軍・執権・連署」
 —鎌倉幕府権力を考える（日本
 史史料研究会編 吉川弘文館）加藤 照也
 平成30年5月例会報告 (第381回)
 「大塩平八郎の乱—一八〇年—」大
 塩平八郎と水野忠邦 藪田貫氏
 (報告・磯崎)
 平成30年春の見学会 「春の御堂
 筋を歩く」 案内人（見学部会）
 ：白須一信・和久敦也 (報告・和久)

◆大塩研究 大塩事件研究会
 〒530-0053大阪市北区末広町1-7
 成正寺内 TEL06-6361-6212 1976年創刊
 ◇78 2018.2 A5 98p
 講演録
 日本の近世社会と民衆運動 谷山 正道
 大塩と私 (21) 映像作家島田耕作

氏に聞く
 聞き手 藪田貫・内田正雄・山崎弘義
 はじめての隠岐行
 —西村常太郎の足跡を訪ねて 藪田 貫
 野坂昭如「火垂るの墓」記念碑建
 立にむけて 二宮 一郎
 学びと出会い 保田 恒雄
 資料翻刻「難波美家解」(4)
 大塩の乱関係資料を読む部会
 大塩ゆかりの地を訪ねて (8) 「能
 勢騒動—山田屋大助が辿った跡」
 内田 正雄

◆家系研究 家系研究協議会
 〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家
 1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921
 年5000円 1981年創刊
 www.geocities.jp/kakenkyou/
 ◇65 2018.4 B5 122p 1500円
 犬飼・イヌカイ氏の発生と分布 宝賀 寿男
 全国安原氏出自総覧 (2) 安原 繁俊
 珍姓のルーツ (30) 中田みのる
 曾祖父梶原幾太郎がもらった褒状
 —剃刀鍛冶の誇り 安居 隆行
 由利楠氏の研究 (上) 岡田 有史
 比留間氏のあゆみ—様々な記録に
 残る比留間氏編 比留間和憲
 薩摩刀匠 浪平正国一千年秘話
 刀鍛冶の里 (9-1) 浪平 博司
 表紙家紋「抱き菊の葉に菊」 馬原 浩一

◆家系研究協議会会報
 〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家
 1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921
 年5000円 2002年創刊
 www.geocities.jp/kakenkyou/
 ◇64 2018.4 B5 8p
 応仁の乱ブーム 馬原 浩一

家系研究協議会 平成29年度 冬
 の例会報告「趣味の家系研究で
 見えてきたこと (Part2) ～どこ
 の誰かを知りたいという家の家
 系調査」 富田茂氏 (馬原)
 珍名さんいらっしゃい
 番外編その2 馬原 浩一

◆河内長野市郷土研究会誌
 〒586-0032大阪府河内長野市栄町21-11
 楢本進方 TEL0721-52-3394
 年3000円 1979年創刊
 ◇60 2018.4 B5 102p
 山を守る 松尾巴留美
 郷土研究会の昭和40年発行の
 「ながの古寺」について 松本弘 (裕之)
 気になること 浅井 五郎
 品種錦織 (郡) 柿・〔ニシキゴオリ
 (にしこ)〕について 松本弘 (裕之)
 西行法師 井上 元良
 伊勢大神楽について 松本弘 (裕之)
 地域巡礼「河内国廿四ヶ所本尊地
 蔵菩薩靈場」考 (1) 楢本 進
 夏休み子ども体験教室・8月5日
 (キックス) 文責・井上元良
 河内長野市郷土研究会会誌60号の
 あゆみ 河内長野市郷土研究会編



*河内長野市郷土研究会は1963年の創立で、
 5年後の1968年に会誌を創刊し、60号を重ねた。
 創刊から9号まではガリ版刷りであったという。
 会則には、「河内長野市を中心とした歴史及び地理について調査研究を行ない、その社会的変遷と史実を明らかにし、文化財の保護顕彰に力を尽し、あわせて会員相互の教養を高め、親睦をはかることを目的とする」とある。研究会は創立時から共同調査 (委託調査を含む)、調査方法 (現地調査、技術講習) の学習、見学会と月一回の例会を続けている。また、『十三佛について』 (1973年)、『「知ったりまっか？」河内長野』 (2014年) など29冊の冊子・資料も刊行している。井上元良「夏休み子供体験教室・八月五日—キックス」は、「今の河内長野 昔の河内長野三十ハケ村」をテーマに、子供たちに地図を仕上げてもらうもので、企画、準備段階から当日の感想までを記録したものである。3名の参加しかなく、小学低学年生には無理があったことなども率直に記している。こうした取り組みは大切なことであり、今回の反省点を生かして、是非続けていって欲しい。巻末に60号のあゆみとして巻別の記事一覧と、同会刊行の冊子・資料・テキストの一覧が付されている。

◆近畿文化 近畿文化会
 〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13
 上本町YUFURA 7階
 TEL06-6775-3686 年2200円
 ◇820 2018.3 A4 8p 300円
 洛西の仏像 (3) 地藏寺／光福寺
 ／阿弥陀寺／大原野神社／正法
 寺／勝持寺／宝菩提院願徳寺 関根 俊一
 荒木村重の戦跡をめぐる 天野 忠幸
 ◇821 2018.4 A4 8p 300円
 旧大和川を歩く (2)

一付け替え運動の変質 安村 俊史
伊勢参宮街道を訪ねて(3)
一上街道と沿道の太神宮燈籠 来村多加史
◇822 2018.5 A4 10p 300円
開業一二〇周年を迎えた南河内へ
の鉄路—近鉄最古の路線の鉄道
構造物 石田 成年
伊勢の縄文遺跡と朱の生産 松田 真一
◇823 2018.6 A4 10p 300円
元興寺と奈良町の寺院 狭川 真一
高取・大淀の仏像 神田 雅章

◆近畿民俗 近畿民俗学会
〒569-0055大阪府高槻市西冠2-5-5
伊藤廣之方 TEL072-661-0873
年5000円 1949年創刊
◇184 2018.3 A5 68p
草を結んでシルシをつくる民俗(1)
土井美生子
被災した集落遺産のその後—鳥取
県中部地震による倒壊後の金毘
羅燈籠を例に 白石太良／米原俊一
十三仏発生源論—十王から十三
仏への展開について 奥村 隆彦
三村幸一撮影写真のなかの近畿民
俗学会 澤井 浩一

◆堺研究 堺市立中央図書館
〒590-0801堺市堺区大仙中町18-1
堺市立中央図書館総務課図書館サービス係
TEL072-244-3833
◇40 2018.3 A5 89+7p 660円
表紙解説 『堺名所 妙国寺祥雲
寺臥竜松 宝珠院義士ノ墓』
堺市立中央図書館蔵
大岡昇平「堺港攘夷始末」論—森
鷗外「堺事件」への批正、歴史
表象の困難性 中川 智寛

寺子屋清光堂の自筆往来物につい
て(続編1)—堺市博物館保管
「清学院文書」から 和田 充弘
堺市立中央図書館所蔵古文書調査
概要(平成29年度)
『堺研究』第1号～第40号 総目次

◆城だより 日本古城友の会
〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28
平川大輔方 TEL06-6652-4511
web1.kcn.jp/kojyo_tomonokai/
◇591 2018.3 B5 22p
2月・第652回例会の報告 大和
高取城を訪ねて 担当幹事：中
西徹・平川大輔 報告・中西徹
大和郡山城天守台の講演を聞いて
高菅 純子
波多氏の城・波多城と岸岳城 川端 義憲
別冊 第653回例会 平成30(2018)
年3月4日 紀伊 手取城を訪ね
て 担当幹事：川端義憲・坂本
昇
◇592 2018.4 B5 22p
3月・第653回例会の報告 紀伊
手取城を訪ねて 担当幹事：川
端義憲・坂本昇 報告・川端義憲
沖縄のグスクを訪ねて・1 川端 義憲
別冊 第654回例会 平成30(2018)
年4月1日 丹波黒井城を訪ねて
担当幹事：水品弘樹・藪西旭
◇593 2018.5 B5 24p
4月・第654回例会の報告 丹波
黒井城を訪ねて 担当幹事：水
品弘樹・藪西旭 報告・水品弘樹
沖縄のグスクを訪ねて(2) 浦添
城／中城城／島添大里城／糸数
グスク 川端 義憲
名護屋城周辺の陣跡を訪ねる 木下 修二

別冊 第655回例会 平成30(2018)
年5月13日 河内 上赤坂城を訪
ねて 担当幹事：川井剛・川端
義憲
◇594 2018.6 B5 26p
5月・第655回例会の報告 河内
上赤坂城を訪ねて 担当幹事：
川井 剛・川端義憲 報告・川端義憲
諏訪・高遠のお城(1) 的場城跡
／高遠城跡／殿島城跡／春日城
跡／干沢城跡／上原城跡／桑原
城跡 高菅純子／作図・川端義憲
沖縄のグスクを訪ねて(3) 玉城
グスク／垣花グスク／知念グス
ク／具志川グスク／首里城 川端 義憲
別冊 第656回例会 平成30(2018)
年6月3日 近江 膳所城と移築
門を探访 担当幹事：小川実・
藪西旭

◆つどい 豊中歴史同好会
〒560-0054大阪府豊中市桜の町4-6-27-208
小川滋方 月1000円 1988年創刊
homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/
◇362 2018.3 B5 18p
装飾古墳にみる有力首長層の動向
—装飾文様の出現と展開
北九州市芸術文化振興財団学芸員 宇野慎敏
梅宮大社初詣と京都都原周辺の遺
跡を訪ねる 小川 滋
◇363 2018.4 B5 20p
補訂・景初三年六月の倭女王の遣
使について 塚口 義信
◇364 2018.5 B5 14p
『日本書紀』の争乱と考古学から
みた争乱(前) 西川 寿勝
宝塚巡礼街道周辺の古墳と社寺を
訪ねる 菅田 隆久

◇365 2018.6 B5 16p
『日本書紀』の争乱と考古学から
みた争乱(後) 西川 寿勝
斑鳩町の遺跡を訪ねて 加藤 豊子

◆ヒストリア 大阪歴史学会
〒564-8680大阪府吹田市山手町3-3-35
関西大学文学部 井上研究室気付 1951年
創刊 www.historia-osaka.on.arena.ne.jp
◇267 2018.4 A5 130p 900円
昭和戦前期における海軍協会の宣
伝活動と海軍志願兵徴募 木村 美幸
九世紀における文人の国司任官
—菅原道真の讃岐守任官を手が
かりに 二星 潤
後白河院の山科御所と源頼朝 細川 涼一
明治前期大和国分県運動の展開と
その特質—立憲改憲党との関わ
りを中心に 津熊 一成
わたしたちの文化財 和田文書 渋谷 一成
地域の歴史を守り伝える 尼崎市
立地域研究史料館でのボランテ
ィア作業 城戸八千代／河野未央
書評 小西瑞恵著『日本中世の民
衆・都市・農村』 徳満 悠
新刊紹介 大津透・池田尚隆編『藤
原道長事典—御堂関白記からみ
る貴族社会』 堀井佳代子
報告
第四回全国史料ネット研究交流
集会 企画委員会
四条塚山古墳の立入り観察 岸本 直文
二・一―集会の記録 藤田 裕介
ピースおおさか展示リニューアル
ル続報(15) 展示の改善を求
める運動を進める 文責・横山篤夫

◆枚方市史年報

枚方市教育委員会文化財課市史資料室
〒573-1159大阪府枚方市車塚2-1-1
枚方市立中央図書館内 TEL050-7105-8154
1996年創刊
◇20 2018.3 B5 68p
触の書き留められた方
一触書帳論の試み 村田 路人
百済王氏と古代王権 古市 晃
鋳物師田中家と枚方宿の酒屋「金
屋」の関係について 酒匂由紀子
史料紹介
精華町にのこる「乍恐容鉢書」片山 正彦
枚方市史年報 研究紀要総目次

◆歴史考古学 歴史考古学研究会

〒580-0042大阪府松原市松ヶ丘2-12-16
奥村隆彦方 TEL072-331-6679
年3000円 1978年創刊
◇75 2018.2 B5 78p
歴史考古学研究会会則
鳥邊山本壽寺の建築 城光寺文章
京都府の石造拾遺 篠原 良吉
信州の不食供養について 奥村 隆彦
印版の仏塔—小仏塔の世界(4) 田村 信成
板碑研究における自伝的随想 縣 敏夫

◆あわじ 淡路地方史研究会

〒656-2334兵庫県淡路市釜口2394-35
海部伸雄方 TEL0799-74-5810 年6000円
1984年創刊
◇35 2018.2 B5 124p
会長就任にあたって 海部 伸雄
会長退任にあたって 武田 信一
大和政権と淡国国造(2) 武田 信一
江戸時代、淡路国佐野村・興隆寺
村 村人の旅と渡海船 海部 伸雄
淡路二郡の天正指出検地について

一考察 北山 學
「ええじゃないか」に想う 五島 清弘
湊地区地蔵めぐり 堀部るみ子
淡路島の石の文化 永田 誠吾
関東大震災の復興計画での後藤新
平と永田秀次郎 大江 恒雄
江戸時代の地誌に見る淡路島の銅
鐸について 定本 義広
春の研修旅行報告 佐用郡佐用町
(瑠璃寺・三日月藩乃井野陣屋
館・平福) 海部 伸雄
秋の研修旅行報告
奈良県大和郡山市周辺 近藤 邦子

◆会報むろのつ 「嶋屋」友の会

〒671-1332兵庫県たつの市御津町室津457
たつの市立室津海駅館内 TEL079-324-0595
年3000円 1997年創刊
www.maple.or.jp/~shimaya/
◇24 2018.2 B5 44p
誌上ギャラリー
氣比の男 2016年 50号 椿野 浩二
誌上インタビュー
普遍的価値の思想 西村 幸夫
《特集 世界遺産》
瀬戸内海のみなとまちと朝鮮通信
使 戸田 常一
日本の世界遺産と観光 中尾 清
朝鮮通信使 ユネスコ「世界の記
憶」登録 町田 一仁
世界遺産について 編集部
水で繋がれた歴史の中で(10)
『応永十一年の瀬戸内海』 岩井 忠彦
播磨の10人(4) 赤松則村(円応) 千田 草介
町並み探訪(24) 鯉沢 八木 雅夫
博物館遊歩(24) 姫路城 柏山 泰訓
広告世相史 「和牛」 一言居士
絵本 朝鮮通信使(3)

絵・綱本武雄／文・柏山泰訓
表紙写真の説明 朝鮮通信使行列
人形(たつの市教育委員会蔵) 柏山 泰訓

◆嶋屋友の会だより 「嶋屋」友の会

〒671-1332兵庫県たつの市御津町室津457
たつの市立室津海駅館内 TEL079-324-0595
年3000円 www.muro-shimaya.jp
◇63 2018.2 A4 4p
特別展「『播磨の朝鮮通信使』案
内」開催／現地見学会「現代ア
ートの島・犬島を歩く」募集
企画展「アートから地域共創へ
デカルコマニー」案内／現地見
学会「横山のチャンチャコ踊り
を見る」実施
室津よもやま話(29)
朝鮮通信使と室津(2) 柏山 泰訓
カタカナ語あれこれ チャージ 柏山 泰訓
かえりみち 「世界の記憶」登録
朝鮮通信使と播磨 新宮 義哲

◆史料ネット NEWS LETTER

歴史資料ネットワーク
〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1
神戸大学文学部内 TEL078-803-5565
年1000円 siryo-net.jp
◇87 2018.5 A4 12p
巻頭言
被災地・地域社会と向き合う 永野 弘明
親王寺所蔵資料の総合調査—古文
書整理・掛け軸調査・屏風の下
張り—isがし作業 河野 未央
第4回全国史料ネット研究交流集
会・岡山
第4回全国史料ネット交流集会
を終えて 上村 和史
第4回全国史料ネット交流集会

に参加して 中尾喜代美
第4回全国史料ネット交流集会
参加記 寺内 愛
第4回全国史料ネット交流集会
参加記 東野 将伸
被災史料の応急処置ワークショッ
プ 加藤 明恵
震災資料展「阪神・淡路大震災と
地域の復興」大木本美通さん
のまなざしに触れて—震災を知
らない世代として 跡部 史浩

◆生活文化史 史料館だより

神戸深江生活文化史料館
〒658-0021神戸市東灘区深江本町3-5-7
TEL078-453-4980 1981年創刊
fukae-museum.la.coocan.jp
◇46 2018.3 B5 24p
丹波哲郎の曾祖父と種痘を広めた
深山玄石 大国 正美
嘉納治五郎と東灘 道谷 卓
深江にあった戦争(1) 第1話「こ
の仇はとってやる」、第2話「深
江に戻ってみれば」 深 江 塾
(文責・森口健一／修正・大国正美)
深江物語(8) 唱歌「春の小川」
「故郷」を思わせる風景 森口 健一
図書室サービスコーナーと児童館
分館設置 史料館
博物館実習とトライやるウィーク 史料館

◆摂播歴史研究 摂播歴史研究会

〒676-0004兵庫県高砂市荒井町千鳥2-23-12
TEL079-442-0658 1986年創刊
◇75 2018.3 B5 8p
式内社研究の今日的意義と課題 清水 潔
史料紹介 荒井神社・浜宮天神社

の「氏子札」について 廣瀬 明正

◆西宮文化協会会報

〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17

西宮神社内 TEL0798-33-0321

nishinomiya-ebisu.com/bunkyo/

◇600 2018.3 B5 8p

安政銀目私札の西宮取次引替所八

馬喜兵衛 藤田卯三郎

香櫛園浜・御前浜今昔物語(5)

香櫛園の町と文化施設 村岡 和繁

「西宮」保存箱、玉手箱(51) 市

民会館一情報公開課資料より 豊田 みか

平成29年度 会報総目次

◇601 2018.4 B5 8p

甲山をえがく『摂津名所図会』 土井久美子

能楽解体新書(1)

鏡板(かがみいた) 森村 暁子

エビスカキ道中記(1) 出雲糸繰

り人形の復活上演に競演 武地 秀実

「西宮」保存箱、玉手箱(52) 水道

庁舎の地一情報公開課資料より

豊田 みか

N P O法人神戸外国人居留地研究

会事務局長 高木應光氏大いに

語る 江寄健一郎

◇602 2018.5 B5 8p

エビスカキ道中記(2) 人形浄瑠

璃の源流「えびすかき」を故郷

の誇りに 6月2日開催 第10回

西宮・浜脇のふるさとづくり～

えびすかきから人形浄瑠璃へ 武地 秀実

「西宮」保存箱、玉手箱(53)

武徳殿一情報公開課資料より 豊田 みか

西宮文化協会3月行事 フジッコ

(株)鳴尾工場見学会探訪記 江寄健一郎

◇603 2018.6 B5 8p

西宮能楽堂見学観劇会の誘い 森村 暁子

「西宮」保存箱、玉手箱(54) 国

鉄西宮駅一情報公開課資料より

豊田 みか

西宮文化協会四月行事、記念講演

会 辰馬章夫氏、辰馬酒造取締役

役相談役大いに語る 江寄健一郎

◆年報香寺町の歴史

香寺町史研究室（発行： 香寺歴史研究会）

〒679-2131兵庫県姫路市香寺町大飼464-1

大飼公民館別館 TEL079-280-6665

◇12 2018.3 B5 58p

《特集 『村の記憶』を書き継ぐ》

ムラの生活史

大飼地区矢田部川の改修 金沢 忠義

第4回フォーラム「大字誌をつくる」

基調講演「住民主体の〈地域史

づくり〉」 木村 修二

研究発表

恒屋川と暮らし 高田 雅勝

七郎兵衛と西池 小川 啓二

大飼の運動会の歴史 金井 貞文

『村の記憶』を書き継ぐ会

書き継ぐ会の発足 大槻 守

書き継ぐ会に参加して

I 地域の歴史文化を書き継ぐ

高田雅勝／金井貞文／金井静男

高田忠義／小川啓二／神崎茂樹

II 書き上げて思うこと

神崎修／尾崎恭子／明星明秀

小原康彦／駒田新安

書き継ぐ会の記録

歴史研究会活動報告

定期総会の開催 講演「須加院

御紙漉所と姫路藩御用紙」 宇那木隆司

研修旅行の実施一京都府綾部市

と兵庫県丹波市を訪ねて 駒田 新安

町内巡検の記録 香呂地区

町内巡検依頼を受けて 駒田 忠良

巡検実施に向けて 市場 正行

巡検に参加して 大塚 正宏

レポート

第16回歴史文化をめぐる地域連

携協議会に参加して 神崎 茂樹

二之宮神社の注連縄 高田 忠義

町史を歩く：秋の町内文化財め

ぐりハイキングに参加して 小原ひさよ

大字誌『文献で読む 溝口の歴

史』 鎌谷 博善

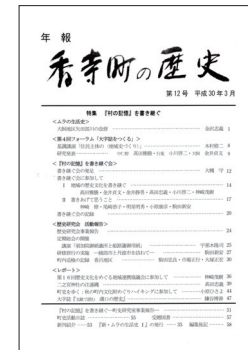
『村の記憶』を書き継ぐ

一町史研究室事業報告

新刊紹介 奥村弘・村井良介・木

村修二編『地域歴史遺産と現代

社会』を読んで (大槻)



＊兵庫県神崎郡の香寺町は、2005年に『香寺町史 村の記憶』地域編、資料編を刊行した後、2006年に姫路市に編入合併された。しかし、町史編さん事業は継続し、2009年に『香寺町史 村の歴史』通史資料編、2011年に『同』通史編を刊行した。このことも異例と思われるが、町史に先立つ調査報告書などで『ムラの暮らし』、『ムラの生活史』と題するなど、「村」「ムラ」を意識的に掲げている点においても特異な自治体史といえよう。それは、柳田国男の『郷土生活の研究法』に学び、

古来人びとは地域を“ムラ”と呼んできた事実があり、そこにこそ「地域に生きた人々の生活構築史の歴史」があるからだ、と、香寺町史研究室の大槻守氏は述べている（『近世の村の暮らし』『福崎町文化』28 2012.3）。『香寺町史 村の記憶』は、町民130人が自らの生活史を執筆したもので、自治体史編さんの在り方に大きな一石を投じた。

町史編さん事業終了後も本年報を創刊して活動を継続してきたが、2017年には、地元の連合自治会と協働で「『村の記憶』を語りつぐ会」を発足させ、本年2月、『新・ムラの生活史Ⅰ』を刊行した（89頁「寄贈図書紹介」参照）。合併により地域のアイデンティティが喪失する危機感から、大字誌編さんの機運が高まり、住民自身の手で既に5地域で刊行されているという。会の趣旨は次のように謳われている。「村には文書以外にも代々伝えられてきた物語がある。かつては親から子、子から孫へと伝えられたのだが、今ではこの伝える力が衰退しつつある。こうした過去との断絶をもたらしかねない事態に危機感を抱く人たちがもう一度『村の記憶』を書き継ぐことで、地域を見直しこれからの地域づくりに生かしていきたい」。地域で暮らすとはこういうことなのだと感じさせられた。

◆歴史と神戸 神戸史学会

〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4

田中印刷出版内 TEL078-871-0551

年3000円 1962年創刊

◇326 (57-1) 2018.2 A5 49p 600円

《特集 神戸開港150周年特集》

兵庫開港決定へのみちのり

一開港一五〇年によせて 小野田一幸

神戸明治天皇御用邸余話

一御用邸と福原遊郭 楠本 利夫

地域から 宝塚市山本の場合 古

絵図展と特別名誉市民「木接太夫」記念事業 藤本 清志
◇327 (57-2) 2018.4 A5 49p 600円
《特集 ひょうごの近現代教育史》
小学校の夏休み成立過程の考察
一兵庫県小学校の休業日の始まりについて 吉原 正人
高度経済成長期の子どもの交通安全指導—神戸市方面教育の活動を手がかりに 鳥居 和代
横溝正史『悪魔の手毬唄』
鬼首村を推理する(前編) 渋谷 武弘
神戸の国登録有形文化財「松尾ビル」忘れられた大正期の百貨店・小橋屋呉服店 大国 正美

◆鳩 遊 斑鳩を古文書で歩く会
中央公民館・二階研修室(龍田南2-2-43)
◇12 2018.4 A4 69p
《「斑鳩を古文書で歩く会」平成28年度報告書》
巻頭言 通巻第十二号を迎えて
力作寸評 河野 昭昌
古文書解説
『斑鳩古文書選 上』『慶玄書状』
一鎌倉時代 書状 寺内間書状 書留文言 河野 昭昌
天理図書館蔵「法隆寺関係文書」四通—平群郡坂門郷八条九里十七坪の内、田地一反の沽却状 鬼塚 重則
「平群郡坂戸郷八条九里十七坪」を巡る沽却状 松本 孝裕
法隆寺の地藏信仰—「弥陀如来宣言」「地藏請文」及び「地藏菩薩請文案等」を読み当時の地藏信仰を考えてみる 野中 智子
神葬祭の展開に関する追加調査
一奈良大学卒業論文での研究に

ついて 横山 誠
伝承に魅せられて—竹林院事(目安里と春日神社) 片岡 宏子
『南北朝期 法隆寺雜記』追考2 河野 昭昌
各時代における年貢米(租)の形状、重量・容量の変化について 鬼塚 重則
有職故実について 今村 實
「春日社」見学の記 横山誠／磯田真理／片岡宏子／松本孝裕
創作「僧 元佑」 足立 恵子
「斑鳩を古文書で歩く会」に参加して 今村 實
「平成二十八年度公民館まつり」参観者記録

◆水平社博物館研究紀要

〒639-2244奈良県御所市柏原235-2
TEL0745-62-5588 1999年創刊
www1.mahoroba.ne.jp/~suihei/
◇20 2018.3 A5 88p 1000円
朝鮮の被差別民「白丁」と水平運動—水平運動との交流の意義と問題点 水野 直樹
何故に差別裁判かの解明こそが最大の課題—高松結婚差別裁判所関係史料の紹介にあたって 朝治 武
史料紹介 高松結婚差別裁判関係史料「結婚誘拐事件記録」1933年7月、全国水平社総本部謄写(水平社博物館蔵)／「第九十回帝国議会衆議院帝国憲法改正案委員会議録」(速記)第十四回」1946年7月16日(帝国議会会議録検索システム)

◆奈良学研究 奈良学学会

〒631-8501奈良県奈良市帝塚山7-1-1
帝塚山大学奈良学総合文化研究所

TEL0742-48-8842 1997年創刊
◇20 2018.2 A5 129p
南都の晩秋から初冬の歳時記 赤田 光男
阿弥陀十一尊来迎図について
一安堵町の遺品を中心に 関根 俊一
五條からみた近世 岩井 洋
平安朝廷の宮中祭祀と漢国神社 伊藤 純
有井山家文書にみる明治維新期における翁座の動向 高田 照世
峰定寺釈迦如来像研究史補遺—齋藤彦松氏の梵字・五輪塔研究を瞥見して 杉崎 貴英
帝塚山大学パリ特別講演 牟田口章人

◆奈良県立同和問題関係史料センター 研究紀要

〒630-8133奈良市大安寺1-23-1
TEL0742-64-1488 1994年創刊
◇22 2018.3 A5 102p
「村入り」と村人の「意識」—「奈良県民俗誌」を素材として 大西 誠
天文一向一揆と大和の地域社会 奥本 武裕
近世末期の大和神社と地域社会
一嘉永五年と慶応元年の争論を中心に 有本 有紀
能楽大倉家と墓石銘文 山川 均
中世大和における盲人集団の活動 山村 雅史

◆日本文化史研究 日本文化史学会

〒631-8501奈良県奈良市帝塚山7-1-1
帝塚山大学奈良学総合文化研究所
TEL0742-48-8842 1977年創刊
◇49 2018.3 A5 146p
南都の冬の歳時記 赤田 光男
地域と文化財の未来—「奈良学」の視点から地域の魅力発信を考える 関根 俊一

翁猿楽高安氏の活動 高田 照世
保田与重郎が書いた文字と見せた文字 伊藤 純
奈良時代の内匠寮の工匠 鷲森 浩幸
研究書誌 中世の生身仏／靈驗仏信仰とその周辺 杉崎 貴英
書誌・紹介 久留島典子・高橋則英・山家浩樹編『文化財としてのガラス乾板 視野心が紡ぎなおす歴史像』 服部 敦子

◆熊楠研究 南方熊楠顕彰会

〒646-0035和歌山県田辺市中屋敷町36
南方熊楠顕彰館内 TEL0739-26-9909
1999年創刊 www.minakata.org
◇12 2018.3 A5 255p 3000円
特集「燕石考」をどう読むか
南方曼荼羅論再考—燕石考に「名」を読み取る 大和 茂之
スワローストーンに至る諸多の因果の筋道—「燕石考」研究におけるパラダイム転換 中西 須美
南方熊楠の学問の方法と「燕石考」— Mill と Bain の論理学から学んだこと 嶋本 隆光
南方熊楠「燕石考」英文自筆草稿：新校訂英語原文および校異 田村義也／中西須美／松居竜五
南方熊楠及び柳田国男と「鎮守の森」—森神と神社合祀 武内 善信
和歌山県行幸記念自然博物館について 大和 茂之
紀州本草学者と南方熊楠
一本草学史上の学統 郷間 秀夫
南方熊楠と『民富邇言』—アメリカ滞在中のスポンサー関連資料として 築瀬ペーテル
資料紹介

南方熊楠書簡資料 野田浦弼、
土屋栄吉(昭和三年～十六年)
田村義也・岸本昌也編
海外メディアが見た南方熊楠
築瀬ペーテル
南方熊楠顕彰館に寄贈された小
畔四郎収集資料―主に変形菌
関係文献と解題 矢野 倫子
書評 志村真幸『日本犬の誕生―
純血と選別の日本近代史』 岩野 公美

◆熊野 紀南文化財研究会
〒646-0024和歌山県田辺市学園6-3
濱岸宏一方 TEL0739-25-0657
年3000円 1969年創刊
◇154 2018.5 A5 80p
特集 南方熊楠研究の多面的展開
南方熊楠の創造性と時代背景―
「南方曼陀羅」を中心として 雲藤 等
『歳暮録二則』の読み解き 南方
熊楠の1933～34年頃の生活 大和 茂之
新発見の南方熊楠の文章『一度に
七つ子』―昭和6年5月20日付
大阪毎日新聞から 田辺・南方熊楠字の会
南方熊楠翁の筆跡(1) 南方熊楠
著「屍愛について」―『変態心理
第十五巻第六号』発表への書き
入れ 宮本 恵司
史料紹介 中芳養村文書保存規定
河瀬 健太
中瀬喜陽先生を悼む 浅里耕一郎

◆熊野誌 熊野地方史研究会
〒647-0045和歌山県新宮市井の沢4-15
新宮市立図書館内 TEL0735-22-2284
1958年創刊
◇64 2018.3 B5 79p 1000円
峯尾節堂の生涯と思想 上山 慧

伊勢と熊野をつなぐ国阿上人 内山裕紀子
紀伊大島大字須江字赤崎小字瀧頭
二色の生物文化誌 梅本 信也
佐藤春夫と小泉八雲 白岩 昌和
万歳道一忘れられた御幸道 神保 圭志
熊野の伝統食「馴れ酢」 西嶋久美子
新宮水野家の家中借上ケについて
―『丹鶴日記から』 廣本 満
映画・映像フィルムにみる熊野
―昭和10・11年頃の風景から 松田 度
女性と熊野信仰 山崎 泰

◆熊歴情報 熊野歴史研究会
〒647-8555和歌山県新宮市春日1-1
新宮市役所商工観光課 山本殖生
TEL0735-23-3333 年3000円
◇209 2018.4 B5 2p
総会は6月2日(土)／研修講演会
「熊野のシン垣」と情報交換会
／歴史探訪スクール／熊野の歴
史をよむ会／熊野本宮大社創建
二千五十年記念行事／『熊野か
ら海神の宮へ』

◆高野山大学図書館紀要
〒648-0280和歌山県伊都郡高野町高野山
385 TEL0736-56-3835 1997年創刊
◇2 2018.3 B5 85+26p
E.A.ゴルドンと高野山景教碑 奥山 直司
即詠歌小考―藤六の逸話をよむ 下西 忠
漢訳語を通した仏教学の問題点
前谷彰(恵昭)
海洋交易路における密教の流伝
―ジャワ島からバリ島へ 松長 恵史
資料紹介 高野山大学図書館寄託
・金剛三昧院本『神璽内侍所事』
吉田 唯
高野山金剛三昧院寄託書『夜燈

供養表白』の紹介と翻刻 木下 浩良
◆国際熊野学会会報
〒647-8555和歌山県新宮市春日1-1 新宮市
教育委員会文化振興課 TEL0735-23-3368
年3000円 2005年創刊
◇29 2018.5 B5 4p
代表委員退任の御挨拶 林 雅彦
代表委員就任の御挨拶 山本 殖生

◆和歌山県立博物館だより
〒640-8137和歌山県和歌山市吹上1-4-14
TEL073-436-8670 1997年創刊
www.hakubutu.wakayama-c.ed.jp
◇23 2018.3 A4 4p
西行法師生誕九〇〇年記念 特別
展「西行―紀州に生まれ、紀州
をめぐる―」開催／特別展イベ
ント 連続講座「西行 再発
見！」西行学会大会
春特別展「紀州徳川家 やきもの
新時代―富国と栄華の一九世紀」
コーナー展示「南葵音楽文庫の貴
重資料」(連続12回)

中国・四国

◆鳥取県立公文書館研究紀要
〒680-0017鳥取県鳥取市尚徳町101
TEL0857-26-8160 2005年創刊
◇9 2018.3 A5 95p 500円
歴史的に重要な公文書・古文書の
保存と利活用とは 早川 和宏
残された戦時記録が語り出す
早川和宏／豊見山和美／喜多村理子
「鳥取県歴史公文書等保存条例」
の戦後アーカイブズ発達史にお
ける位置 柴田 知彰
山陰地方からの北海道移住

―山陰移住会社と鳥取(1) 伊藤 康
「昭和十八年 新聞紙処分簿」に
見る1943年鳥取地震と検閲 田中やよい

◆郷土石見
〒697-0017島根県浜田市原井町1023-9
森脇晋平方 1976年創刊
◇107 2018.5 A5 132p 1200円
表紙写真 火舟祭(十七夜)(邑智
郡邑南町矢上)
文・太田邦雄／写真・三浦幹雄
特集 これは「石州の抵抗」なの
だ―大元・石見神楽への理論と
愛着 俵 元昭
養光寺文書の翻刻と解説 中司 健一
石見銀山大盛時代の漁業と海運
(補遺Ⅰ)―銀を積出した幻の港
湾都市・宅野大浦港を検証する

児島 俊平
昭和拾年八月の葬儀の記録 渡邊 孝司
井戸平左衛門と四十二浦 関 和彦
柿本人麻呂と万葉集(6)
―その歴史学的考察 安達 肇
孤高の作家 田畑修一郎
―その詩の世界 高田 頼昌
海洋学者・丸川久俊の研究を読む
(1) 修学時代とカイアシ類研究

森脇 晋平
文芸 悪五郎物語 岩田 昇
郷里点描(5)―三保村上古市の祖
母の家での夕食 田中 寿朗
高野辻とその周辺の歴史や史跡な
どをめぐる 芦谷 英夫
石見神楽と榎の木 松原 和博

◆大社の史話 大社史話会
〒699-0751出雲市大社町杵築西2695-1
稲根克也方 TEL0853-53-4966 年2500円

1974年創刊 www.taisha-shiwa-kai.jp
 ◇194 2018.4 B5 44p
 大社から一記者が見たふるさと(2)
 神遷る 出雲大社 山崎 泰弘
 日本遺産「日が沈む聖地出雲」
 特集5 前近代の稲佐浜について 山崎 裕二
 特集6(本誌177号再掲)
 稲佐海水浴場の創設 石部 満
 半農半漁の生活史一赤塚聞き書き 岩成 俊策
 大社の石造物(9) 大乘妙典経塚 藤原 慧
 消えゆくもの(58)一出雲弁(灘こ
 とば) やゆよら 春木 芳子
 出雲の糸繰り人形の復活をめざし
 て一保存会発足から復活プレ上
 演まで
 出雲糸繰り人形保存会(文責・稲根克也)
 書籍紹介 いづも財団叢書 第四
 号『出雲大社門前町の発展と住
 人の生活』が発刊される! 梶谷 光弘
 企画展「隠岐の黒曜石」の紹介
 島根県立古代出雲歴史博物館
 手銭記念館の四季 出雲今昔Ⅱ
 江戸時代の旅行事情一さの子さ
 んの旅 佐々木杏里
 春季企画展 ふるさと今昔物語
 その1一佐田町 出雲弥生の森博物館

◆宇喜多家史談会会報
 〒700-0826岡山市北区磨屋町6-28
 光珍寺内 TEL086-222-2028
 年2000円 2002年創刊
 ◇66 2018.4 A4 10p
 宇喜多家史談会の更なる発展を 天野 勝昭
 明石掃部の実名を再考する 小川 博毅
 出史料『表方留』に見る加賀藩の
 八丈島支援一延享三年の送品事

例 大西 泰正
 物語直家記伝 西大寺辺の城
 第37回 姻戚(1) 山重十五郎
 会員サロン 宇喜多氏関連遺跡の
 写真展(11) 矢部 隆正

◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会
 〒704-8113岡山市東区西大寺上2-6-36
 村上岳方 TEL086-942-6156 年1500円
 1986年創刊
homepage3.nifty.com/okayama-chiho/chiho/c-main.htm
 ◇144 2018.4 B5 34p
 津山藩松平家の奥女中について 妻鹿 淳子
 池田綱政の初入国と光政 倉地 克直
 明治期、地方における女子修学に
 ついての一考察一山家文書を
 もとに 内池 昭子
 ひとこと 池田家文庫資料叢書3
 『御留帳評定書・下』の刊行

◆岡山の自然と文化 郷土文化講座から
 岡山県郷土文化財団
 〒700-0822岡山市北区表町1-7-15 702号
 TEL086-233-2505 1982年創刊
 ◇37 2018.3 A5 273p
 「恐竜発掘はいったい何の役に立
 つの」と問われて? 石垣 忍
 漱石ゆかりの岡山びと 池田 武彦
 岡山県の軽便鉄道 在間 宣久
 備前刀モノ語り 植野 哲也

第15回おかやま県民文化祭参加
 第7回おかやま文化フォーラ
 ム「近世の実像を求めて 史
 料の語る近世岡山」
 趣旨説明「小さな細部から大き
 な歴史へ」 倉地 克直
 事例発表「倉敷の町と大橋家一
 族」 山本 太郎

事例発表「村の記録と向き合う
 一和気郡豪農大森家の系図調
 査より」 森元 純一
 事例発表「武士社会に生きる一
 津山藩松平家文書の武士たち」
 尾島 治
 パネルディスカッション「近世
 の実像を求めて 史料が語る
 近世岡山」司会 倉地克直／パネラー
 山本太郎・森元純一・尾島治

◆岡山民俗学会会報
 〒703-8421岡山市中区高島新屋敷382-14
 難波俊成方 年4000円
okayamaminzokugakkai.web.fc2.com
 ◇220 2018.5 B5 16p
 計報 竹内平吉郎理事逝去
 問題提起 〈思い出すこと〉
 曾祖母と祖母と 次田 圭介
 みんぞく読書会 次田 圭介
 新刊紹介
 石原洋三著『たたかう木地師た
 ち一伯耆史の中の下蚊屋村一』
 次田 圭介
 立石憲利著『おかやまの炭焼き』
 次田 圭介
 11月例会発表要旨 『備中国風土
 記』(逸文)の中の宮瀬川一伊勢
 御神の社が伝えるもの 間野 行治

◆きび野 岡山県郷土文化財団
 〒700-0822岡山市北区表町1-7-15 702号
 TEL086-233-2505 www.o-bunka.or.jp
 ◇149 2018.4 A5 14p
 伝説の人、初平さん 池田 武彦
 岡山=吉備の文化と歴史の発信に
 山崎 泰二
 岡山の人物 伊木忠澄(三猿斎) 重根 弘和

岡山の自然 八丁畷の準平原面 下垣 豪
 岡山の文化財
 日本基督教団笠岡教会教会堂 横田 美香
 わが町・わが村の自慢
 倉敷市大山名人記念館(倉敷市)
 ふるさとの思い出 選定保存技術
 保存団体(木炭製造)伝統工芸木
 炭生産技術保存会
 会員だより 散歩 樋口 福松

◆倉敷の歴史 倉敷市総務局総務部総務課
 〒710-1398岡山県倉敷市真備町箭田1141-1
 総務課歴史資料整備室 TEL086-698-8151
 1991年創刊
www.city.kurashiki.okayama.jp/1438.htm
 ◇28 2018.3 A5 114p
 三市合併五〇周年記念特集
 平成29年度資料展示会 合併資
 料と写真でたどる 倉敷のあ
 ゆみ一語って下さい、あの頃
 のこと 大島 千鶴
 「倉敷市」50周年記念事業の記録
 市議会議員として体験した三市
 合併一新市発足五〇周年記念
 金谷 光夫
 福田貝塚の年代学的研究 遠部慎／加藤久雄
 米田穰／畑山智史
 難波抱節二男・難波西里について
 中山 薫
 史料群紹介 倉敷市所蔵備中国都
 宇郡下庄村難波家文書 山本 太郎
 アラカルト
 大仙市アーカイブズをみて 定兼 学
 新刊紹介 『大目附役日記 万延
 二辛酉歳改元文久』(上)・(下)
 ／八島和子・白神康文『たまし
 ま歴史百景』
 研究誌『倉敷の歴史』1～28号

◆芸備地方史研究 芸備地方史研究会
〒739-8522広島県東広島市鏡山1-2-3 広島
大学大学院文学研究科日本史学研究室内
TEL082-424-6643 年3000円 1953年創刊
hiroshima-u.ac.jp/geishi/
◇310・311 2018.4 A5 38p 1200円
講演 福山藩社会の展開—官僚制
と動員のプロジェクト 片岡 智
研究報告要旨
江戸末期の素盞鳴神社(天王寺)
拝殿等の再建 藤田 恒夫
駿州刺史狐山昌梅居士寿像賛并
序を読む 田口 義之
戦国末期の芸予交渉と能島村上
氏—天正十二年を中心に 大上 幹広
研究余録 伊賀大夫平知忠は備後
国大田荘にいたのか? 齋藤 拓海
動向 広島県の地方史研究
芸備掲示板
第26回企画展 戦艦「長門」と
日本海軍 呉市海事歴史科学館
収蔵文書展 遺された日記たち
が語ること 広島県立文書館
史跡をあるく
下岡田遺跡 文・写真 石田雅春

◆備陽史研究 備陽史探訪の会
〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
TEL084-953-6157 1982年創刊
bingo-history.net
◇26 2018.3 A4 72p
風雲の神辺城
—その築城から神辺合戦まで 田口 義之
中世栄えた城塞都市 深津
—深津高地を考える 瀬良 泰三
水野家時代福山城下明細地図 根岸 尚克
紀行文 東海道五十三次一人歩き
(草津宿から京都)一付 西国街

道「山陽道」歩き 岡田宏一郎

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会
〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
TEL084-953-6157 bingo-history.net
◇200 2018.3 A4 22p
支城から見た神辺城の勢力圏 田口 義之
草戸千軒の安全保障と興廢(1)—
草戸千軒 安全保障の仕組み 瀬良 泰三
近世福山の歴史講座 勝成入部時
の城山(常興寺山)の地形 高木 康彦
田口義之の備後山城50選(25) 備
後国府を望む木梨氏の城 淵上
城跡
備後百景 引野町宅部 山口 哲晶
備後史談 誠之舎について 根岸 尚克
例会報告 11月12日バス例会「炎
の陽明学者 山田方谷を学ぶ」
に参加して思うこと 岡田宏一郎
中世石造物の調査報告／山手銀山
城跡測量調査報告
大分便り 八三八年の遣唐使船航
海安全に寄せて 後藤 匡史
◇201 2018.5 A4 20p
福山市神辺町八尋 和名木城跡調
査報告 田口 義之
中世石造物の調査報告
インスタ萌え写真館
沈下橋(撮影場所:芦田川)
草戸千軒の安全保障と興廢(2)
—草戸千軒 興廢の歴史 瀬良 泰三
山手銀山城跡 測量調査報告 文責・杉本憲宏
近世福山の歴史講座 第一部
第一次干拓時代—正保期(1644
〜48) 高木 康彦
田口義之の備後山城50選(26)
独立丘陵に築かれた山城 翁山
城跡

現地説明会レポート
備中松山城の大池 嶋田 浩二
備後史談 鶴が橋 根岸 尚克
懐かし写真館 懐かしの昭和の松
永風景(1) 岡田宏一郎
郷土探訪 辻堂と道標の探索さん
ぼ(福山市東村町) 岡田宏一郎
辻堂百景(15) 福山市駅家町雨木
「田口阿弥陀堂」 秋山 由実
読者便り もう一つの浅野事件 後藤 匡史

◆広島民俗 広島民俗学会
〒731-0211広島市安佐北区三入1-26-24
岡崎環方 TEL082-818-3497 1974年創刊
fs-hiroshima.net
◇89 2018.3 A5 96p 700円
平成29年度総会・研究会 シンポ
ジウム「宮本常一誕生110年
宮本常一の見た広島」
コーディネイター・岡崎環
映画鑑賞「豊松歳時記」民族文
化映像研究所制作
あるく・みる・きく
—宮本常一が探ったもの 三村 泰臣
宮本常一と広島、そして瀬戸内
海の変化 佐田尾信作
民俗とドキュメンタリー映像 青原さとし
ディスカッション
特集 神田三亀男先生追悼
歩く見る聞く書く 藤井 昭
神田三亀男先生のこと 岡崎 環
民俗学者・歌人 神田三亀男さ
ん 佐田尾信作
神田三亀男先生の郷土食研究 印南 敏秀
神田三亀男先生の一読者として 高木 泰伸
歌集 棚田から 正本眞理子
福山神辺町三谷地区の安倍氏一族

について—陰陽師安倍清明の
“末裔”と備後の清明伝説 木下 琢啓
神石高原町油木鎮座の『亀鶴山八
幡神社』の神祇 佐伯 忠幸
民俗点描 事務局
書評 『広島県の動物供養碑 石
の生きものの語り』大丸秀士著 岡崎 環

◆みよし地方史 三次地方史研究会
〒729-4304広島県三次市三良坂町三良坂
2747 中畑和彦方 TEL0824-44-2753
1987年創刊
◇105 2018.4 A4 12p
近世三次町の商人形態推移につい
ての一考察 立畑 春夫
三次盆地の前方後円墳(14) 山家
第六号古墳・第一〇号古墳—調
査報告 加藤 光臣
ふるさとの花 セツブンソウ 桑田 健吾

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会
〒723-0051広島県三原市宮浦6-9-32
鈴木方 年3600円 FAX0848-63-9932
◇324 2018.3 B5 12p
今月の各地 梨羽城跡と梨羽氏 正兼 鐵夫
春のハイキング「宗郷谷めぐり」
ご案内 西村 雅章
三原の酒(完結編) 定森 總治
上月氏ゆかりの墓地探訪 上田 茂
◇325 2018.4 B5 12p
今月の各地 近ごろ思うこと 大坪 一夫
上月氏ゆかりの墓地探訪(完結編) 上田 茂
江戸時代後期の花鳥画における
“鳥”(1)—「御調八幡宮拝殿天井
の花鳥画」に描かれた野鳥の種
の判別をして 三好 邦範
◇326 2018.5 B5 12p

今月の各地 湧原川の思い出 行長 啓三
 春のハイキング感想文(1)
 春のハイキングを企画・準備し
 て 西村 雅幸
 レキカン春のハイキング
 宗郷谷めぐりに参加して 桧山 幸三
 春のハイキング「宗郷谷めぐり」
 に参加して 別所 朝己
 レキカン春のハイキング
 宗郷谷巡り 土居八重子
 江戸時代後期の花鳥画における
 “鳥”(2)―「御調八幡宮拝殿天井
 の花鳥画」に描かれた野鳥の種
 の判別をして 三好 邦範
 わが町三原 平成29年度目次
 ◇327 2018.6 B5 12p
 今月の各地 民家、古民家とは 三好 邦範
 平成30年度総会並びに記念講演会
 報告 鈴木 健次
 春のハイキング感想文(2)
 春のハイキングに参加して 田上 洋子
 春のハイキング「宗郷谷めぐり」
 に参加して 高杢 勉
 江戸時代後期の花鳥画における
 “鳥”(3)―「御調八幡宮拝殿天井
 の花鳥画」に描かれた野鳥の種
 の判別をして 三好 邦範

◆史 窓 徳島地方史研究会
 〒779-3233徳島県名西郡石井町石井字石井
 1071 金原祐樹方 TEL088-674-2806
 ◇48 2018.3 A5 113p 1389円
 中世後期の阿波国「大麻宮」と地
 域社会 福家 清司
 織田・長宗我部関係の形成過程を
 めぐる一考察―「香宗我部家伝
 証文」所収の織田信長・三好康
 長書状の分析を中心に 森脇 崇文

史料紹介
 中世石造物の信仰・流通に関す
 る一視点―神山町出土墨書板
 碑から 西本 沙織
 阿波国大麻宮関係史料の紹介 福家 清司
 史窓のひろば
 徳島地方史研究会 第39回公開
 研究大会 参加記 岡本 治代
 地方史研究協議会第68回(徳島)
 大会を終えて 福家 清司
 『地力』と地域社会―地方史研
 究協議会第68回(徳島)大会を
 振り返って 町田 哲
 徳島県地方史研究文献目録
 (2016年10月～2017年9月)

◆徳島県立博物館研究報告
 〒770-8070徳島市八万町向寺山 徳島県文
 化の森総合公園 TEL088-668-3636
 1991年創刊
 www.museum.tokushima-ec.ed.jp
 ◇28 2018.3 B5 117p
 徳島県域における縄文時代研究の
 現状と課題 湯浅 利彦
 恵解山古墳群の再検討―9号墳出
 土遺物と開発対応の記録から
 岩井顕彦／岡本治代
 『光格上皇修学院御幸儀仗図』を
 めぐる問題 大橋 俊雄
 小松島市現福寺所蔵 釈迦誕生仏
 の保存科学的調査 岡本和彦／植地岳彦

◆徳島県立博物館ニュース
 〒770-8070徳島市八万町向寺山
 徳島県文化の森総合公園 TEL088-668-3636
 1990年創刊
 www.museum.tokushima-ec.ed.jp
 ◇110 2018.3 A4 8p

表紙 鳴門堂浦のテグス行商 磯本 宏紀
 Culture Club 『光格上皇修学院
 御幸儀仗図』について―主題と
 筆者をしらべたのはだれか 大橋 俊雄
 平成30年度第1回企画展 阿波漁
 民ものがたり―海を渡り歩いた
 漁師たちの5つの話
 歴史散歩 「神代文字」?の石碑 湯浅 利彦
 野外博物館 モロッコ南東部の恐
 竜化石産地 辻野 泰之
 レファレンスQ&A ホウレンソ
 ウのおひたしが光るって本当で
 すか? 小川 誠

◆伊予史談 伊予史談会
 〒790-0007愛媛県松山市堀之内 愛媛県立
 図書館内 1915年創刊
 ◇389 2018.4 A5 45p 750円
 「亀森三島神社関係文書」と伊予
 市双海町の中世 萬井 良大
 国文学研究資料館蔵「徴古雜抄」
 伊予一・二の紹介 磯川いづみ
 湯築城跡 丘陵採集資料の紹介 神石 都
 文化財をたずねて 湯釜 松山市
 道後公園 昭和29年県指定有形
 文化財 編集部
 新刊紹介 四国中世史研究会編
 『四国中世史研究』第14号、愛
 媛県美術館編『生誕200年 沖
 冠岳と江戸絵画展』、愛媛県歴
 史文化博物館編『研究最前線
 四国遍路と愛媛の霊場』 編集部

◆四国遍路と世界の巡礼
 愛媛大学法文学部附属四国遍路・世界の巡
 礼研究センター 〒790-8577愛媛県松山市
 文京町3 TEL089-927-9312 2016年創刊
 henro.11.ehime-u.ac.jp

◇3 2018.3 A4 76p
 特集 四国遍路形成史論
 四国遍路の形成と修験道・山伏
 長谷川賢二
 四国遍路の形成をどう読み解く
 か―長谷川賢二氏の講演によ
 せて 川岡 勉
 中世四国における在地寺院の興
 亡と荘園制―遍路形成史論を
 視野に 守田 逸人
 近世後期の地域文化と四国遍路
 一阿波半田地域を事例に 西 聡子
 明治初期の遍路統制
 一根拠法令とその運用 中川 未来
 愛媛の道標石から見た四国遍路 今村 賢司
 四国遍路の後背地：〈周辺〉から
 見る大師信仰と巡礼ツーリズム
 門田 岳久
 古代ギリシアの「巡礼」―エレウ
 シスの秘儀入信を中心に 齋藤 貴弘
 中国・泰山巡礼をめぐる 高橋 弘臣

九州・沖縄

◆市史研究ふくおか
 福岡市博物館市史編さん室
 〒814-0001福岡市早良区百道浜3-1-1
 TEL092-845-5245 2005年創刊
 www.city.fukuoka.lg.jp/shishi/
 ◇13 2018.3 A4 124p
 《特集 遺跡からみた福岡の対外交流》
 遺跡からみた福岡の対外交流―西
 部の遺跡を中心として
 講演
 今山産伐採石斧の生産と領布の
 歴史的評価について 下條 信行
 今宿地区古墳群(今宿古墳群)と
 朝鮮半島 柳沢 一男
 報告

楽浪海中倭人あり 常松 幹雄
群使の往来 常に駐まる所なり 常松 幹雄
以て非常に備えよ 菅波 正人
パネルディスカッション 歴史書
の一節から福岡西部の遺跡のあり方を考える
下條信行／柳沢一男／常松幹雄
森本幹彦／菅波正人／小畑弘巳
北部九州における弥生時代開始期の穀物組成 小畑 弘巳
竈門山寺の最澄造立の檀像薬師 井形 進
正徳元年の朝鮮通信使と福岡藩 吉田 智史
民俗学とは何か 島村 恭則

◆太宰府市公文書館紀要 年報太宰府学
〒818-0110福岡県太宰府市御笠5-3-1
TEL092-921-2322 2007年創刊
dasaiju.mma.co.jp
◇12 2018.3 A4 88p
市民と文化遺産の防災減災―「太宰府市民遺産」から考える 本田 光子
古代官道水城西門ルートの再検証
一水城以北における平安時代の古代官道について 山村 信榮
在府期足利直冬政権の当知行安堵・闕所政策 山本隆一郎
資料目録
旧社会教育課永年文書細目録 1
中島家資料目録
資料紹介 太宰府天満宮蔵『御記録』慶応元年正月・二月分 朱雀 信城

◆末盧国 松浦史談会
〒847-0824佐賀県唐津市神田2118-1
TEL0955-73-3549 年2000円 1962年創刊
◇213 2018.3 B5 20p
飯田観音 木像観音菩薩立像

唐津市神田飯田観音堂 志佐 惲彦
追悼 祭城一子さん
弔 辞 山田 洋
祭城一子さんを悼む 志佐 惲彦
祭城一子さんを偲んで 嶺川 隆敏
「相知の人」 丸太 利實
故祭城一子先生との思いで 黒田 裕一
『有浦文書』について(2)
斑鳩氏のこと 青木 隆
漢学者柿村重松と久敬社 毛利 一幸
明治維新の佐賀と唐津
一戊辰戦争の真実(2) 中里 紀元
唐津・発掘・発見の話(1)
谷口古墳の発見について 徳富 則久
曳山鳳凰丸
「紗綾型文」の国際色 堀川 義英
考古学における地方史研究の成果
五、時代の証(5) 田馬 龍太
古文書史料 河野家文書のなかの
小笠原長国直書(抄録) 山田 洋
平成29年度郷土の歴史探訪(鳩川、相賀、湊、屋形石、赤木) 松本 和典

◆浜木綿 五島文化協会
〒853-0052長崎県五島市松山町604-10
筑田俊夫方 TEL0559-74-2667
◇105 2018.5 A5 108p
幕末一町人の算学―高祖父所蔵の
「和算書」に見る 内海 紀雄
京の片隅で(2) 伴 靖子
『沈黙』における救済の構造
一遠藤周作『沈黙』考 大坪 昇平
五島を通った遣唐使(最終回)
一遣唐使の終焉と五島 櫻井 隆

◆国見物語 国見町郷土史研究会
〒872-1401大分県国東市国見町伊美2300-1401 国東市教育委員会 国見分室

TEL0978-82-1115 年1000円 1981年創刊
◇37 2018.4 B5 88p 1000円
巻頭言 現代を記し、次世代に伝えよう 末綱 巖
国見町におけるグリーンツーリズムについて 田中 友昭
赤根畑地区の守護神・古幡社 末松洋一郎
外来文化の流入と日本の伝統文化・行事について 末綱 巖
図鑑「福澤諭吉の漢学系譜」について 寺川駿一郎
吉武律平が撰した文を集める(2)
グループ研究 田北・永井・行平・信原
平成二十九年の農と生態系 末綱 巖
千燈地区の史跡について 永井 輝生
大蔵姓小串氏の研究(17) 小串 信正
竹田津西村～高島線の峠に立つ道標 末綱 巖
天神社縁起に関して 信原 敏彦
天然痘の流行と平癒祈願 末綱 巖
百姓仕事で自然をつくる 宇根 豊
初詣一見て楽しもう門松
吉本義信／国広晃／行平幸司
コラム 古樹を訪ねる 伊美哲二
邸(新涯)の柵／古樹を訪ねる 伊美哲二邸(新涯)の柵

◆別府史談 別府史談会
〒874-0847大分県別府市馬場四組-1 伊藤 貞行 方 TEL0977-21-6391 年2500円
1987年創刊
◇30・31 2018.3 B5 178p
来るを拒まず 浅原健三
別府隠棲の日々 白土 康代
炉辺史話(10) 綱の鬼退治
豊後浄瑠璃 入江 秀利
別府の郷土史研究
『湯山の里』の風土記(1) 恒松 栖

別府市地域のオオイタサンシヨウ
ウオについて 掘 英樹
十日市長・永野清について 外山 健一
別府に没した“新しい女性”辛島キミ 三十年の生涯を追う 白土 康代
油屋熊八を深く知るための資料について 秦 広之
近代別府温泉の宿屋の様相と変遷
永野 康洋
横田稔少佐と日出生台 矢島 嗣久
瓜生島沈没伝説 淵 敏博
資料紹介 配電順位等級表 野崎 哲司
講演会講演要旨・資料
総会記念講演会
近世大分の風呂と温泉 豊田 寛三
大分の埋蔵文化財 後藤 一重
講演会
別府市所在の古墳について
一鷹塚古墳の発掘調査から 井 大樹
春季講演会(研究発表会)
史跡探訪レポート
平成28年度 別府史談会
市内史跡探訪記録(公会堂) 矢島 嗣久
別府史談会 県外史跡探訪(長崎、平戸) 外山 健一
平成29年度 別府史談会
市内史跡見学会(浜脇) 矢島 嗣久
史跡探訪感想文
県外(長崎) 清原明／吉本桂三／岡部光瑞
市内 藤内宣洋／石川学／猿渡久子／吉本桂三
市外 石川学／右田幸平
30周年事業報告 別府史談会 30
周年記念事業の概要 記念事業のあゆみ報告 恒松 栖

◆石の証言 「八紘一字」の塔を考える会
〒880-0026宮崎市波島2-30-2 佐藤文則方

年2000円 1995年創刊
<https://hakkouitiunotou.jimdo.com>
 ◇83 2018.3 A4 10p
 石の証言 北米加州日本人会 花
 崗岩 65×45 アメリカ カリ
 フォルニア州ビクタービル
 日中友好運動懇談会と宮崎市議・
 県議との懇談会 (追立)
 トピックス 戦争遺産を考える
 「戦争資料保存対策を」高知県
 議会で塚地佐智県議が知事に提
 案、要請。
 紀元二千六百年、「八紘一字」を
 問う 反骨のジャーナリスト
 桐生悠々(4) 野崎 眞公
 ◇84 2018.5 A4 8p
 石の証言 台中州教育会 45×60
 「母と子」塩月桃甫(とうは)
 明治改元(1868年)から150年 税田啓一郎
 安保法制違憲訴訟(陳述書) 津守 信弘
 鈴木素直さんを偲ぶ／映画「きけ、
 わだつみの声」「八紘一字」の塔を考える会
 ◆みやざき民俗 宮崎県民俗学会
 〒880-0211宮崎県宮崎市佐土原町下田島
 11858-7 崎田一郎方 年3000円
 1955年創刊 blog.goo.ne.jp/mzfolklore/
 ◇70 2018.3 B5 175p 2000円
 《記念号》
 表紙写真解説 「諸塚村七ツ山桂
 神社臼太鼓踊と秋の例大祭」
 文・写真 那賀教史
 移り変わる暮らしの文化 原田 解
 折口信夫の日向探訪 小川 直之
 日向の民衆宗教史断章 根井 淨
 小川神楽とその芸能—宮崎県児湯
 郡西米良村小川地区の神楽と
 神々 鹿児島大学旧基層文化系民俗

学研究室 小川地区民俗調査
 参加学生一同・徳丸亜木
 奥三河の民俗と宗教文化 西海 賢二
 トボスとしての夜神楽 亀澤 克憲
 宮崎の神楽「部屋の神」「磐石」
 「田の神」について考える 前田 博仁
 宮崎県の神楽—保存・継承の工夫
 野添 和洋
 宮崎の妖怪について 小山 博
 宮崎の清正公信仰に関する覚書 清水 芳見
 民俗芸能にみる故郷の心(1) 那賀 教史
 炭焼きにおける伝統の運搬用具
 一日向の山村での調査メモをも
 とに 地村 光広
 神々の里・日向の小戸の橘の阿波
 岐原——葉神社・江田神社をめ
 ぐって「石に聴く」櫓の歴史
 散歩(その三の3) 長宗我部光義
 宮崎神宮の「藤まつり」 黒岩 昭彦
 高千穂研究ノート「陣神内遺跡」 山崎 剛一
 中世城郭「清武城」研究の現状 秋成 雅博
 高千穂郷を天皇家直轄地とした
 「神領運動」を起こした勤皇家
 杉山健吾—早すぎた勤皇と運動
 の背景 安在 一夫
 「さんぶいち」という苗字の
 由来を飫肥林業地域の部分林制
 度に探る 図師 睦
 資料紹介 火除けのまじない 緒方 俊輔
 不遇の俳人 柏原和男—不遇に生
 まれ不遇に生き 遂に不遇に眠
 れり 然れども確実に勝利の人
 なり 佐藤 正信
 私なりの民俗学 大峰 恵子
 雑感 おこしさん 押川 周弘
 石に刻まれた先人達の偉業
 —舞野原の記念碑 甲斐 盛豊
 役員十七年間に感謝申し上げます

川辺 節義
 西郷隆盛は父の名だった 児玉 剛誠
 縁は奇なもの 崎田 一郎
 天ヶ崎歴史民俗資料館に勤務して
 清水 聡
 清武の山内山禪寺での坐禅会紹介 羽牟 昇次
 磯の名 松本 茂
 民具(農具)足踏み脱穀機 松本 広樹
 尾八重神社の祖霊祭 元水 均
 日向国飫肥藩近代化功労者 本山 隆義
 宮崎県の民俗研究の今後 渡邊 一弘
 地域が誇る文化遺産としての民俗
 芸能 山口 宏樹
 宮崎民俗学会会誌目録「みやざき
 民俗」53～69号目録
 ◆鹿児島民具 鹿児島民具学会
 〒895-0011鹿児島県川内市天辰町2365
 鹿児島純心女子大学附属博物館内
 年2500円 1980年創刊
 ◇30 2018.3 B5 110p
 《枕崎市特集号》
 表紙 枕崎市調査より「煮メゴ」
 描画・文責 牧島知子
 序文—枕崎市の民具調査を実施し
 て 森田 清美
 道通神社を訪ねて 山崎 盛隆
 杵原信仰群 山崎 盛隆
 枕崎地方のシンボル「立神岩」は、
 実は昔ローソク岩だった 牛山 好治
 かつお節の行商「フズイ」の民具
 坂元 恒太
 枕崎の日本を代表する産業と産業
 遺産 牧島 知子
 枕崎の農業と民具 有村 澄子
 本土最南端、枕崎市の有形文化に
 ついて—集落の景観・十五夜綱
 引き・立神など 下野 敏見

枕崎の石塔 松田 誠
 枕崎の金山 近藤津代志
 鹿籠金山女郎墓の実態解明(前) 森田 清美
 枕崎共同調査に参加して 熊 華 磊
 蒲生町で一番古い有村家の武家門
 他 江口 秀丸
 女性の目から見た伝統の変化—南
 さつま市大浦町での調査報告 宗 建郎
 宝満の池での鴨猟 石堂 次美
 「琉球のかくれ念仏」—仲尾次政隆
 の足跡をたずねて 星野 元興
 枕崎市白沢の石灰 近藤津代志
 枕崎市の「ツッパッ(ツッパイ)」牧島 知子
 ◆宮古郷土史研究会会報
 〒906-0013沖縄県平良市下里1223-8
 下地和宏気付 TEL0980-72-9963
 年3000円 1977年創刊
 ◇225 2018.3 B5 8p
 3月定例会レジュメ 遺跡から宮
 古と倭寇との関係を考える(1) 山本 正昭
 上野の戦争遺跡について
 —1月定例会を終えて 久貝 弥嗣
 与那国「鬼虎征討」の年代はいつ
 か—2月定例会を終えて 下地 和宏
 臨時研究会発表概要 「牡丹社事
 件」の記憶と交渉—台湾先住民
 の視点から 下地 和宏
 第15回博物館講座 キュレーター
 トークを開催 新田由佳・博物館学芸係
 沖縄県立埋蔵文化財センター「発
 掘調査速報展2017」の紹介 與那覇史香
 シンポジウム 中国産陶磁器から
 みるグスク時代—東アジア海域
 の交易 久貝 弥嗣
 シンポジウム 沖縄最古の文化へ
 の探求—新発見された県内最古
 級の遺跡 久貝 春陽

漲水御殿「鳥居」の再建 仲宗根將二
◇226 2018.5 B5 8p
6月定例会レジュメ
宮古上布と苧麻糸 新田 由佳
浦添遺跡の成果から貝斧の謎に
迫る 山極 海嗣
遺跡から宮古と倭寇との関係を考
える(1)―3月定例会を終えて 山本 正昭
第43回定期総会開かれる
宮古島市総合博物館友の会第34回
学習会「在沖縄宮古関係史跡め
ぐり」 新田 由佳
ウントラ征討に対する米人研究者
の見方について―下地和宏氏の
報告に寄せて 大西 威人
宮古島市史『みやこの祭祀』(上)
発刊 下地 和宏
「綾道―平良南／松原・久貝コース
―」発刊 久貝 春陽
『宮古島市総合博物館紀要』第22号の紹介
ミニ展示「昔のおもちゃ展」の紹
介 與那覇史香
新聞「南沖繩」の周縁 仲宗根將二

◆宮古島市総合博物館紀要

〒906-0011沖縄県宮古島市平良字東仲宗根
添1166-287 TEL0980-73-0567
◇22 2018.3 B5 232p
国指定の名勝及び天然記念物を考
える(地質)―八重干瀬卓礁・フ
ディ岩と下地島西部・通り池の
地質学的イベント 安谷屋 昭
宮古島断層帯の将来発生する予測
震度などについて―地質構造と
地質汚染を主に 安谷屋 昭
宮古諸島の蛾類の追加記録および
宮古諸島産蛾類目録 小浜継雄・木村正明
駒井古実・砂川博秋

宮古諸島池間島・大神島・来間島
の十脚甲殻類 藤田 喜久
非洋本を基にした宮古諸島の十脚
甲殻類記録 藤田 喜久
宮古島市総合博物館の美術工芸資
料紹介 新田 由佳
城辺字西里添ユナムダキの年間祭
祀 新垣則子・佐藤宣子・本永清
飛鳥爺の生い立ちと祭祀 長濱 幸男
宮古島市内の出土銭貨について 久貝 弥嗣
宮古島市内の戦車壕に関する考察
久貝弥嗣・山口直美・森谷
大介・菱木勇一・川満広紀
長間村敷の移転について考える
―長間村創建の地をめぐる 下地 和宏
宮古島地名雑考(2) 地名をく地
形と伝承で訪ねる―城邊く
すくなぎ・こすくちへ 下地 利幸
「宮古病院」設立への軌跡と地域
医療 仲宗根將二
史料紹介 宮金氏系図家譜支流 仲宗根將二

寄贈図書紹介

◆青森県史 通史編2 近世
青森県環境生活部県民生活文化課県史編さん
グループ編 (〒030-8570 青森市長島1-1-1
県庁舎北棟3階 TEL017-734-9238) 2018年3月
A5 762頁
平成8年度から開始された青森県史編纂事業
による『青森県史』通史編全3巻のうちの第
2巻。1590(天正18)年の奥羽仕置から、廃藩
置県が行われた1871(明治4)年頃までの通史
を記述する。『青森県史通史編2』の刊行に
あたって(長谷川成一)／『青森県史通史編2』
刊行のねらい(浪川健治)／近世の成立と北奥
地域／幕藩体制の確立と領国支配／近世北奥
社会とアイヌ／宗教と精神世界／北奥の資源

環境と諸産業／交通と流通の発達／転換期の
藩政と北奥／深刻化する「内憂」と「外患」
／生活のなかの学術・文化／北の幕末・維新
◆蓑 美しき先人の技 野外研叢書10
野外調査研究所編 中村貞夫 (〒348-0024
埼玉県羽生市大字神戸760-1 TEL048-563-0058
(080-5543-9043)) 2018年2月 A4 220頁
4000円
昭和37年、旅先で偶然見つけた蓑からはじま
り、その後東北地方から全国・世界へと広が
っていった民具蒐集家 中村貞夫氏のコレク
ション図録集。さまざまな種類の蓑・バンド
リ(背負い運搬用具)を中心とした1500余点に
及ぶ民俗資料から139点を選び、NPO法人
野外調査研究所による調査・整理を経て、魅
力溢れる蓑の世界を写真・スケッチで紹介す
る。序(吉川國男)／刊行にあたって(中島利
治)／蓑を求めて二人旅(中村貞夫)／特別寄
稿 異彩を放つバンドリ(宮崎清)／写真・ス
ケッチ図／寄稿 中村さん・蓑との出会い
(斉藤昭治)、蓑に魅せられて(尾澤千鶴子)、
蓑の記録作成に関わって(御厨真澄)、中村貞
夫さんとの出逢い(植田勝利)、中村コレク
ション写真集作りに参加して(白井勢津子)／蓑
作りの文化について(吉川國男)／資料目録
◆帝国在郷軍人会佐倉町分会 歴史
佐倉市史料叢書
佐倉市史編さん委員会・佐倉市 編・刊 (〒
285-0038 千葉県佐倉市弥勒町78 佐倉市総
務部行政管理課市史編さん担当 TEL043-486-
3478) 2018年3月 A4 213頁
佐倉に関わる貴重な文献史料を紹介する佐倉
市史料叢書。本書には、現役を離れ地域に戻
った在郷軍人の団体である「帝国在郷軍人会
佐倉町分会」の、1910年(明治43)11月3日発
会から1945年(昭和20)8月31日解散までの活
動日誌「歴史」を翻刻・収録する。聯隊の町
佐倉における在郷軍人会の活動を知る貴重な

史料。解題(一ノ瀬俊也)／帝国在郷軍人会佐
倉町分会 歴史(明治43年～昭和20年)／関連
年表／歴代分会長／佐倉新町 町並推定図
◆空襲被災者運動関連資料目録4 福島啓氏
名古屋空襲訴訟関係資料・大竹正春資料・
木津正男資料目録
大岡聡・植野真澄・山辺昌彦・赤澤史朗・松田
英里編 東京大空襲・戦災資料センター 戦争
災害研究室 (〒136-0073 東京都江東区北砂
1-5-4 TEL03-5857-5631) 2018年3月 A4 70頁
東京大空襲・戦災資料センターが収集してき
た空襲被災者運動関連資料の目録第4集。名
古屋空襲訴訟関係資料のコレクションである
立命館大学国際平和ミュージアム所蔵・福島
啓氏資料、東京の空襲犠牲者遺族運動の資料
を含む大竹正男資料、そして浜松戦災被害者
の会関係の木津正男資料の目録を収録する。
福島啓氏資料(29点、解題：植野真澄・赤澤
史朗)／大竹正春資料(28点、解題：山辺昌彦)
／木津正男資料(112点、解題：大岡聡)
◆徳丸流神楽の成立と展開
―民族音楽的芸能史研究
川崎瑞穂著 第一書房 (〒113-0033 東京都
文京区本郷6-26-1 TEL03-3815-1072) 2018年2
月 A5 378頁 8000円
奥秩父に伝承されている「徳丸流神楽」と総
称される神明社神楽、浅間神社神楽、三峯神
社神楽の歴史を明らかにする。序章／第一章
徳丸流神楽概説／第二章 神明社神楽におけ
る「伊勢神楽」源流考／第三章 徳丸がもた
らした神楽と「上州神楽」／第四章 徳丸流
神楽における演目の変容と生成／第五章 徳
丸流神楽における演目の中断と改編／終章
◆歴史をひもとく藤沢の資料 3片瀬地区
藤沢市文書館編・刊 (〒251-0054 神奈川県
藤沢市朝日町12-6 TEL0466-24-0171) 2018年3
月 A4 94頁
1967年から始まった藤沢市史編さん事業の成

果として刊行された『藤沢市史資料所在目録稿』1～25(1969年～1994年)などをふまえてまとめられた、御所見地区(2016年)、村岡地区(2017年)につづく地区別の資料解説・目録集第3集。画像でみる村岡／片瀬の歴史をひもとく／片瀬の歴史資料／付属CD-ROM 藤沢市文書館資料目録(片瀬地区)、藤沢市文書館写真目録(片瀬地区)、江島縁起について(解題と釈文)

◆六日町史 通史編 第三卷 近・現代
南魚沼市教育委員会刊(〒949-7302 新潟県南魚沼市浦佐1188-2 TEL025-777-3118) 南魚沼市教育委員会社会教育課郷土史編さん係(〒949-6680 新潟県南魚沼市六日町456-1 TEL025-773-2197) 2018年3月 A5 581+7頁
平成13年度に発足した『六日町史』全6巻編さん事業による資料編2(2014年3月)、近世通史編(2015年3月)、資料編3(2016年3月)につづく近・現代編。1868年(明治元)から2003年(平成15)10月31日までの旧六日町の歴史。〔近代編〕近代のはじまり／町と村の近代化／大正デモクラシー期の六日町／恐慌と戦争下の六日町
〔現代〕戦後改革期の六日町／高度経済成長期の六日町／高速交通期の六日町／ホワイトピア六日町

◆北口本宮 富士浅間神社のすべて
富士吉田市歴史民俗博物館編・刊(〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田288-1 TEL0555-24-2411) 2018年2月 A4 34頁
ふじさんミュージアム(富士吉田市歴史民俗博物館)の平成30年度企画展「重要文化財指定記念 北口本宮富士浅間神社の至宝」解説書。由緒／境内／大鳥居／祭神／コラム 木花開耶姫命・彦火瓊瓊杵尊・大山祇神の物語／絵像にみる富士山の祭神／コラム 富士山の神の名／社殿と祭神／神社の創建―平安～鎌倉時代／コラム 庚申御縁年／撰社「諏訪

神社」の歴史／領主と浅間神社の信仰―室町～安土桃山時代／約500年前の神像「随神像」／歴代領主の奉納物／富士講と神社大改修―江戸時代中期～後期／富士登山成就の奉納額／明治の廃仏毀釈と大正・昭和の修理事業―明治～昭和時代／絵図にみる北口本宮富士浅間神社／太々神楽／年表

◆愛知県史 通史編2 中世1
愛知県史編さん委員会編 愛知県(〒460-8501 愛知県名古屋市中区三の丸3-1-2 自治センター8階 総務部法務文書課県史編さん室 TEL052-972-9171) 2018年3月 A4 787+9頁 5000円+送料
平成6年度に着手した新『愛知県史』編さん事業の第20回配本。治承・寿永の内乱勃発(1180年)から明応の政変(1493年)頃までの愛知県域に関わる歴史を叙述する。
中世の風景／中世の尾張・三河／鎌倉幕府と尾張・三河／室町幕府と尾張・三河／荘園・公領の展開／鎌倉・室町時代の都市と村落／鎌倉・室町時代の寺社と文化／索引／付録CD-ROM(通史編2 中世1 電子版)
〔愛知県史のしおり〕 A5・8頁

随想―『愛知県史 通史編2 中世1』を読んで(金龍静)／気候変動と中世社会(伊藤俊一)
◆愛知県史 通史編3 中世2・織豊
愛知県史編さん委員会編 愛知県(同上) 2018年3月 A4 765+13頁 5000円+送料
新『愛知県史』編さん事業の第20回配本。明応の政変(1493年)頃から関ヶ原の戦い(1600年)までの愛知県域に関わる歴史を叙述する。
戦国・織豊期の尾張・三河／戦国期の尾張・三河の動向／織豊期の尾張・三河の動向／戦国・織豊期の都市と村落／戦国・織豊期の寺社と信仰／戦国・織豊期の文芸と生活文化／索引／付録CD-ROM(通史編3 中世2・織豊 電子版)
〔愛知県史のしおり〕 A5・8頁

家康を支えた家忠と直政(久保田昌希)／信長・秀吉・家康と大名毛利氏(本多博之)

◆講座『播磨風土記』賀毛郡(全)
―語釈・注釈 妙見山麓遺跡調査会紀要26 神崎勝著 妙見山麓遺跡調査会(〒679-1214 兵庫県多可郡多可町加美区の場294 TEL0795-35-0555) 2018年2月 A4 39頁
妙見山麓遺跡調査会主催の風土記講座『播磨風土記』賀毛郡の記録。賀毛郡号／賀毛郡西部(上鴨里・下鴨里・條布里・三重里・橋原里)／賀毛郡東部(起勢里・山田里・端鹿里・穂積里)／賀毛郡中部(雲調里・河内里・川合里)／賀毛郡の里・郷について／参考資料 加東郡の諸村一覧、加東郡の荘園一覧

◆新・ムラの生活史 I
香寺町史研究室編(〒679-2131 兵庫県姫路市香寺町犬飼464-1 犬飼公民館別館 TEL079-280-6665) 香寺歴史研究会刊 2018年2月 B5 80頁

◆後記――
『ぐんまの自然と災害―過去を解き明かして将来に備える』(上毛新聞社 2018.6)を、サブタイトルに惹かれて読んだ。執筆は、地学団体研究会前橋支部に所属する地質学の研究者、学校教師、地学愛好家らである。刊行の動機は、日頃の研究から、群馬県内で発生した自然災害の多くが、大地の成り立ちや地形といった自然の特質と密接な関係にあることが分かり、自分たちが暮らす大地が過去に経験した出来事を解き明かすことで、そこにひそむ将来の災害の危険性を知ることができると考えたからだという。群馬県といえば、東日本全域に甚大な被害を及ぼした天明3(1783)年の浅間山噴火がすぐに思い浮かぶが、勿論こればかりではなく、数万年前の火山災害から、地震災害、地盤災害、土砂災害、台風災害、近年の気象災害まで、大地には様々な災害の記憶が刻まれている。それらを、1件見開き2頁で、図、写真を交えて簡明に解説し、大変に分かりやすい。最終章は、天気俚諺や伝承、地名、供養塔の碑文などから学ぶ防災文化誌になっている。防災マップの役立て方、関係インターネットサイト・施設、地質図、用語解説もあり、防災マニュアル、あるいは啓蒙書として全戸に備えておくべき一書ではないかとすら感じた。折から、地震による北海道の大災害。被災された方々にはお悔やみを申し上げるほかはない。当該地のアイヌ語地名には「崩れた崖」や「裂けた山」の意味が刻まれているとのこと(『毎日新聞』2018.9.7)。大地は過去に経験していたのである。大規模な地殻変動は自然現象だが、人間が住んでいれば自然災害になると本書は警鐘を鳴らす。当然のことながら、群馬県や北海道に限ってのことではない。(飯澤)

